

ユーザーズガイド

plustek

ネットワークビデオレコーダー

- セットアップ
- 設定
- テクニカルガイド

© 2011.全権留保。本マニュアルは許可なく複製できません。本マニュアルに記載された全ての商標およびブランド名は各社の所有物です。

弊社は、本マニュアル内容は正確を期して万全の努力が払われていますが、不履行、事故、その他事由による記載の誤りや欠落に関しての責任は負いかねます。本マニュアルの内容は通知なしに変更される場合があります。

NVR 装置は、合法的な使用を目的としています。NVR 装置の使用方法によっては国や州など地元の法律で特定目的の秘密裏な録音・録画が禁じられている場合があります。当製品の使用方法が合法かどうかは、ご使用前に地元の法律機関にお問い合わせください。

本製品は、持続可能な環境改善を達成するようにデザインされ、生産されています。グローバルな環境基準に従って製品を生産するよう、弊社は努力しています。適切な廃棄には地元の公共機関にお問い合わせください。製品の包装はリサイクル可能です。

リサイクル上の注意(EU 諸国のみ対象)

環境を保護しましょう！本製品は家庭内のゴミ箱に捨てないでください。ご近所の無料回収センターにお渡しください。

本ガイドにあるスクリーンショットは Windows XP に基づいています。Windows 7, Vista や 2000 をご使用の場合は、表示が多少異なりますが、機能には変わりありません。

目次

紹介	1
本ガイドの使用方法	1
本ガイドの凡例	1
アイコンについてのメモ	1
安全上のご注意	2
主なNVRの機能	2
最小システム要件	3
パッケージ内容	3
NVR 4000/4200/4300	3
NVR Slim240	4
NVR 4200V	4
製品の外観	5
NVR 4000/4200	5
NVR 4300	6
NVR Slim240	7
NVR 4200V	8
第I章 NVRのセットアップ	9
NVRシステムのセットアップ	9
I. IPカメラの接続	9
II. CCTVカメラとビデオ サーバーの接続	13
第II章 NVRの使用の開始	18
NVRへのログイン	18
方法I. ネットワーク装置検出ツールアプリケーション	18
方法II. IEアドレスバー	19
ウィザード	20
ステップ1 - システム設定	20
ステップ2 - WAN設定	21
ステップ3 - LAN設定	22
新たなIPカメラの追加	22
NVR ビューアーウィンドウ	24
言語	24
ライブ表示	24
録画表示	26
モーション検知	29
NVRからのログアウト	30
第III章NVRによる操作	31
AVG アンチウイルスソフトウェアを使ったPC上でのライブ表示 ページの表示	31

Avast アンチウイルスソフトウェアを使ったPC上でのライブ表示 ページの表示	32
ネットワークカメラの ビデオ形式および解像度の変更	34
記録スケジュール設定による記録のアクティブ化.....	35
“手動録画”ボタンによる記録のアクティブ化.....	36
モーション検知 がトリガーされるた際にEメール通知を送信.....	36
モーション検知のトリガー時に記録画像を、指定したFTP サーバ に送信.....	40
モーション検知トリガー時にイベントを自動録画	43
再生する録画の選択.....	45
再生するアラーム録画の選択.....	46
第IV章 NVRの詳細設定	48
ウィザード	48
ステップ ^o 1 - システム設定.....	49
ステップ ^o 2 - WAN設定	49
ステップ ^o 3 - LAN設定.....	50
状態	51
NVR状態	51
IPCam (ネットワークカメラ)	52
ネットワーク.....	52
WAN.....	52
LAN	57
Client List	58
IPCam(ネットワークカメラ).....	58
デバイス管理.....	58
ビデオ設定.....	61
詳細.....	63
ハードディスク	63
システム	64
ユーザー	64
メンテナンス.....	65
ログ.....	66
システム設定.....	66
日付および時刻.....	67
データベース.....	68
管理.....	68
データ管理	68
スケジュール設定.....	69
記録スケジュール.....	69
イベントスケジュール.....	70
セキュリティ.....	70
イベント設定.....	70

アラーム通知.....	73
ログ.....	74
第V章 テクニカルガイド	75
LEDインジケータ.....	75
サーチツール	75
IP設定情報.....	76
NVRを浮動IPアドレス経由で使用します	77
プロキシサーバ.....	78
NVRのリセット.....	80
付録A:用語解説	81
付録B:仕様	84
付録C:顧客サービスおよび保証	89
限定保証書.....	89
FCC無線周波数の声明	90
Plustekへのご連絡	92

紹介

当社の製品をご購入いただき、ありがとうございます。新しくご購入の NVR は当社の他製品と同様、徹底して検査され多大の信頼性とお客様の満足した評価に裏付けられています。今後の皆様のコンピューティングならびに関心に対応して引き続きご愛顧いただけるよう望んでおります。

本ガイドの使用方法

本ユーザーズガイドは NVR の設置や設定を行う際の指示や手順が示されています。このガイドはユーザー皆様が Microsoft Windows 7, Vista, XP および 2000 Professional の操作法をご存知であるという前提で書かれています。もしそうでない場合、NVR のご使用前には Microsoft Windows のマニュアルをご参照ください。

本マニュアルの**紹介**セクションでは、マニュアルの概要が示され、システム要件や主な特徴、パッケージ内容が説明されています。

第 I 章では、ネットワーク環境において基本的な NVR および IP カメラシステムを設置する方法が示されています。

第 II 章では、NVR インタフェースへのログイン方法および、接続された IP カメラからのライブ画像の取得方法が示されています。

第 III 章、**第 IV 章**では、NVR の詳細設定に関する多くの図や情報が提供されています。NVR に備わる機能全てをよく知り、試してみることができます。

第 V 章では、役立つ技術情報およびご使用のヒントが説明されています。

付録 Aでは、ネットワークおよびネットワーク装置に関して用語が解説されています。

付録 Bでは、お買い上げの NVR の製品仕様が示されています。

付録 Cには、製品保証同意書および FCC 声明が含まれています。

本ガイドの凡例

“XXX” — コンピュータ画面に表示されるコマンドまたは内容

太字体 — 重要な注意を意味します。

アイコンについてのメモ

本ガイドでは、特に注意が必要な情報を示すため下記のアイコンが使用されています。



警告

警告:ケガや事故を防止するために注意して従うべき手順を示します。



注意

注意:エラーの防止に役立つ、覚えておくべき重要な指示を示します。



参考

参考:参考となるヒントです。

安全上のご注意

本装置のご使用前に、以下の大切なお知らせをよくお読みになり、故障やケガの発生を防止してください。

1. 本装置に付属のACアダプタをお使いください(利用可能な場合)。それ以外のACアダプタの使用は、故障、過熱、感電、出火やケガの原因となります。
2. アダプタの周囲には物を置かないようにして、万一の場合はすぐプラグを抜けるようにしてください。
3. ラジエーターやその他の熱を発生する装置のそばに設置しないでください。
4. カバーやプレート類のアタッチメント/アクセサリはメーカー指定のもののみをご使用ください。
5. 電源がオンの時は本体やACアダプタに触れないでください。
6. 長期間使用しない場合は火災の可能性をなくすため、装置のプラグを抜いてください。
7. NVRのケースを分解しないでください。
8. 対応IPカメラのリストは販売店にお求め下さい。
9. 損傷のあるケーブルは火災や感電の原因となります。電源コードはねじれたり曲げたりこすったりしないよう、まっすぐに設置してください。
10. 以下のような場合、本装置の内部は結露が生じる可能性があります。故障の原因となります。
 - 本装置が低温の場所から直接暖かい場所に移された場合。
 - 低温の部屋で暖房した場合。
 - 本装置を湿気の多い場所に置いた場合。結露を防止するには、以下の手順が勧められています。
 - 本装置をビニール袋に入れ部屋の状態にならします。
 - 1～2時間たってから装置を袋から取り出します。
11. 煙、振動、ホコリ、直射日光は避けてください。
12. サーバメインボードの電池を誤ったタイプのもので交換しないでください。電池を誤ったタイプと交換した場合、爆発の危険があります。電池は指示に従って処分してください。

主なNVRの機能

- リアルタイムのライブ表示監視
- スケジュール録画、手動録画およびイベントトリガー録画
- 録画の再生
- モーション検知
- TCP / IP / SMTP / DNS / DDNS / UPnP 対応
- PTZカメラ制御

最小システム要件¹

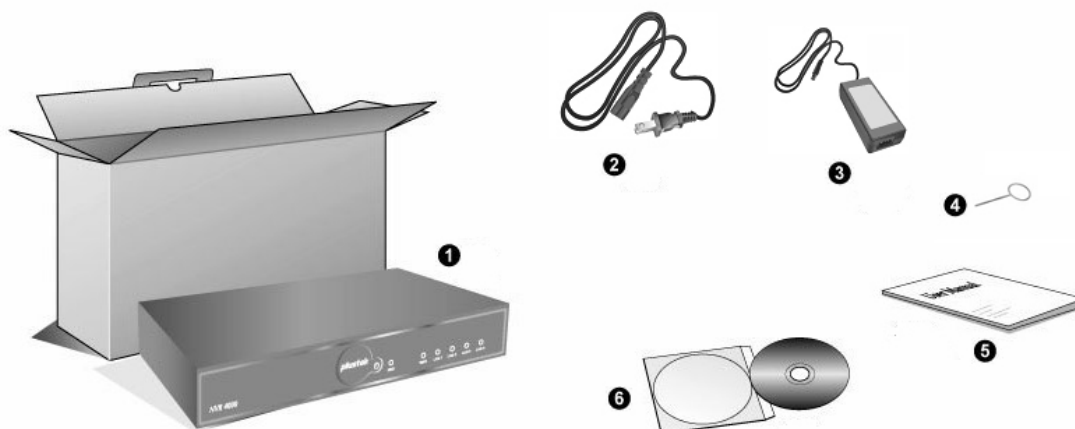
NVR は、以下の条件を備えた PC またはネットワークにおいての使用が勧められます。

オペレーティングシステム	Microsoft® Windows® 2000 Professional, XP Home Edition または XP Professional, Vista, 7 と互換
CPU	Intel Pentium® 4 プロセッサまたはそれ以上
ネットワークプロトコル	TCP/IP ネットワークプロトコル採用(DHCP、固定 IP、DDNS、SMTP)
ウェブブラウザ	Internet Explorer 6.0 またはそれ以上 ²
RAM	256 MB (512 MB 以上を推奨)
イーサネットインタフェース	ネットワーク接続用の 10/100 MbpsイーサネットカードおよびCategory 5 ケーブル ³
その他	CD-ROM/DVD ドライブ、16 ビットカラー以上をサポートするビデオカード、800 MB のハードディスク空き容量

パッケージ内容⁴

NVR のインストール前にパッケージ内容をチェックして、全ての付属品が揃っていることを確認してください。いずれかの項目が損傷を受けていたり紛失したりした場合は、NVR のお買い上げ店または当社カスタマサービスにご連絡ください。

NVR 4000/4200/4300



1. NVR
2. 電源ケーブル

¹ 示されているシステム要件は参考であり、一般的にコンピュータ(マザーボード、プロセッサ、ハードディスク、RAM、ビデオグラフィックスカード)の性能が良いほど、良い効果が得られます。

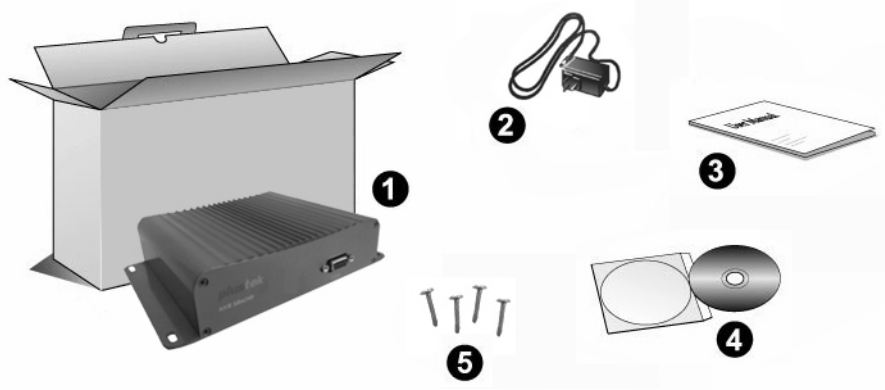
² このプログラムは Microsoft Windows から提供されており、当製品のセットアップ/アプリケーション CD-ROM には含まれていません。

³ これら部品は当パッケージには含まれていません。

⁴ 箱及びパッケージ素材は保管して、今後 NVR を移動する際にご使用ください。製品パッケージはリサイクル可能です。

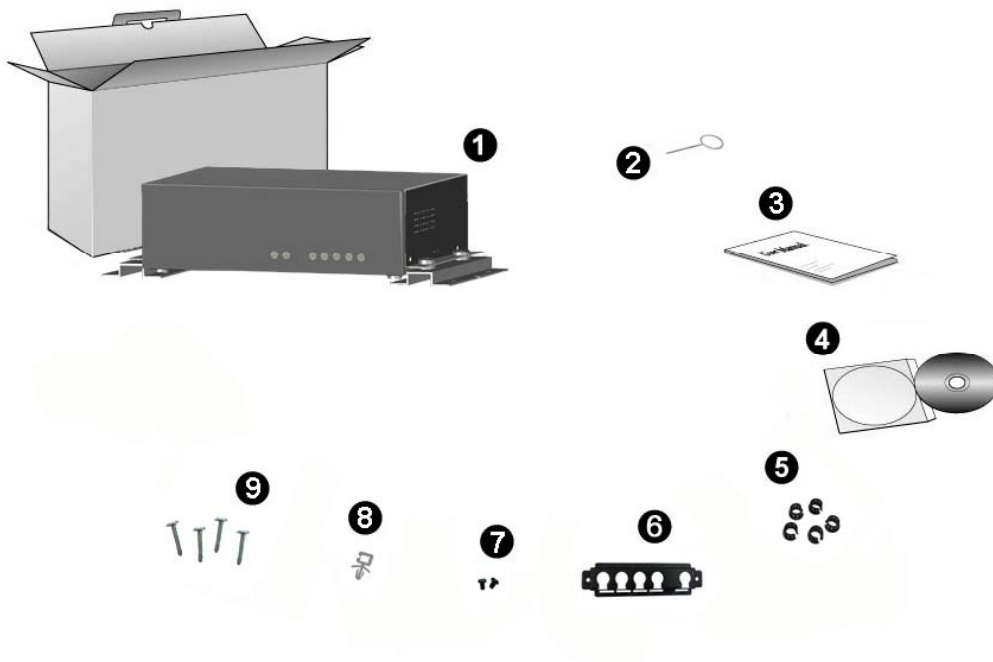
- 3. ACアダプタ
- 4. リセットピン
- 5. ユーザーズガイド
- 6. インストール CD

NVR Slim240



- 1. NVR
- 2. ACアダプタ
- 3. クイックガイド
- 4. インストール CD
- 5. NVRねじ

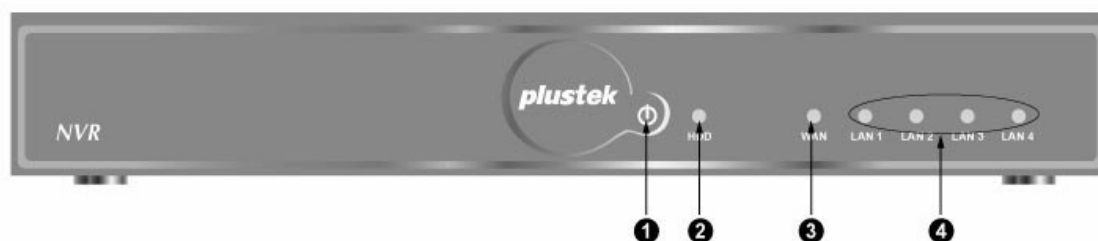
NVR 4200V



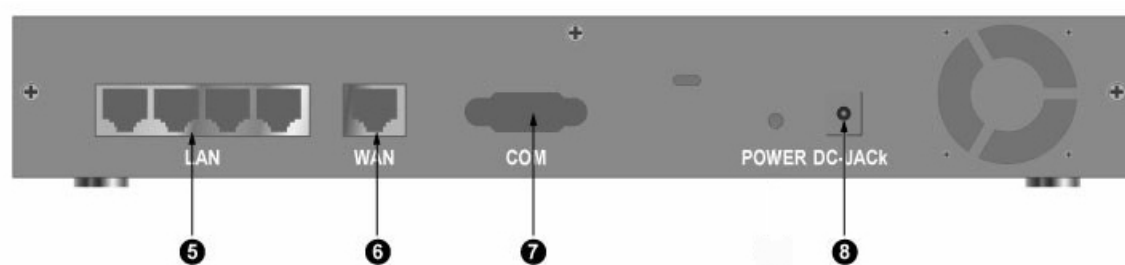
1. NVR
2. リセットピン
3. ユーザーズガイド
4. インストールCD
5. ケーブル留め具
6. ケーブル固定ラック
7. ラックねじ
8. 電源コード留め具
9. NVRねじ

製品の外観

NVR 4000/4200



1. 電源インジケータ
2. HDD インジケータ
3. WAN インジケータ
4. LAN インジケータ

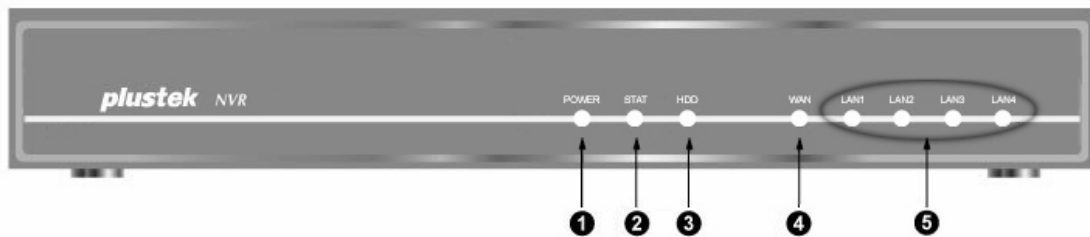


5. 4つのLANポート
6. WANポート
7. COMポート (コンソール)
8. DCジャック

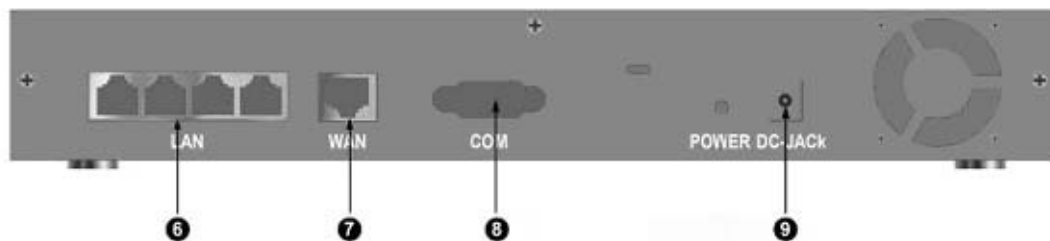


9. リセット穴

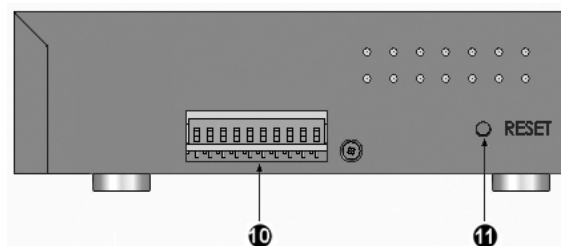
NVR 4300



1. 電源インジケータ
2. Status インジケータ
3. HDD インジケータ
4. WAN インジケータ
5. LAN インジケータ



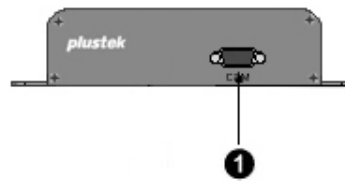
6. 4つのLANポート
7. WANポート
8. COMポート(コンソール)
9. DCジャック



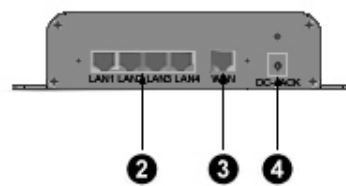
10. I/Oインターフェース⁵

11. リセット穴

NVR Slim240



1. COMポート (コンソール)



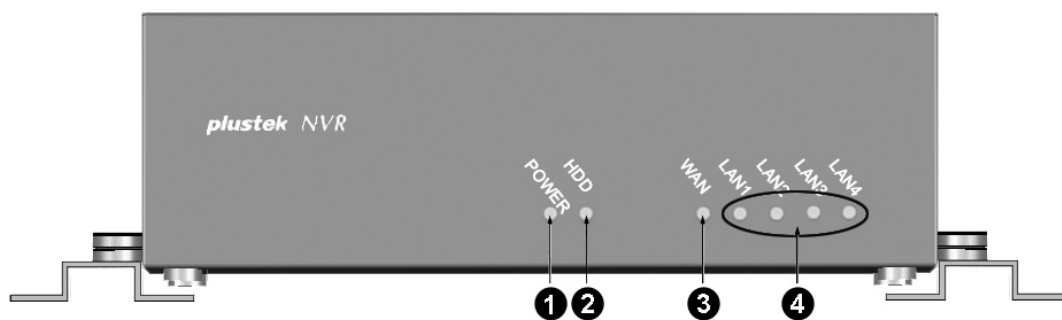
2. 4つの LAN ポート

3. WAN ポート

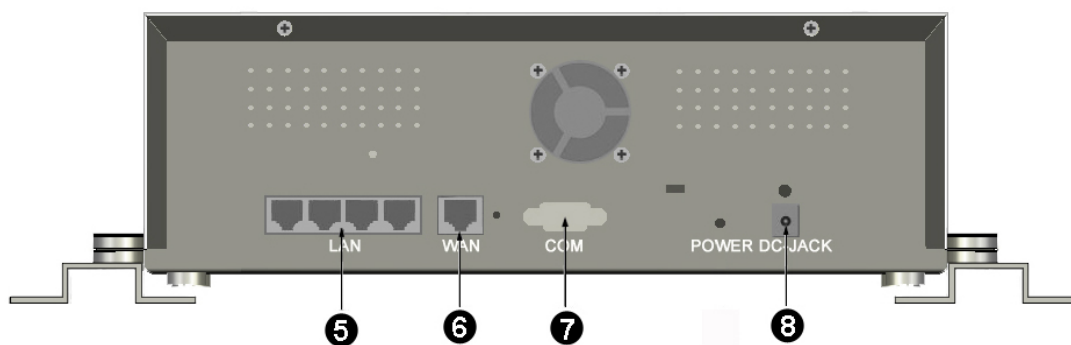
4. DC ジャック

⁵ I/O インタフェースに容量を超えるデバイスを接続すると、NVR が損傷する恐れがあります。NVR 回路には低電圧/電流回路と高電圧/電流回路が含まれます。誤った接続は NVR の故障の原因となります。

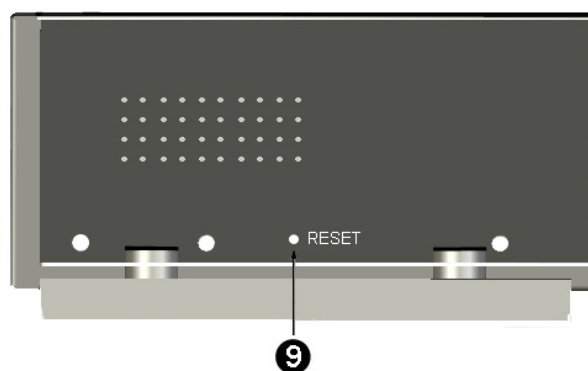
NVR 4200V



1. 電源インジケータ
2. HDD インジケータ
3. WAN インジケータ
4. LAN インジケータ



5. 4つのLANポート
6. WANポート
7. COMポート(コンソール)
8. DCジャック



9. リセット穴

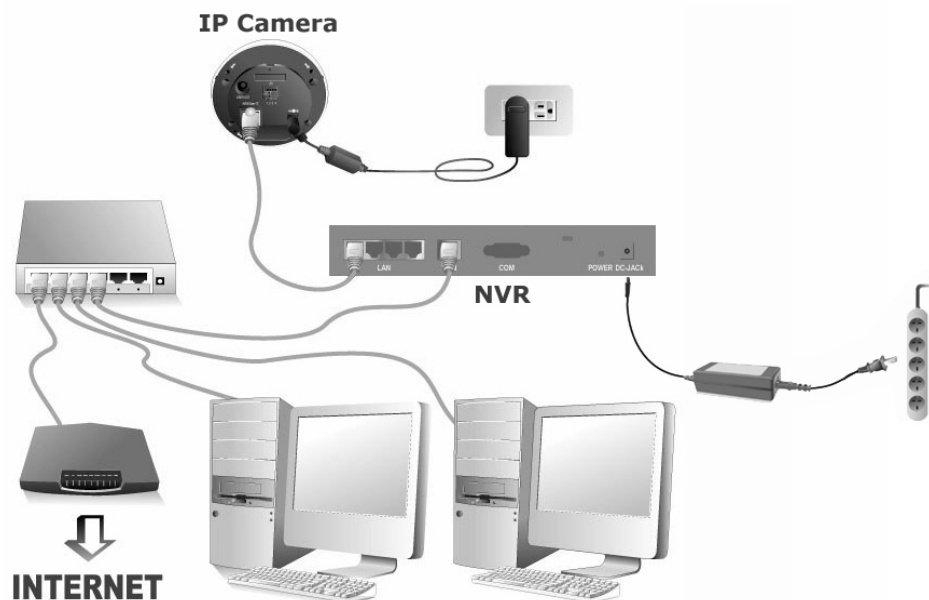
第I章 NVRのセットアップ

NVR (ネットワークビデオレコーダー)のセットアップ前に、全てのコンポーネントが揃っていて使用可能であることをご確認ください。パッケージ内容一覧は本ガイドの[パッケージ内容](#)セクションに示されています。いずれかが損傷を受けていたり足りなかったりした場合は、NVRのお買い上げ店または当社カスタマサービスにご連絡ください。

NVRシステムのセットアップ

I. IPカメラの接続

NVR 4000/4200/4300



ご使用の LAN 環境における NVR システムのセットアップ:



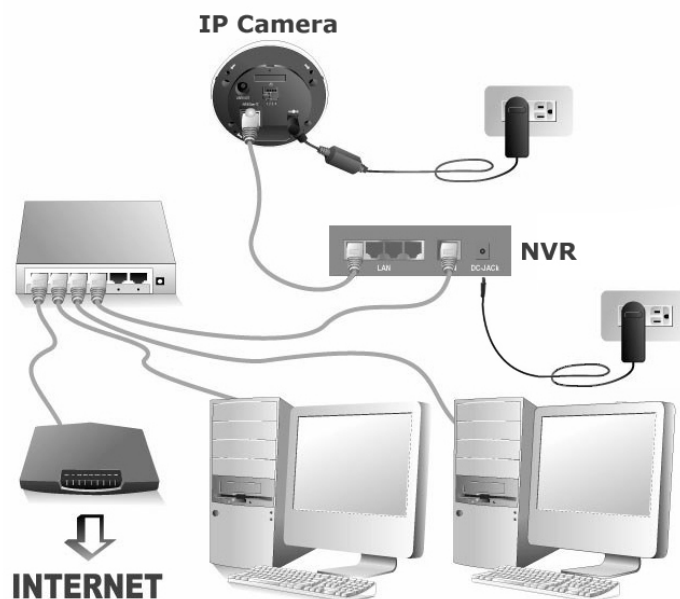
注意

NVR へ接続する前に、IP カメラの IP アドレスを設定してください。

1. RJ-45 コネクタをそれぞれ NVR の LAN ポートおよび IP カメラの RJ-45 ポートに接続します。
2. RJ-45 コネクタを WAN ポートおよびルータの LAN ポートに接続します。
3. ルータの電源をオンにします(UPnP オン/オフ機能付のルータを推奨)。
4. AC アダプタを NVR の DC ジャックに挿入します。電源ケーブルを AC アダプタに接続します。電源ケーブルの他端を一般の AC 電源コンセントに挿入します。
5. デスクトップまたはノートブック PC をルータの LAN ポートに接続します。
6. NVR に付属のインストール CD を CD-ROM ドライブに入れます。

7. 使用言語の CD-ROM 上の“vcredist_x86”ファイルをダブルクリックして、Microsoft Visual C++ 2008 SP1 Redistributable Package (x86)をインストールします。
8. CD-ROM 上の“ネットワーク装置検出ツール”アプリケーションを実行します。
9. NVR がネットワーク装置検出ツールのウィンドウに表示されたなら、NVR は正常に動作しています。

NVR Slim240



ご使用の LAN 環境における NVR システムのセットアップ:

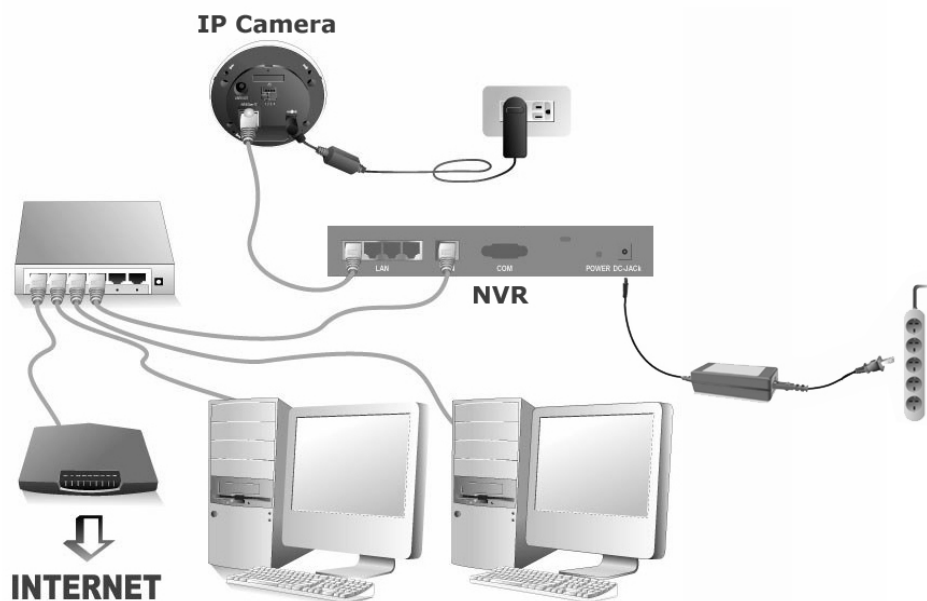


注意

NVR へ接続する前に、IP カメラの IP アドレスを設定してください。

1. RJ-45 コネクタをそれぞれ NVR の LAN ポートおよび IP カメラの RJ-45 ポートに接続します。
2. RJ-45 コネクタを WAN ポートおよびルータの LAN ポートに接続します。
3. ルータの電源をオンにします(UPnP オン/オフ機能付のルータを推奨)。
4. AC アダプタを NVR の DC ジャックに挿入します。電源ケーブルの他端を一般の AC 電源コンセントに挿入します。
5. デスクトップまたはノートブック PC をルータの LAN ポートに接続します。
6. NVR に付属のインストール CD を CD-ROM ドライブに入れます。
7. 使用言語の CD-ROM 上の“vcredist_x86”ファイルをダブルクリックして、Microsoft Visual C++ 2008 SP1 Redistributable Package (x86)をインストールします。
8. CD-ROM 上の“ネットワーク装置検出ツール”アプリケーションを実行します。
9. NVR がネットワーク装置検出ツールのウィンドウに表示されたなら、NVR は正常に動作しています。

NVR 4200V



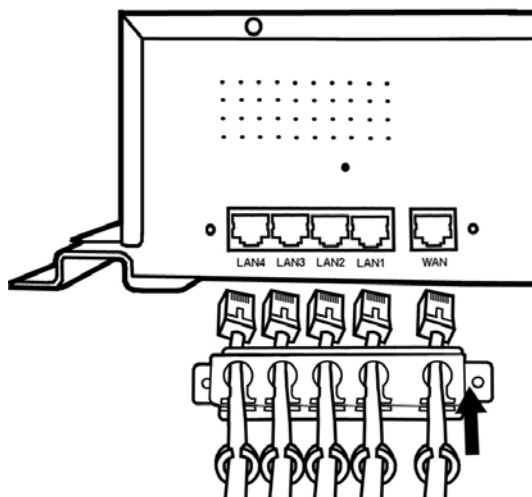
ご使用の LAN 環境における NVR システムのセットアップ:



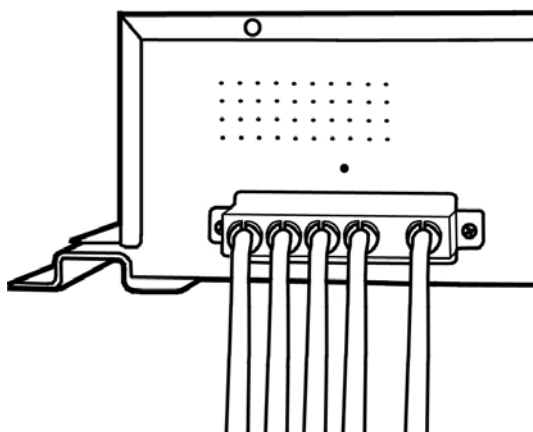
注意

NVR へ接続する前に、IP カメラの IP アドレスを設定してください。

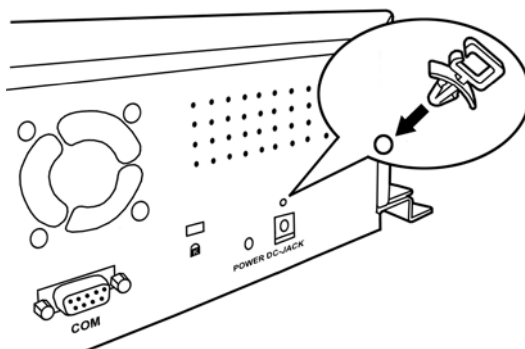
1. ケーブル留め具を RJ-45 ケーブルに取り付けます。そのケーブルコネクタの末端をケーブル固定ラックに通します。ケーブル留め具をケーブル固定ラックにしっかり固定します。



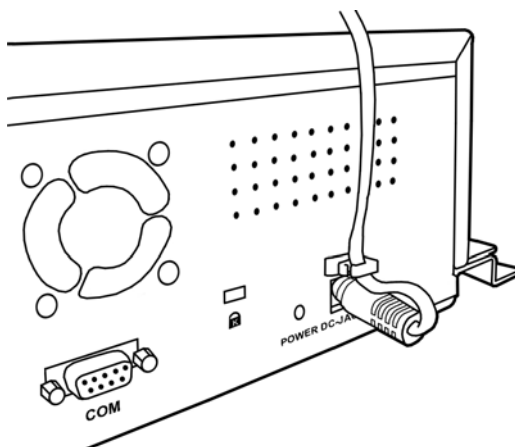
2. RJ-45 コネクタをそれぞれ NVR の LAN ポートおよび IP カメラの RJ-45 ポートに接続します。
3. RJ-45 コネクタを WAN ポートおよびルータの LAN ポートに接続します。
4. ラックねじを締めてケーブル固定ラックを NVR の後部パネルに固定します。



5. ルータの電源をオンにします(UPnP オン/オフ機能付のルータを推奨)。
6. 電源コード留め具を DC-JACK 上の穴に差し込みます。



7. 適切な電源ケーブルを NVR の DC ジャックに挿します。電源コードを電源コード留め具に取り付けます。

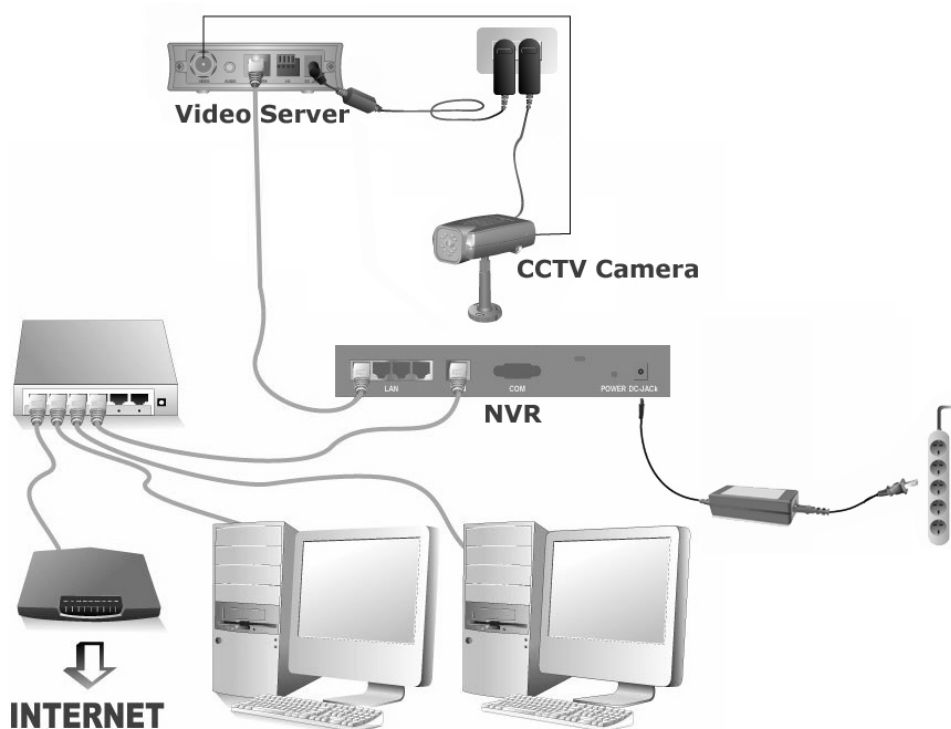


8. NVR ねじを締めて、NVR を希望する位置に固定します。
9. デスクトップまたはノートブック PC をルータの LAN ポートに接続します。
10. NVR に付属のインストール CD を CD-ROM ドライブに入れます。
11. 使用言語の CD-ROM 上の“vcredist_x86”ファイルをダブルクリックして、Microsoft Visual C++ 2008 SP1 Redistributable Package (x86)をインストールします。
12. CD-ROM 上の“ネットワーク装置検出ツール”アプリケーションを実行します。

13. NVR がネットワーク装置検出ツールのウィンドウに表示されたなら、NVR は正常に動作しています。

II. CCTVカメラとビデオ サーバーの接続

NVR 4000/4200/4300



ご使用の LAN 環境における NVR システムのセットアップ:



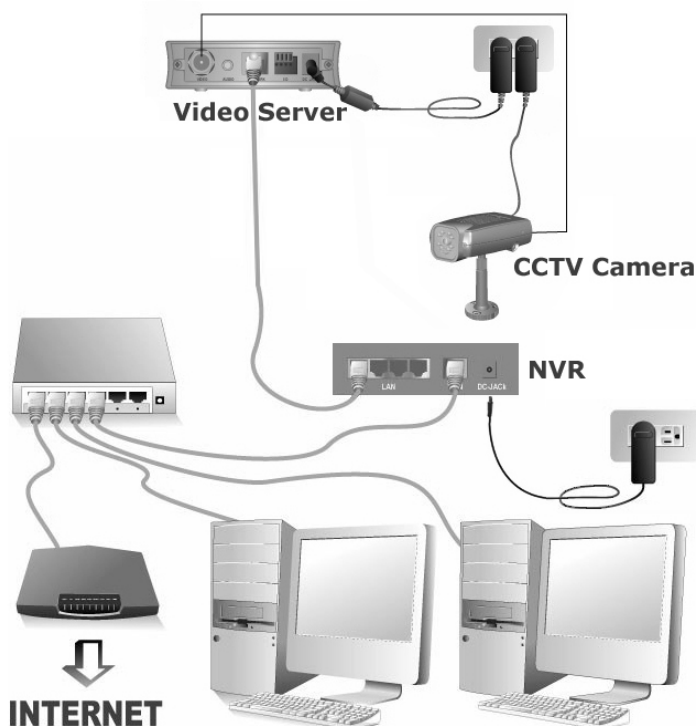
注意

NVR へ接続する前に、ビデオ サーバーの IP アドレスを設定してください。

1. AC アダプターをビデオ サーバーの DC IN ジャックに接続します。
2. AC アダプターを標準の壁コンセントに差し込みます。
3. 同軸ケーブルを CCTV カメラからビデオ サーバーのビデオ入力ポートに接続します。
4. CCTV 電源コードをコンセントに接続します。
5. RJ-45 コネクタをそれぞれ NVR の LAN ポートおよびビデオ サーバーの Ethernet ポートに接続します。
6. RJ-45 コネクタを WAN ポートおよびルーターの LAN ポートに接続します。
7. ルーターの電源をオンにします(UPnP オン/オフ機能付のルーターを推奨)。
8. AC アダプタを NVR の DC ジャックに挿入します。電源ケーブルを AC アダプタに接続します。電源ケーブルの他端を一般の AC 電源コンセントに挿入します。

9. デスクトップまたはノートブック PC をルータの LAN ポートに接続します。
10. NVR に付属のインストール CD を CD-ROM ドライブに入れます。
11. 使用言語の CD-ROM 上の“vcredist_x86”ファイルをダブルクリックして、Microsoft Visual C++ 2008 SP1 Redistributable Package (x86)をインストールします。
12. CD-ROM 上の“ネットワーク装置検出ツール”アプリケーションを実行します。
13. NVR がネットワーク装置検出ツールのウィンドウに表示されたなら、NVR は正常に動作しています。

NVR Slim240



ご使用の LAN 環境における NVR システムのセットアップ:



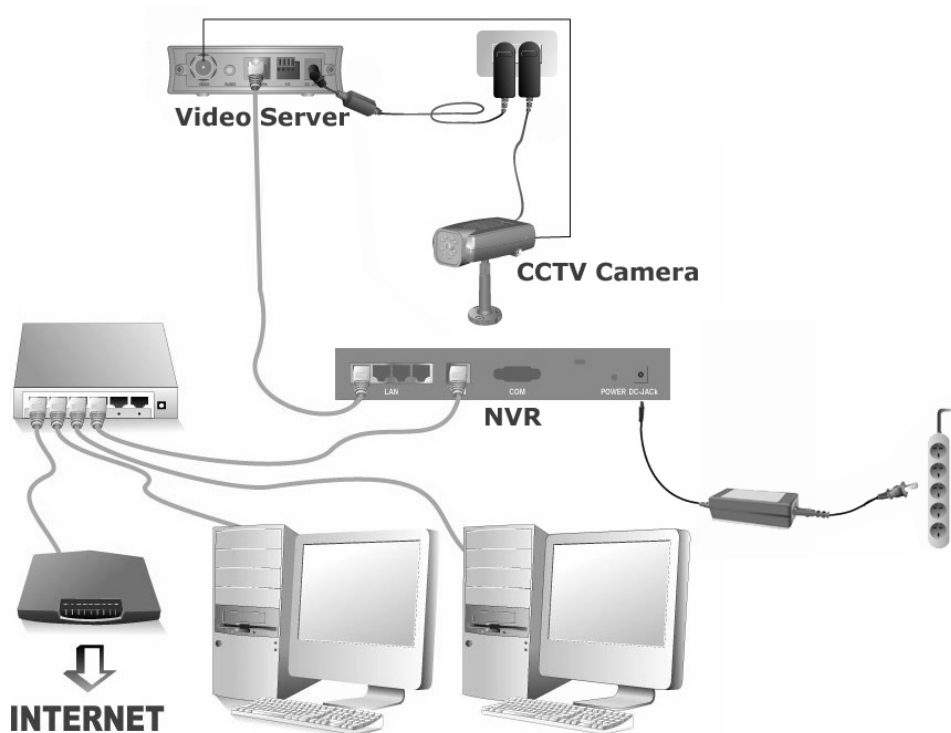
注意

NVR へ接続する前に、ビデオ サーバーの IP アドレスを設定してください。

1. AC アダプターをビデオ サーバーの DC IN ジャックに接続します。
2. AC アダプターを標準の壁コンセントに差し込みます。
3. 同軸ケーブルを CCTV カメラからビデオ サーバーのビデオ入力ポートに接続します。
4. CCTV 電源コードをコンセントに接続します。
5. RJ-45 コネクタをそれぞれ NVR の LAN ポートおよびビデオ サーバーの Ethernet ポートに接続します。
6. RJ-45 コネクタを WAN ポートおよびルータの LAN ポートに接続します。
7. ルータの電源をオンにします(UPnP オン/オフ機能付のルータを推奨)。

8. AC アダプタを NVR の DC ジャックに挿入します。電源ケーブルの他端を一般の AC 電源コンセントに挿入します。
9. デスクトップまたはノートブック PC をルータの LAN ポートに接続します。
10. NVR に付属のインストール CD を CD-ROM ドライブに入れます。
11. 使用言語の CD-ROM 上の“vcredist_x86”ファイルをダブルクリックして、Microsoft Visual C++ 2008 SP1 Redistributable Package (x86)をインストールします。
12. CD-ROM 上の“ネットワーク装置検出ツール”アプリケーションを実行します。
13. NVR がネットワーク装置検出ツールのウィンドウに表示されたなら、NVR は正常に動作しています。

NVR 4200V



ご使用の LAN 環境における NVR システムのセットアップ:

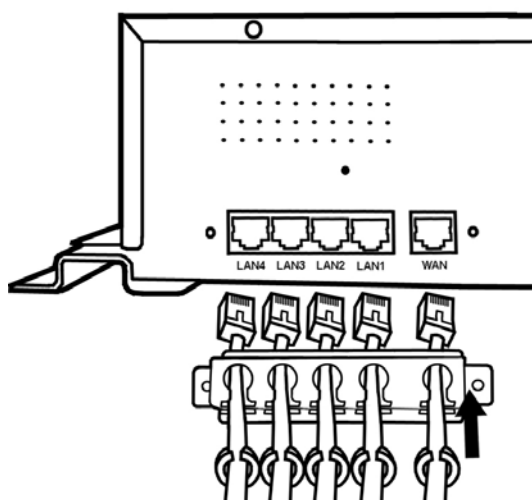


注意

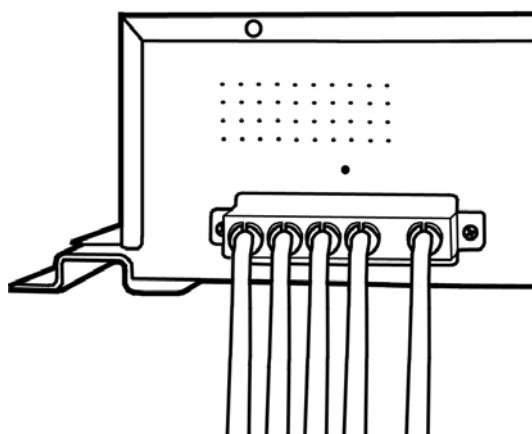
NVR へ接続する前に、ビデオ サーバーの IP アドレスを設定してください。

1. AC アダプターをビデオ サーバーの DC IN ジャックに接続します。
2. AC アダプターを標準の壁コンセントに差し込みます。
3. 同軸ケーブルを CCTV カメラからビデオ サーバーのビデオ入力ポートに接続します。
4. CCTV 電源コードをコンセントに接続します。

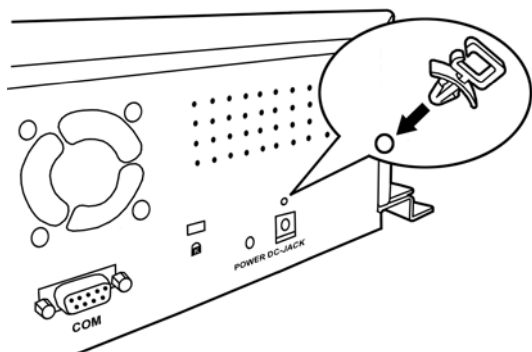
5. ケーブル留め具を RJ-45 ケーブルに取り付けます。そのケーブルコネクタの末端をケーブル固定ラックに通します。ケーブル留め具をケーブル固定ラックにしっかり固定します。



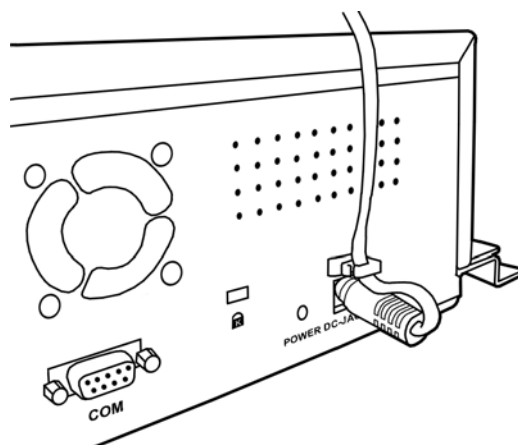
6. RJ-45 コネクタをそれぞれ NVR の LAN ポートおよびビデオ サーバーの Ethernet ポートに接続します。
7. RJ-45 コネクタを WAN ポートおよびルータの LAN ポートに接続します。
8. ラックねじを締めてケーブル固定ラックを NVR の後部パネルに固定します。



9. ルータの電源をオンにします(UPnP オン/オフ機能付のルータを推奨)。
10. 電源コード留め具を DC-JACK 上の穴に差し込みます。



11. 適切な電源ケーブルを NVR の DC ジャックに挿します。電源コードを電源コード留め具に取り付けます。



12. NVR ねじを締めて、NVR を希望する位置に固定します。
13. デスクトップまたはノートブック PC をルータの LAN ポートに接続します。
14. NVR に付属のインストール CD を CD-ROM ドライブに入れます。
15. 使用言語の CD-ROM 上の“vcredist_x86”ファイルをダブルクリックして、Microsoft Visual C++ 2008 SP1 Redistributable Package (x86)をインストールします。
16. CD-ROM 上の“ネットワーク装置検出ツール”アプリケーションを実行します。
17. NVR がネットワーク装置検出ツールのウィンドウに表示されたなら、NVR は正常に動作しています。

第II章 NVRの使用の開始

NVRへのログイン

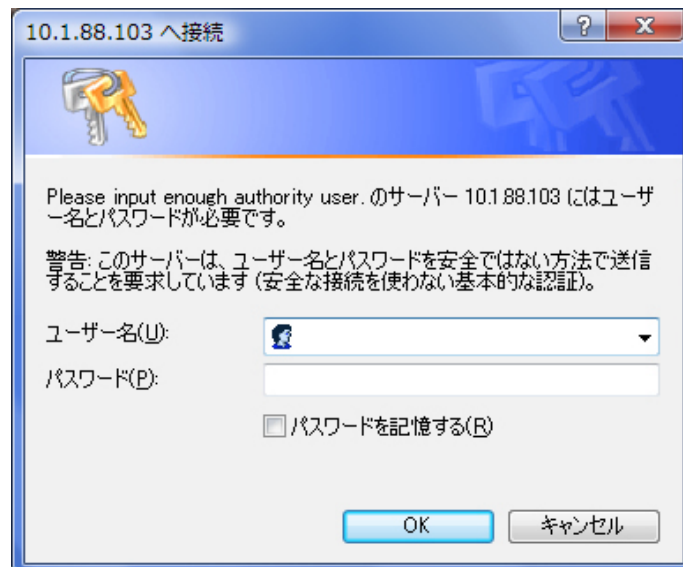
方法I. ネットワーク装置検出ツールアプリケーション

ネットワーク装置検出ツールは、会社のネットワークまたはご使用の PC に接続されたネットワークカメラおよび NVR を検出するアプリケーションです。

1. CD-ROMを PC の CD-ROMドライブに入れます。
2. “Plustek ネットワーク装置検出ツール”ファイルをダブルクリックします。
3. ネットワーク装置検出ツールのウィンドウが表示されます。



4. 使用する NVR をダブルクリックします。
5. Internet Explorer の「システムログイン」ページが表示されます。





ウェブサイトの閲覧に Internet Explorer を使用している場合、ActiveX コントロールによって画像が正常に表示されます。

- NVR に初めてログインする場合は、ユーザー名に“admin”、パスワードに“admin”を入力してください。
- “OK”をクリックして、認証用の個人情報を送信します。



注意

“admin”および“admin”はデフォルトのユーザー名およびパスワードは、初めてNVRに管理者としてログインするためのものです。デフォルトのパスワードはすぐ変更してください。パスワード変更は“[ユーザー](#)”セクションをご参照ください。

方法II. IEアドレスバー

NVR を固定 IP アドレスでインターネットに接続する場合は、IE アドレスバーに直接 IP アドレスを入力することで NVR にログインできます。



企業ネットワークにおいて動的IPアドレスが提供される場合、詳細については“[NVRを浮動IPアドレス経由で使用します](#)”セクションをご参照ください。

- Internet Explorer を起動し、IE アドレスバーに IP アドレスを入力してからキーボードの“Enter”キーを押して、「システムログイン」ページを表示します。



- 「システムログイン」ページが表示されます。



- ユーザー名に“admin”、パスワードに“admin”を入力して“OK”をクリックします。



注意

“admin”および“admin”はデフォルトのユーザー名およびパスワードは、初めてNVRに管理者としてログインするためのものです。デフォルトのパスワードはすぐ変更してください。パスワード変更は“[ユーザー](#)”セクションをご参照ください。

ウィザード

このウィザードは、基本設定で初期のセットアップを素早く手軽に行うようご案内します。ご使用のNVRの“デバイス名”を設定できます。

ステップ 1 - システム設定



ステップ1・システム設定

システム

デバイス名: NVR

日付および時刻

タイムゾーン: (GMT+09:00) 大阪、札幌、東京

コンピュータ時刻 日付: 2010/3/31 時刻: 12:4:56

マニュアル設定 日付: / / 時刻: : :

*スキップボタンをクリックすると、ウィザードをスキップしますが、設定は保存されません。

NVR の日付および時刻の設定:

1. ドロップダウンリストからタイムゾーンを選択します。
2. NVR の日付および時刻は、以下の 2 つの方法で設定可能です。
 - a. NVR をコンピュータ時刻と同期させます。
 - b. 日付および時刻を空欄に入力して手動設定します。

“次へ”をクリックして、設定を続けます。

ステップ 2 - WAN設定

ステップ2 - WAN設定

DHCP経由でIPを取得
 以下のIPを使用

IPアドレス	<input type="text" value="10"/>	<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="100"/>	<input type="text" value="13"/>
サブネットマスク	<input type="text" value="255"/>	<input type="text" value="255"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>
デフォルトルーター	<input type="text" value="10"/>	<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="100"/>	<input type="text" value="1"/>

HTTPポート

ポート番号	<input type="text" value="80"/>
-------	---------------------------------

DNS

DNSアドレスを自動取得
 以下のDNSアドレスを使用

プライマリ DNS アドレス	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
セカンダリ DNS アドレス	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

*TCP/IP (Transmission Control Protocol) は、Internet Protocol (IP) と併用する一連のルール(プロトコル)で、インターネットを介してコンピュータ間でのメッセージ単位としてデータを送信するのに使用します。IP はデータの実際の送信を処理する一方、TCP はインターネット経由での効果的なルーティング用のメッセージ分割の個々の単位(パケットと呼ばれる)の行き先を処理します。

*DNS(Domain Name System) は、各種インターネットドメイン名およびそれをIPアドレスに変換する部分のサービスです。DNSサービスは、指定されたウェブサイトへの反応および正確度を向上させます。

*スキップボタンをクリックすると、ウィザードをスキップしますが、設定は保存されません。

IP 割当て方法の選択:

1. DHCP または固定 IP のいずれかを選択します。
 - NVR に動的 IP を使用するなら、“DHCP 経由で IP を取得”ラジオボタンにチェックします。これで NVR には企業のネットワークにおける未使用の IP アドレスが割り当てられます。
 - NVR に固定 IP を使用するなら、“以下の IP を使用”というラジオボタンをチェックし、IP アドレス、サブネットマスク、およびデフォルトルーターに関する欄に記入します。
2. 必要であるなら、HTTP ポートを入力します。デフォルトポートは 80 です。

必要であれば DNS アドレスを入力:

DNS アドレスを自動取得するには、“DNS アドレスを自動取得”ラジオボタンにチェックします。NVR にホスト名を割り当てる場合、少なくとも 1 つの(プライマリ) DNS アドレスを入力する必要があります。

1. ISP によって提供された“プライマリ DNS アドレス”の IP アドレスを入力します。
2. ISP によって提供された“セカンダリ DNS アドレス”の IP アドレスを入力します。

“次へ”をクリックして、設定を続けます。

ステップ 3 - LAN設定

ステップ3 - LAN設定				
IPアドレス	192	168	10	1
サブネットマスク	255	255	255	0
ゲートウェイ	192	168	10	254
DHCP 設定				
NVR は DHCP サーバとして機能します	<input checked="" type="checkbox"/> 有効			
*クライアント IPカメラに動的IPアドレスを割り当てることでDHCPを有効にできます。				
IP プール開始アドレス	20			
IP プール終了アドレス	250			
有効期間	2時間			
ローカルドメイン名	NVR-4000			(オプション)
[スキップ] [戻る] [完了]				
<small>*DHCP(Dynamic Host Configuration Protocol)は、企業ネットワークにおいてネットワーク管理者によるInternet Protocol (IP)アドレスの集中管理および自動割り当てを可能にする規格です。 *スキップボタンをクリックすると、ウィザードをスキップしますが、設定は保存されません。</small>				

NVR を DHCP サーバとして動作させる:

1. NVR を DHCP サーバとして動作させ、接続された IP カメラに動的 IP アドレスを割り当てるには、“有効”をクリックします。
2. IP プールの開始アドレスおよび終了アドレスを入力し、IP カメラに割り当てる IP アドレスの範囲を設定します。
3. “有効期間”を入力します。
4. LAN 上のローカルドメイン名によって NVR にアクセスするには、NVR の“ローカルドメイン名”を入力します。

設定を完成させるには、“完了”をクリックします。システム再起動には 60 秒程度かかります。画面の表示に従って必要な全ての新しいソフトウェアをインストールします。

新たなIPカメラの追加

1. “詳細設定”ページに移動し、メニューの“IPCam(ネットワークカメラ)” → “デバイス管理”とクリックします。
2. “新規”ボタンをクリックすると、“デバイス情報”ウィンドウが表示され、NVR は接続された IP カメラを自動検出してその“デバイス名”、“IP アドレス”、“ポート”と共に表示します。接続されたデバイス情報を更新するには、“更新” ボタンをクリックします。

デバイス情報

UPnP 履歴 マニュアル

	デバイス名	IP アドレス	ポート
1	ipcam	192.168.10.214	80

戻る 次へ キャンセル 更新

3. 検出されていない IP カメラを追加するには、“デバイス情報”ウィンドウで“マニュアル”ボタンをクリックすると、“デバイスの追加”ウィンドウが表示されます。



参考

IP カメラの追加方法は以下の 2 通りです。

- “UPnP” ボタンをクリックすると、接続された IP カメラが自動検出され、IP カメラの選択にはラジオボタンをクリックし、それから“次へ”ボタンをクリックして設定を続けます。
- “デバイス管理”リストにおいて“履歴”ボタンをクリックすると、これまで追加された IP カメラが表示され、IP カメラの選択にはラジオボタンをクリックし、それから“次へ”ボタンをクリックして設定を続けます。

デバイスの追加

デバイス名	ipcam
名称	office
ユーザー名	admin
パスワード	*****
パスワード再入力	*****
IP アドレス	192 168 10 214
WEB ポート	80

戻る 次へ

4. ライブ表示スクリーンバナーの“ライブ表示”、“録画表示”、“モーション検知”ページで表示されるデバイスの“名称”を入力します。“デバイス情報”ページで表示される IP カメラの“デバイス名”、“IP アドレス”、“WEB ポート”を入力します。IP カメラのユーザー名およびパスワードを入力します。“パスワード再入力”でパスワードを再度入力します。
5. “次へ”をクリックすると、IP カメラ情報が追加され、“接続の状態”ウィンドウに今追加した IP カメラの状態が表示されます。

接続の状態	
名称	office
デバイス名	ipcam
IP アドレス	192.168.10.214:80
状態	正常
閉じる	

NVR ビューアーウィンドウ

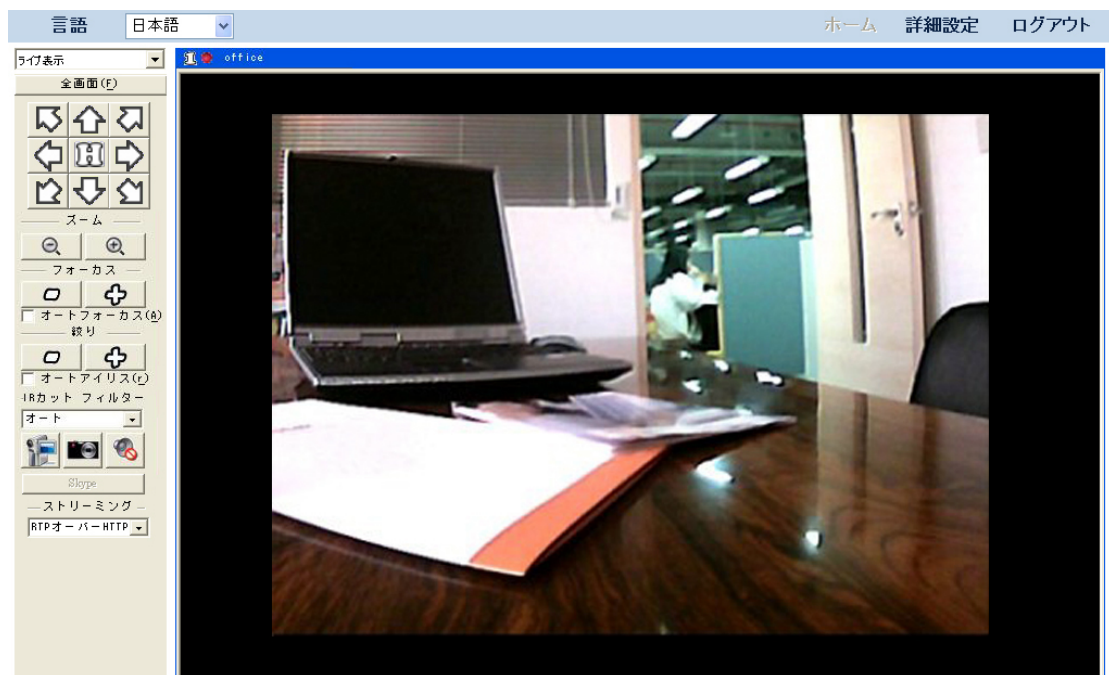
言語

ログイン後、“ライブ表示”ページに示され。ドロップダウンリストからシステム言語を選択できます。


ライブ表示

ログイン後、“ライブ表示”ページに4つのカメラ画像が示され、カメラで写されたライブビデオが表示されます。必要なチャンネルを表示するには、対応するカメラウィンドウ上部のバーをダブルクリックします。

周囲には、カメラおよび NVR の機能を制御するボタンお幾つか表示されます。






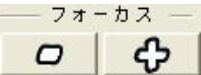







全画面での表示方法



カメラウィンドウを全画面表示にするには、“全画面(F)”ボタン  をクリックします。全画面表示を終了するには、Alt + Esc ボタンを押します。

カメラビューアーの制御方法⁶


個々のボタンの機能は、下表に示されています。

ボタン	機能
	PTZ ネットワークカメラを使用している場合、PTZ 設定ボタンが有効となります。ボタンをクリックして PTZ カメラを調節します。PTZ 制御によりネットワークカメラを望む方向に設定できます。カメラレンズの方向を変えるにはこれら矢印ボタンをクリックします。カメラをホーム位置にリセットするには、  ボタンをクリックします。
	ズームインやアウトを行うには、  または  をクリックします。
	レンズ焦点を  または  で調節します。
<input type="checkbox"/> オートフォーカス(A)	オートフォーカスをオンにするには、このチェックボックスにチェックを入れます。
	絞りを  または  で調節します。
<input type="checkbox"/> オートアイリス(I)	自動絞りをオンにするには、このチェックボックスにチェックを入れます。
IRカット フィルター オート	“IR カットフィルター”を“オフ”に設定すると、画像は白黒表示されます。“IR カットフィルター”を“オート”に設定すると、周囲の明るさが一定条件以下の場合にカメラのフィルターが自動的にオフになります。

ビデオの手動録画

1. “手動録画”ボタン  をクリックすると、録画処理が開始されます。
2. “手動録画”ボタン  を再度押すと、録画処理が停止します。
3. 録画されたビデオが保存されます。録画されたビデオを再生するには、プルダウンリストから“録画表示”を選ぶと、“録画表示”ページが表示されます。


スナップショットの撮影

1. “スナップショット”ボタン  をクリックすると、ビューアーに表示されている画面が取り込まれます。

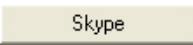
⁶接続された IP カメラに対応する機能が装備されている場合にのみ有効となります。

2. スナップショットを保存するフォルダおよびファイル名を示すウィンドウがポップアップ表示されます。フォルダにアクセスするとスナップショット画像が見られます。Windows 7 ユーザーであれば、表示されるダイアログで指定された保存フォルダを選んで、ディスクドライブ内容を確認できます。

オーディオ機能の有効化

“オーディオ”ボタン  は、接続された IP カメラに関連機能が搭載されている時のみ使用可能です。“詳細設定”ページを表示させ、メニューから“IPCam(ネットワークカメラ)” → “ビデオ設定”とクリックします。“可聴周波開始”オプションにチェックがある場合、“オーディオ”ボタンをクリックしてオーディオ機能をオン・オフできます。

Skype機能の有効化

“Skype”ボタン  は、接続された IP カメラに関連機能が搭載されている時のみ使用可能です。“詳細設定”ページを表示させ、メニューから“IPCam (ネットワークカメラ)” → “詳細”とクリックします。“Skype Out を有効化”オプションにチェックがある場合、さらにアカウントを入力すると、“Skype”ボタンをクリックしてオーディオ機能をオン・オフできます。


ストリーミングプロトコルの選択方法

- **自動:** NVR はマルチキャスト経由のトンネリング RTP に対応しています。
- **RTP オーバーHTTP:** NVR は HTTP 経由のトンネリング RTP に対応しています。この機能により、標準ポート 80 HTTP 接続の経由で NVR ライブ表示ウィンドウが表示可能です。

録画表示

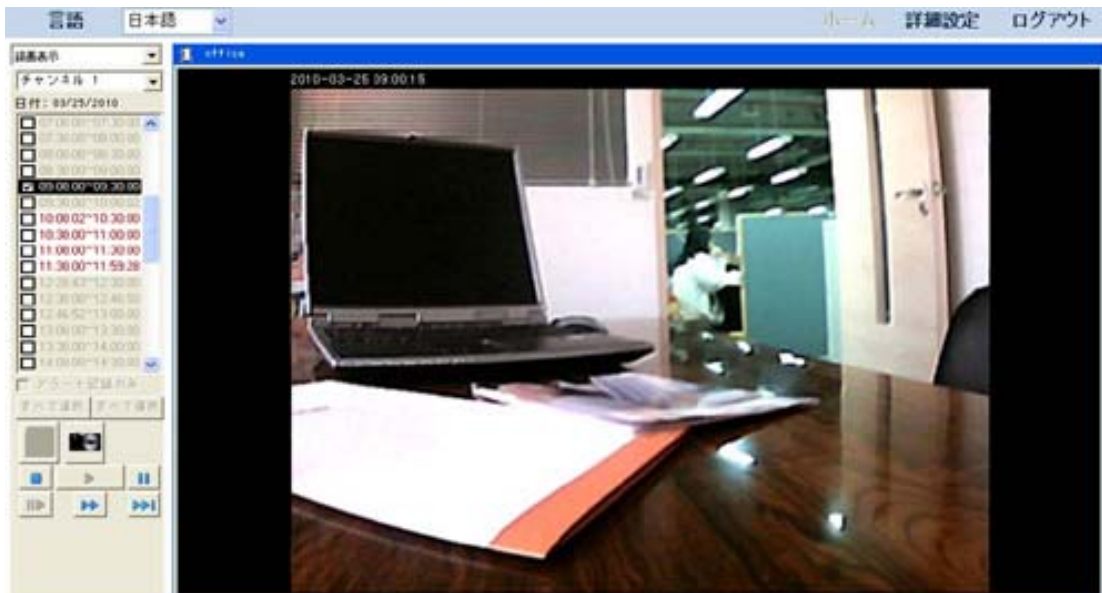
録画表示のページを表示するには、ドロップダウンリストから“録画表示”を選択します。


再生する録画の選択:





1. ドロップダウンリストからカメラを選択します。  ボタンをクリックしてポップアップウィンドウから日付を選択します。

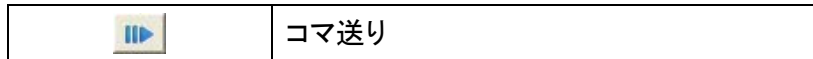


2. 再生したい録画の日付をカレンダーから選びます。ビデオ録画のある日は太字で表示されます。“OK”をクリックして選択を確定します。
3. リストから時間帯を選んで左側のチェックボックスにチェックを入れます。
4. 全部の録画を選ぶには“すべて選択”をクリックし、全部の選択を解除するには“すべて選択解除”をクリックします。“再生”をクリックすると、録画ビデオが順番に再生されます。




5. “スナップショット”ボタン  をクリックすると、表示画像のスナップショットが可能です。
6. 録画表示ダイアログの下部にあるボタンをクリックすると再生を制御できます。個々のボタンの機能は、下表に示されています。

	再生
	停止
	一時停止
	早送り
	選択された録画の次のセクションに移動

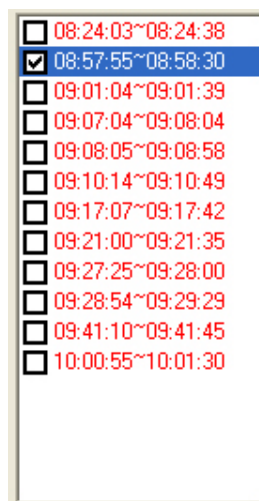


再生するアラーム記録の選択方法:


1. “アラート記録のみ” オプションを選択します。
2. ドロップダウンリストからカメラを選択します。  ボタンをクリックしてポップアップウィンドウから日付を選択します。

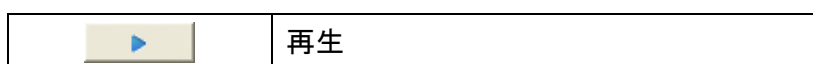







3. 再生したい録画の日付をカレンダーから選びます。ビデオ録画のある日は太字で表示されます。“OK” をクリックして選択を確定します。
4. リストから時間帯を選んで左側のチェックボックスにチェックを入れます。



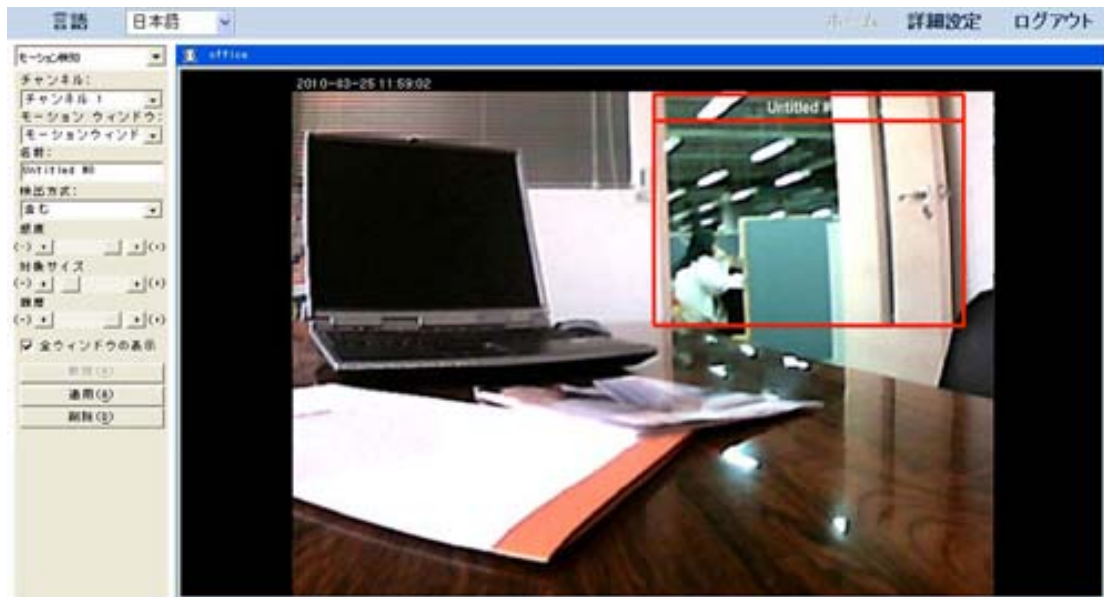
5. 全部の録画を選ぶには“すべて選択” をクリックし、全部の選択を解除するには“すべて選択解除” をクリックします。“再生”をクリックすると、録画ビデオが順番に再生されます。

6. “スナップショット”ボタン  をクリックすると、表示画像のスナップショットが可能です。
7. 録画表示ダイアログの下部にあるボタンをクリックすると再生を制御できます。個々のボタンの機能は、下表に示されています。



	停止
	一時停止
	早送り
	選択された録画の次のセクションに移動
	コマ送り

モーション検知



個々のカメラに対するモーション検知条件の設定:

1. モーション検知 のページを表示するには、ドロップダウンリストから“モーション検知”を選択します。
2. ”モーション検知”ダイアログが左側に表示されます。ドロップダウンリストからカメラを選択します。
3. “モーション検知”ダイアログから、設定したいモーションウィンドウを選択します。
 - カメラウィンドウにモーション検知フレームが表示されない場合は、“モーション検知”ダイアログの“新規”ボタンをクリックします。これで“Untitled- #0”という名前の赤いモーション検知フレームが作成され、これに対する設定が可能になります。
 - カメラウィンドウでモーション検知フレームが表示されたら、“モーション検知”ダイアログのドロップダウンリストから、“モーションウィンドウ”を選択します。これでモーションウィンドウが赤い枠で活性化され、これに対する設定が可能になります。
4. アクティブなモーションウィンドウの枠をドラッグしてウィンドウの形状、サイズ、位置を設定します。
5. ダイアログで“名前”を入力します。

6. フレーム内の動きを検出する場合は“検出方式”ドロップダウンリストから“含む”を選択し、フレームの外の動きを検出する場合は“含まない”を選択します。
7. 以下の要素をスライダーで調節します。
 - モーション検知をトリガーするカラーと光度の差異“感度”
 - モーション検知をトリガーする“対象サイズ”
 - “履歴” –モーション検知をトリガーさせることになる、フレーム内に対象が現れて表示され続ける時間
8. “全ウィンドウの表示”をチェックすると、カメラ表示で全てのモーションウィンドウが表示されます。オプションのチェックを外すと、アクティブなモーションウィンドウのみ表示されます。
9. アクティブなモーションウィンドウを削除するには、“削除”ボタンをクリックします。
10. 変更した設定を保存するには、“適用”ボタンをクリックします。



参考

カメラのモーション検知設定は、カメラのイベントトリガーとしてモーションを設定しない限り有効にはなりません。より詳細な情報は [イベント設定](#) セクションをご参照ください。

NVRからのログアウト

NVR ページを終了するには、NVR のメインページの右上にある“ログアウト”ボタンをクリックします。



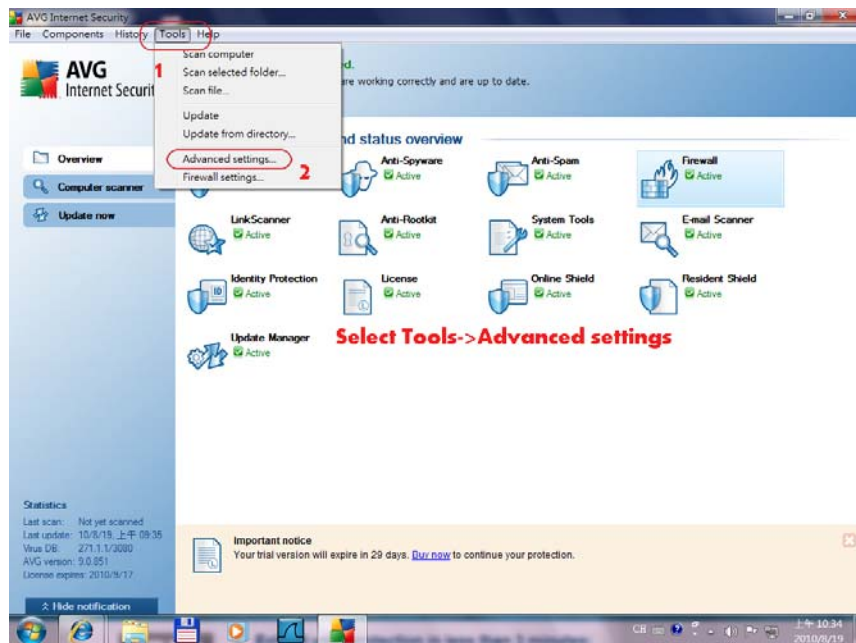
注意

NVR を終了する際、Internet Explorer の ボタンはクリックしないでください。 ボタンをクリックしても、ユーザーのログイン状態は変わりません。

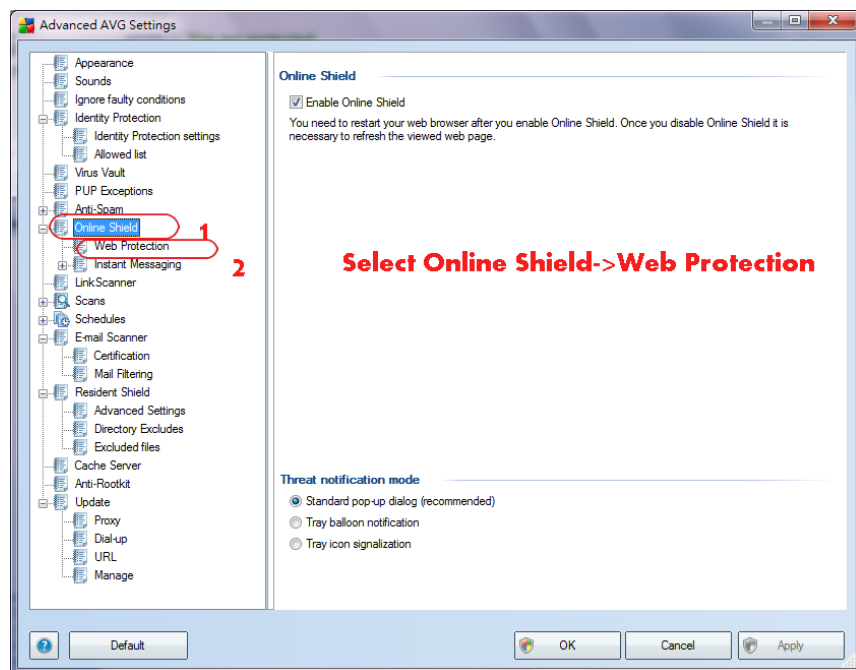
第III章NVRによる操作

AVG アンチウイルスソフトウェアを使ったPC上でのライブ表示 ページの表示

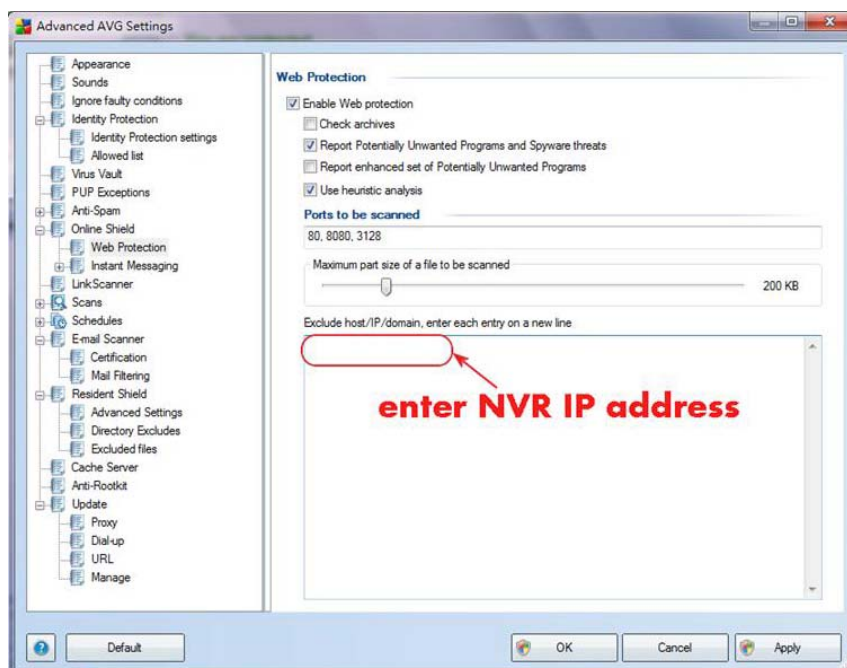
(1) Overview ページで Tools > Advanced settings を選択します。



(2) 開かれるダイアログで、Online Shield > Web Protection を選択します。



- (3) **Exclude host/IP/domain** 欄に NVR IP アドレスを入力して、“**Apply**” ボタンをクリックすると、設定が完了します。

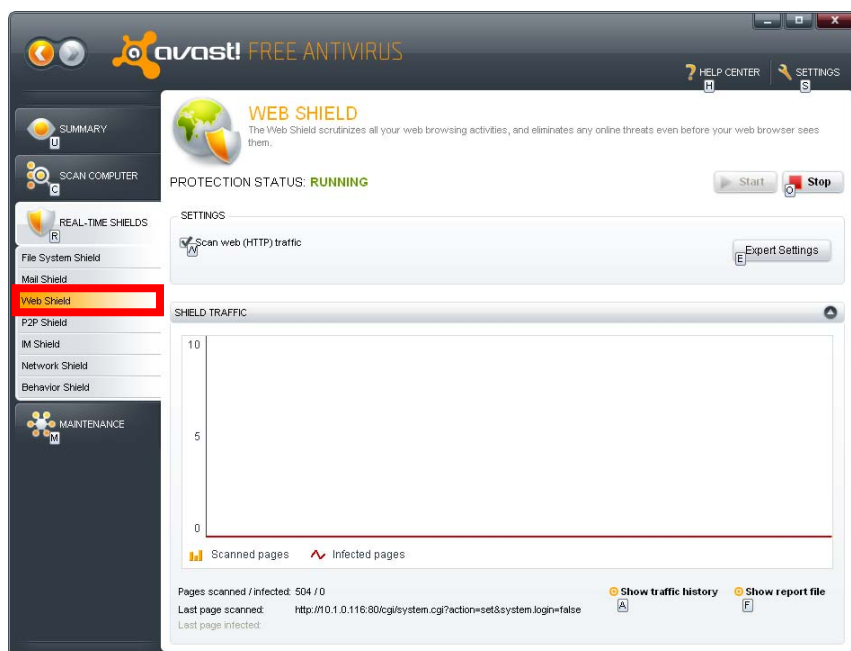


Avast アンチウイルスソフトウェアを使ったPC上でのライブ表示ページの表示

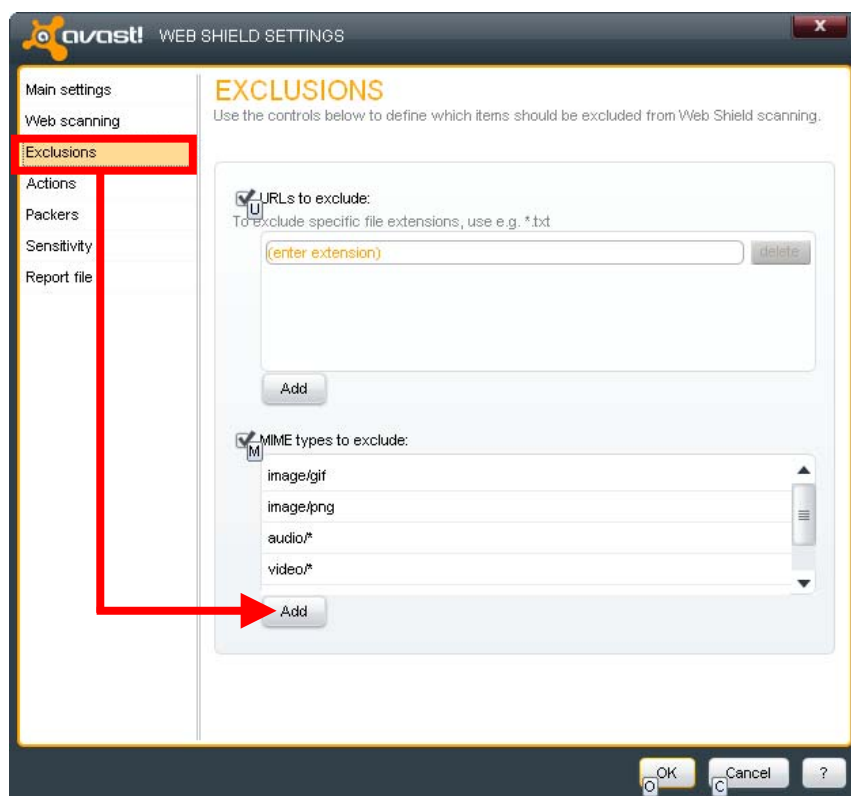
- (1) Avast のメインページで、左側から **REAL-TIME SHIELDS** を選択します。



(2) REAL-TIME SHIELDS のサブメニューから Web Shield を選択します。



(3) WEB SHIELD SETTINGS ページの左側から Exclusions を選択します。MIME types to exclude 欄の下にある“Add” ボタンをクリックして、除外リストに”multipart/x-mixed-replace” と入力し、“OK” ボタンをクリックすると、設定が完了します。



ネットワークカメラのビデオ形式および解像度の変更

- (1) IP カメラが正常に NVR に追加された後で、“詳細設定”ページに移動し、メニューの“IPCam(ネットワークカメラ)” → “ビデオ設定”とクリックします。“画像詳細設定”セクションでは、カメラによるビデオ画像のビデオ形式をドロップダウンリストから選択します。サポートされる形式は IP カメラに依存しており、利用可能な最大のオプションは以下の通りです: **JPEG** (よりよい画質), **MPEG4** および **H.264** (ファイルが小さな形式)。

The screenshot shows the PlusTek NVR web interface. The language is set to Japanese. The user is logged in as 'office'. The main menu includes 'デバイス管理' (Device Management) and 'ビデオ設定' (Video Settings). The 'ビデオ設定' page is active, showing the '画像詳細設定' (Image Detail Settings) section. The 'ビデオ形式' (Video Format) dropdown menu is open, showing options for JPEG, MPEG4, and H.264. Other settings include resolution, quality, rotation, color level, brightness, sharpness, audio source, and frame rate.

画像詳細設定	
ビデオ形式	JPEG
解像度	
画質	
画像の回転	0 角度
カラーレベル	50 [0..100]
輝度	50 [0..100]
シャープネス	50 [0..100]
可聴周波設定	
<input checked="" type="checkbox"/> 可聴周波開始	
源	ライン
<input checked="" type="checkbox"/> マイクロフォン 開いた, 開いた電池は, ボタンを消す	
オーバーレイ設定	
<input checked="" type="checkbox"/> 日付 / 時刻を含める	
<input type="checkbox"/> 以下の文字を含める	
以下に文字/日付/時刻を添付	トップ 画像の
フレームレート	<input type="radio"/> 無制限 <input checked="" type="radio"/> 制限値 10 fps [1~30]

- (2) 解像度 はドロップダウンリストから調節できます。サポートされる形式は IP カメラに依存します。

言語 日本語 ▼ ホーム [詳細設定](#) [ログアウト](#)

plustek
communication life

ウィザード
状態
ネットワーク
IPCam (ネットワークカメラ)
ハードディスク
システム
データベース
スケジュール設定
セキュリティ

デバイス管理 **ビデオ設定**

office ▼

画像詳細設定

ビデオ形式	JPEG	▼
解像度	QCIF	▼
画質	QCIF	▼
画像の回転	CIF	▼
カラーレベル	2CIF	▼
輝度	50	[0..100]
シャープネス	50	[0..100]

可聴周波設定

可聴周波開始

源 ライン ▼

マイクロフォン 開いた, 開いた電池は, ボタンを消す

オーバーレイ設定

日付 / 時刻を含める

以下の文字を含める

以下に文字/日付/時刻を添付 トップ ▼ 画像の

フレームレート 無制限 制限値 10 fps [1~30]

記録スケジュール設定による記録のアクティブ化

- (1) “詳細設定”ページに移動し、メニューの“スケジュール設定” → “記録スケジュール”を選択すると、録画スケジュール設定ページが表示されます。

言語 日本語 ▼ ホーム [詳細設定](#) [ログアウト](#)

plustek
communication life

ウィザード
状態
ネットワーク
IPCam (ネットワークカメラ)
ハードディスク
システム
データベース
スケジュール設定
セキュリティ

記録スケジュール **イベントスケジュール**


office ▼

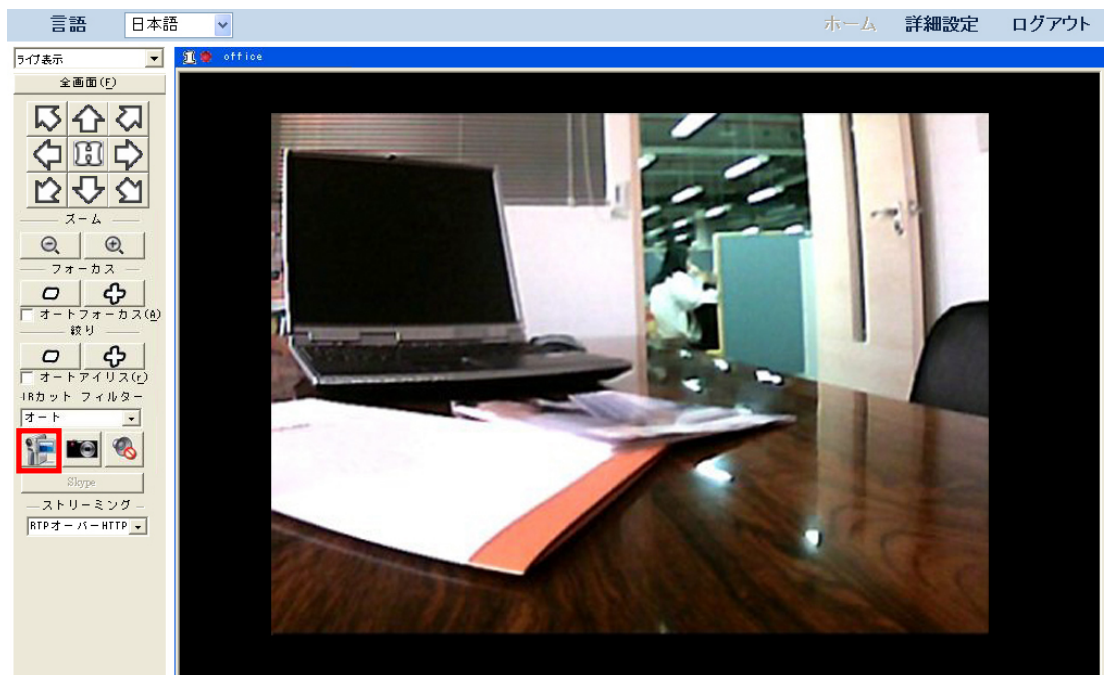
スケジュール	アクティブ	時間表 (00:00 ~ 24:00)
No 1	<input type="checkbox"/>	開始時刻: 0 h 0 m - 終了時刻: 24 h 0 m <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 日
No 2	<input type="checkbox"/>	開始時刻: 0 h 0 m - 終了時刻: 24 h 0 m <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 日
No 3	<input type="checkbox"/>	開始時刻: 0 h 0 m - 終了時刻: 24 h 0 m <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 日
No 4	<input type="checkbox"/>	開始時刻: 0 h 0 m - 終了時刻: 24 h 0 m <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 日
No 5	<input type="checkbox"/>	開始時刻: 0 h 0 m - 終了時刻: 24 h 0 m <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 日
No 6	<input type="checkbox"/>	開始時刻: 0 h 0 m - 終了時刻: 24 h 0 m <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 日

- (2) ドロップダウンリストからカメラを選択します。記録スケジュール を No1 からNo 6 までのいずれかに設定し、チェックボックスの“アクティブ” にチェックすると、記録スケジュールがアクティブ化されます。NVRの一日の録画の“開始時刻”および“終了時刻”を選択します。曜日を選択します。“確認”ボタンをクリックすると、カメラへの設定が保存されます。下の写真では、記録スケジュール は毎週水曜日に 24 時間記録されることになっています。記録スケジュール がアクティブ化されると、ライブ表示ページの“手動録画”ボタン は使用不可になります。



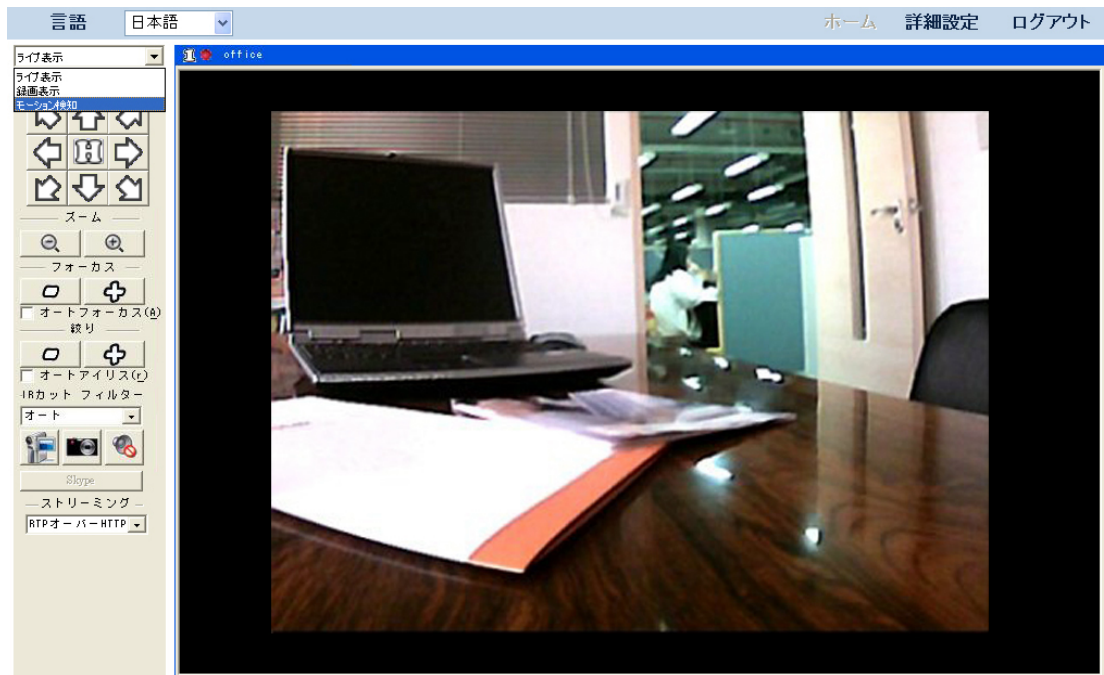
“手動録画”ボタンによる記録のアクティブ化

- (1) ライブ表示 ページ左下にある  “手動録画”ボタン をクリックすると、記録がアクティブ化されます。

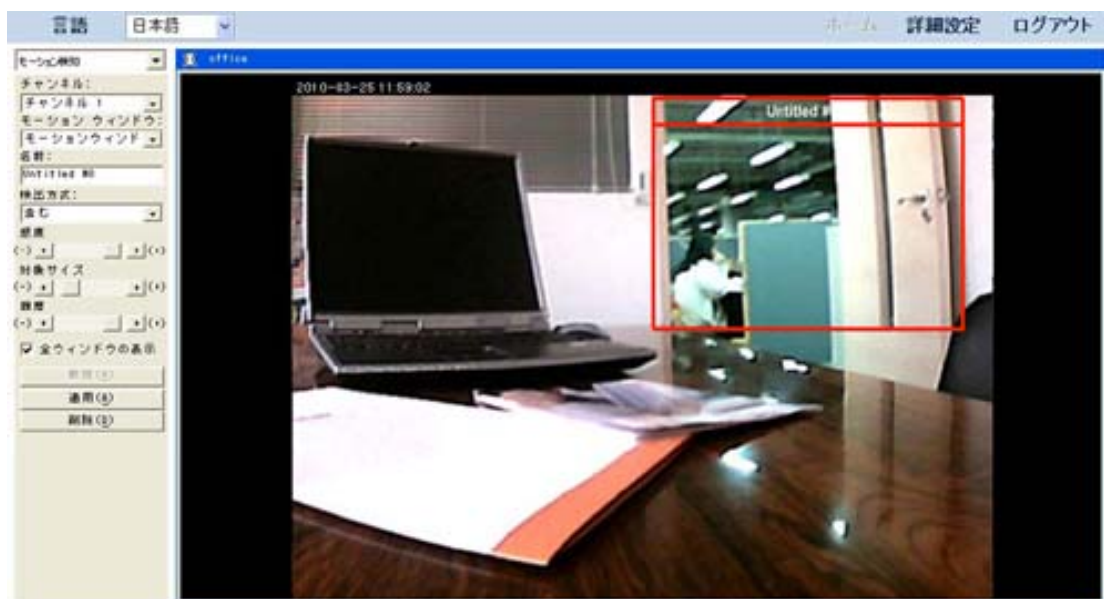


モーション検知 がトリガーされる際にEメール通知を送信

- (1) ドロップダウンリストで “モーション検知” を選択すると、モーション検知 ページが表示されます。



(2) 検知エリア設定には“モーシヨン検知” セクションをご参照ください。変更した設定を保存するには、“適用”ボタンをクリックします。



(3) “詳細設定”ページに移動し、メニューの“ネットワーク” → “WAN” → “SMTP”とクリックします。

言語 日本語

ホーム 詳細設定 ログアウト

plustek
communication life

ウィザード
状態
ネットワーク
IPCam (ネットワークカメラ)
ハードディスク
システム
データベース
スケジュール設定
セキュリティ

WAN LAN クライアントリスト

TCP/IP
TCP/IP 理由でIPを取得
DDNS
SMTP IPを使用
FTP

IPアドレス 10 . 1 . 100 . 13

サブネットマスク 255 . 255 . 0 . 0

デフォルトルーター 10 . 1 . 100 . 1

HTTPポート
ポート番号 80

DNS
 DNSアドレスを自動取得
 以下のDNSアドレスを使用

プライマリ DNS アドレス

セカンダリ DNS アドレス

確認

- (4) “追加”ボタンをクリックし、ページ内の SMTP 情報を入力します。“確認”をクリックすると、設定が保存されます。

SMTP

名称 Mary Lo

送信者アドレス marylo@123.com

メールサーバ smtp.123.com

ユーザー名 marylo

パスワード ●●●●●●

パスワード再入力 ●●●●●●

確認 キャンセル

- (5) “詳細設定”ページに移動し、メニューの“セキュリティ” → “イベント設定”をクリックすると、イベント設定ウィンドウが表示されます。ドロップダウンリストからカメラを選択します。“追加”ボタンをクリックすると、“イベント設定の追加”ページが表示されます。

言語 日本語

ホーム 詳細設定 ログアウト

plustek
communication life

ウィザード
状態
ネットワーク
IPCam (ネットワークカメラ)
ハードディスク
システム
データベース
スケジュール設定
セキュリティ

イベント設定 アラーム通知 ログ

イベントリスト
office

	名称	イベント	トリガー時
1		<input type="radio"/>	
2		<input type="radio"/>	
3		<input type="radio"/>	
4		<input type="radio"/>	

追加 編集 削除

- (6) イベント設定に名前を付け、モーション検知のラジオボタンをクリックして反応する“イベント”を選択します。モーション検知ウィンドウをドロップダウンリストから選び、モーション検知イベントを“開始”、“停止”、“開始-停止”に設定します。“E メール通知の送信”オプションにチェックします。Eメールの“件名”を入力します。“送信先”の空欄に通知を送りたい送信先 Eメールアドレスを入力し、“追加”ボタンをクリックすると、アドレスがメーリングリストに追加されます。“保存”をクリックすると、設定が保存されます。

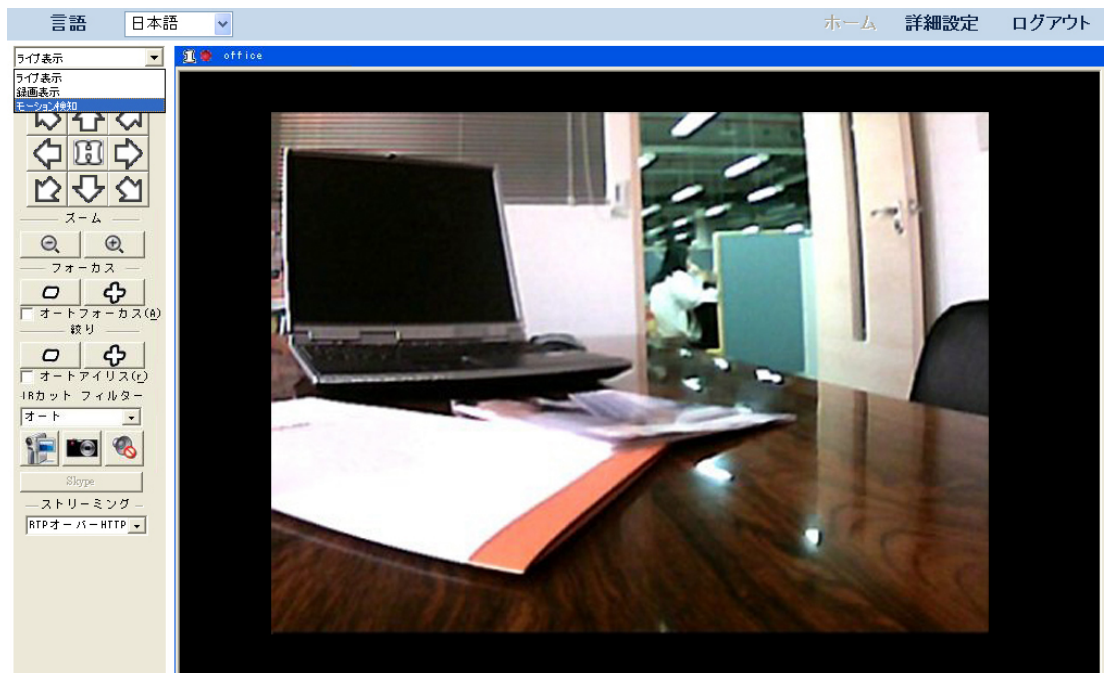
イベント設定の追加	
<input checked="" type="checkbox"/> 有効	
名称	alarm
優先度	低
イベント	
<input checked="" type="radio"/> モーション検知	
場所	Untitled #0
モーション検知時	開始
<input type="radio"/> 入力ポート	
場所	
入力時	変更
トリガー時	
<input type="checkbox"/> 出力ポートの有効化	
<input checked="" type="checkbox"/> Eメール通知の送信	
件名	
送信先	
	追加
	削除
<input type="checkbox"/> FTPサーバへ画像を送信	
<input type="checkbox"/> 自動録画	
保存	キャンセル

- (7) “詳細設定”ページに移動し、メニューの“スケジュール設定” → “イベントスケジュール”を選ぶと、イベントスケジュール設定ページが表示されます。ドロップダウンリストからカメラを選択します。イベントスケジュールを No1 から No 6 までのいずれかに設定し、チェックボックスの“アクティブ”にチェックすると、イベントスケジュールがアクティブ化されます。NVR の一日の録画の“開始時刻”および“終了時刻”を選択します。曜日を選択します。“確認”ボタンをクリックすると、カメラへの設定が保存されます。

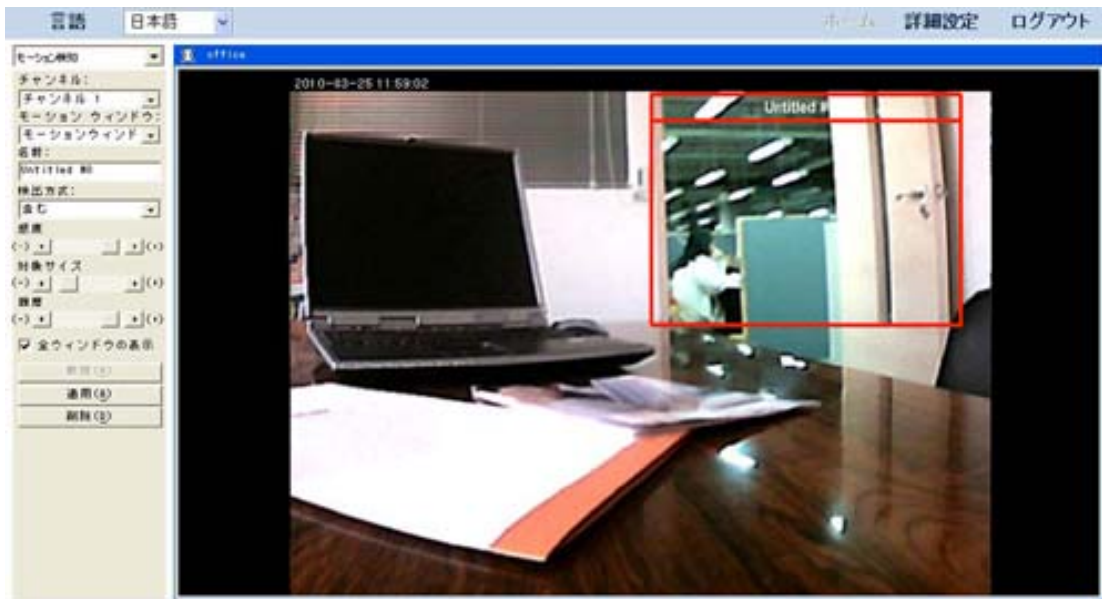


モーション検知のトリガー時に記録画像を、指定したFTP サーバに送信

(1) ドロップダウンリストで“モーション検知”を選択すると、モーション検知 ページが表示されます。



(2) 検知エリア設定には“モーション検知” セクションをご参照ください。変更した設定を保存するには、“適用”ボタンをクリックします。



(3) “詳細設定”ページに移動し、メニューの“ネットワーク” → “WAN” → “FTP”とクリックします。



(4) “追加”ボタンをクリックし、ページ内の FTP 情報を入力します。“確認”をクリックすると、設定が保存されます。

FTPサーバ	
接続名	FTP
サーバ	ftp.xyz.org
ユーザー名	Mary Lo
パスワード	*****
パスワード再入力	*****
サーバディレクトリ	NVR
<input type="button" value="確認"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

- (5) “詳細設定”ページに移動し、メニューの“セキュリティ” → “イベント設定”をクリックすると、イベント設定ウィンドウが表示されます。ドロップダウンリストからカメラを選択します。“追加”ボタンをクリックすると、“イベント設定の追加”ページが表示されます。

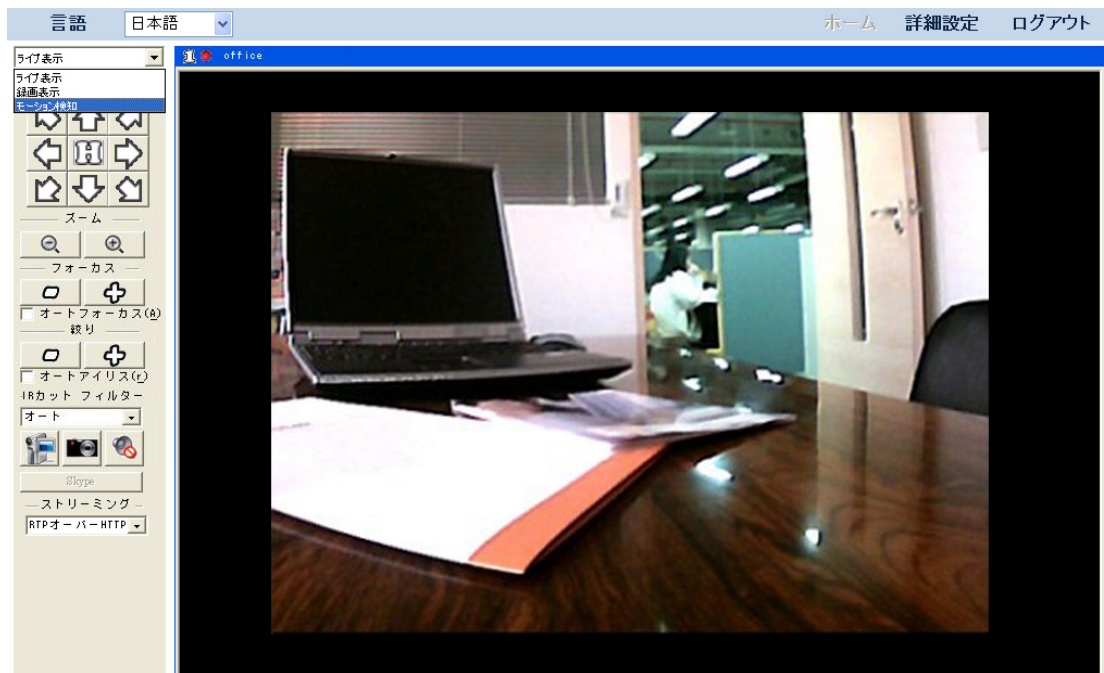
- (6) イベント設定に名前を付け、モーション検知のラジオボタンをクリックして反応する“イベント”を選択します。モーション検知ウィンドウをドロップダウンリストから選び、モーション検知イベントを“開始”、“停止”、“開始-停止”に設定します。“FTP サーバへ画像を送信”オプションを選びます。“ファイル接頭名”、“アップロード秒数” および “指定画像頻度” を設定します。“保存”をクリックすると、設定が保存されます。

- (7) “詳細設定”ページに移動し、メニューの“スケジュール設定” → “イベントスケジュール” を選ぶと、イベントスケジュール設定ページが表示されます。ドロップダウンリストからカメラを選択します。イベントスケジュール を No1 から No 6 までのいずれかに設定し、チェックボックスの“アクティブ” にチェックすると、イベントスケジュールがアクティブ化されます。NVR の一日の録画の“開始時刻”および“終了時刻”を選択します。曜日を選択します。“確認”ボタンをクリックすると、カメラへの設定が保存されます。

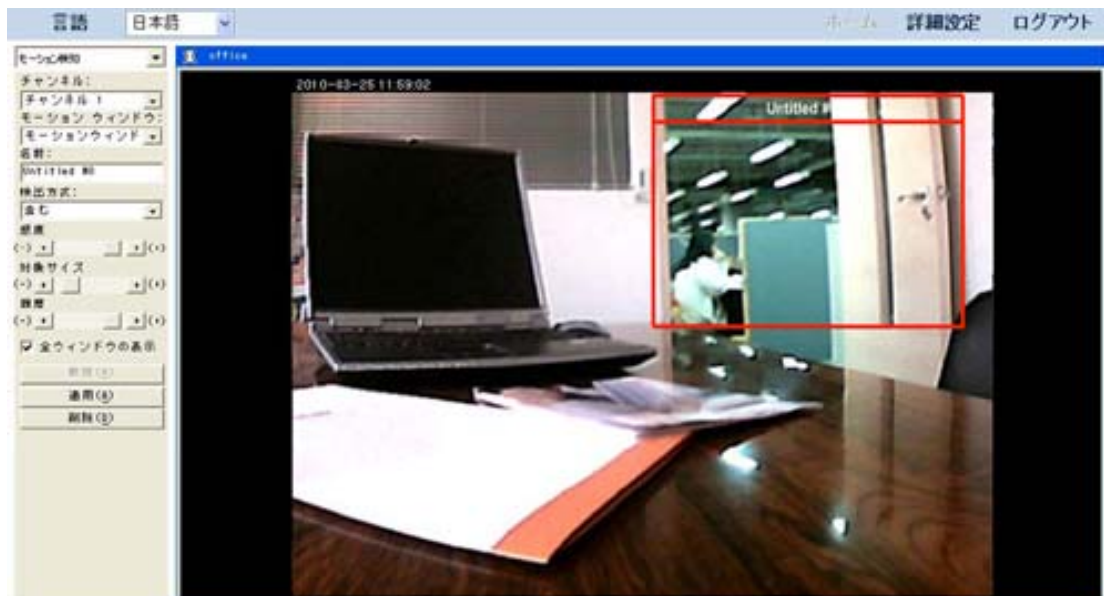


モーション検知 トリガー時にイベントを自動録画

- (1) ドロップダウンリストで “モーション検知” を選択すると、モーション検知 ページが表示されます。



- (2) 検知エリア設定には“モーション検知” セクションをご参照ください。変更した設定を保存するには、“適用”ボタンをクリックします。



- (3) “詳細設定”ページに移動し、メニューの“セキュリティ” → “イベント設定”とクリックすると、イベント設定ウィンドウが表示されます。ドロップダウンリストからカメラを選択します。“追加”ボタンをクリックすると、“イベント設定の追加”ページが表示されます。



- (4) イベント設定に名前を付け、モーション検知のラジオボタンをクリックして反応する“イベント”を選択します。モーション検知ウィンドウをドロップダウンリストから選び、モーション検知イベントを“開始”、“停止”、“開始-停止”に設定します。“自動録画”オプションを選びます。録画時間は入力します。“保存”をクリックすると、設定が保存されます。

イベント設定の追加

有効

名称

優先度

イベント

モーション検知

場所 モーション検知時

入力ポート

場所 入力時

トリガー時

出力ポートの有効化

Eメール通知の送信

FTPサーバへ画像を送信

自動録画

以下に制限 [30~99]秒

- (5) “詳細設定”ページに移動し、メニューの“スケジュール設定” → “イベントスケジュール”を選ぶと、イベントスケジュール設定ページが表示されます。ドロップダウンリストからカメラを選択します。イベントスケジュールを No1 から No 6 までのいずれかに設定し、チェックボックスの“アクティブ”にチェックすると、イベントスケジュールがアクティブ化されます。NVR の一日の録画の“開始時刻”および“終了時刻”を選択します。曜日を選択します。“確認”ボタンをクリックすると、カメラへの設定が保存されます。

言語 ホーム [詳細設定](#) [ログアウト](#)

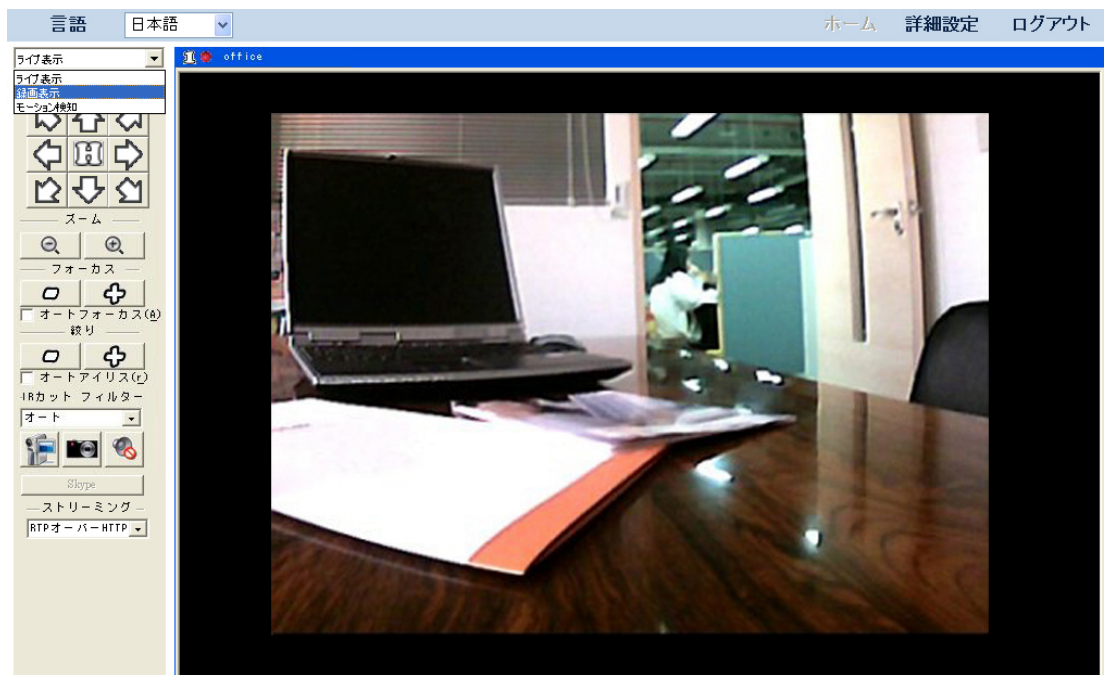
記録スケジュール イベントスケジュール


office

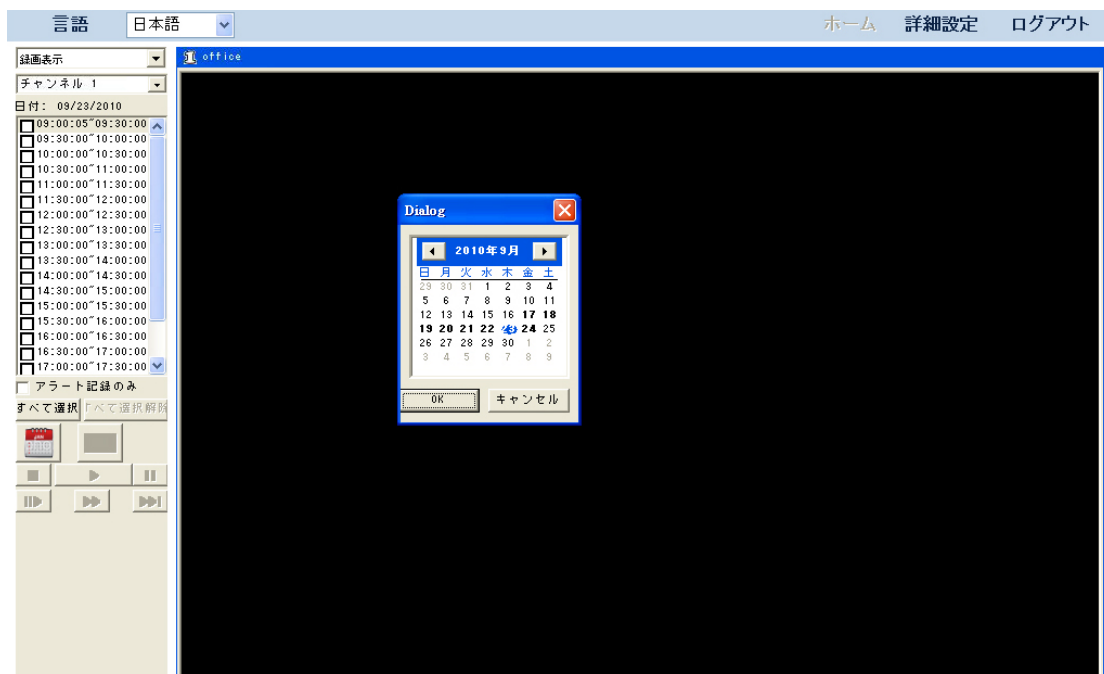
スケジュール	アクティブ	時間表 (00:00 ~ 24:00)
No 1	<input checked="" type="checkbox"/>	開始時刻: 0 h 0 m - 終了時刻: 24 h 0 m <input checked="" type="checkbox"/> 月 <input checked="" type="checkbox"/> 火 <input checked="" type="checkbox"/> 水 <input checked="" type="checkbox"/> 木 <input checked="" type="checkbox"/> 金 <input checked="" type="checkbox"/> 土 <input checked="" type="checkbox"/> 日
No 2	<input type="checkbox"/>	開始時刻: 0 h 0 m - 終了時刻: 24 h 0 m <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 日
No 3	<input type="checkbox"/>	開始時刻: 0 h 0 m - 終了時刻: 24 h 0 m <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 日
No 4	<input type="checkbox"/>	開始時刻: 0 h 0 m - 終了時刻: 24 h 0 m <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 日
No 5	<input type="checkbox"/>	開始時刻: 0 h 0 m - 終了時刻: 24 h 0 m <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 日
No 6	<input type="checkbox"/>	開始時刻: 0 h 0 m - 終了時刻: 24 h 0 m <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 日

再生する録画の選択

- (1) ドロップダウンリストで“録画表示”を選択すると、録画表示ページが表示されます。

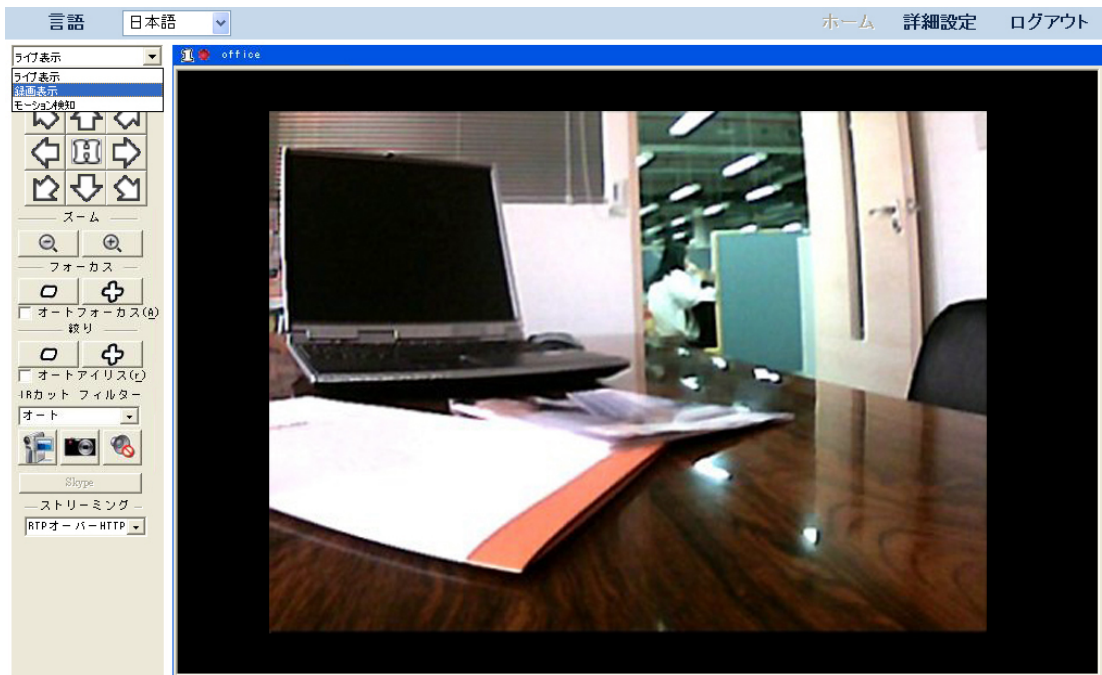


- (2) ドロップダウンリストからカメラを選択します。 ボタンをクリックしてポップアップウィンドウから日付を選択します。再生したい録画の日付をカレンダーから選びます。ビデオ録画のある日は太字で表示されます。“OK” をクリックして選択を確定します。リストから時間帯を選んで左側のチェックボックスにチェックを入れます。“再生”をクリックすると、録画ビデオが順番に再生されます。




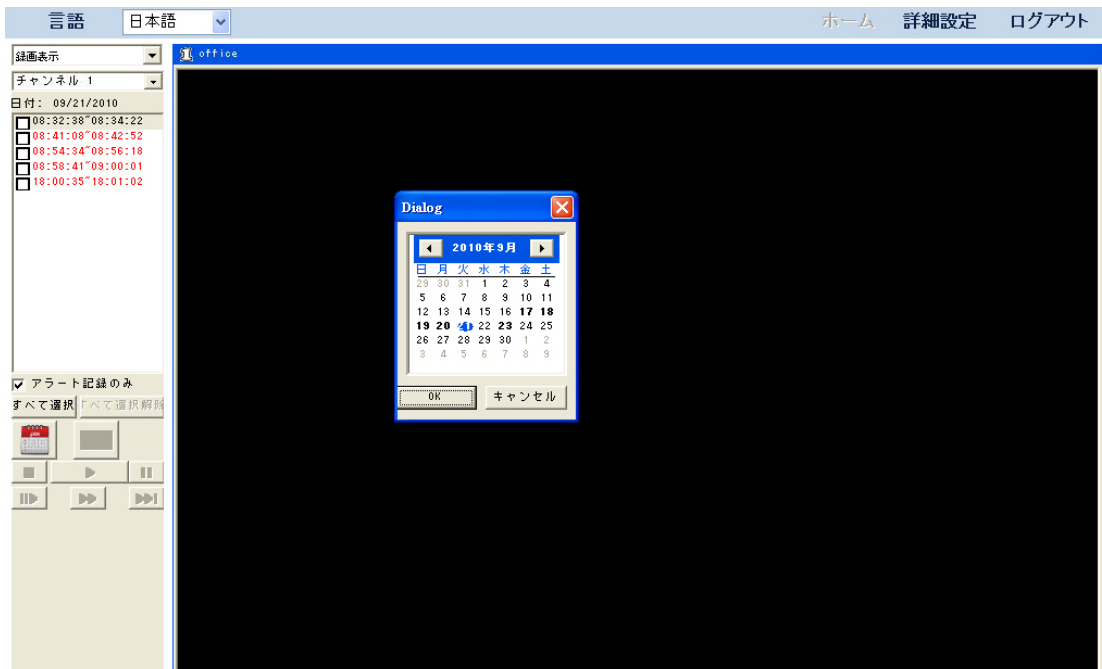
再生するアラーム録画の選択

- (1) ドロップダウンリストで“録画表示” を選択すると、録画表示ページが表示されます。



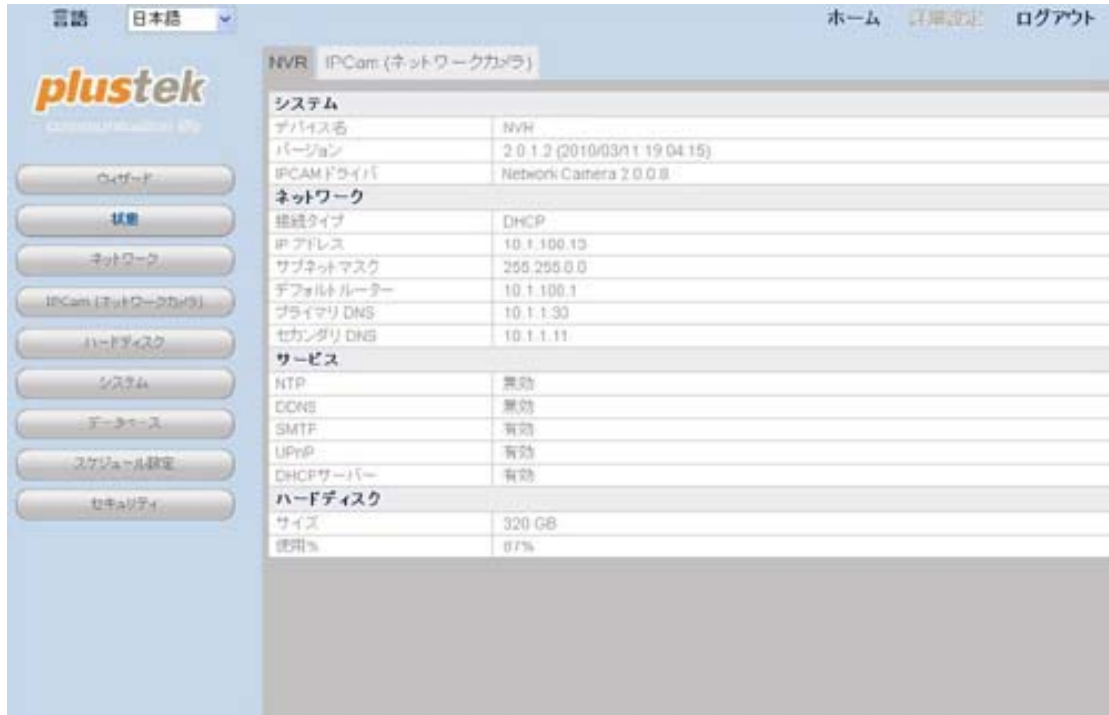
(2) “アラート記録のみ”オプションを選択します。ドロップダウンリストからカメラを選択しま

す。 ボタンをクリックしてポップアップウィンドウから日付を選択します。再生したい録画の日付をカレンダーから選びます。ビデオ録画のある日は太字で表示されます。“OK” をクリックして選択を確定します。リストから時間帯を選んで左側のチェックボックスにチェックを入れます。“再生”をクリックすると、録画ビデオが順番に再生されます。



第IV章 NVRの詳細設定

NVR 機能の全部にアクセスするには管理者の権限が必要で、特に必要に応じた NVR の詳細設定も管理者が行えます。



The screenshot shows the NVR web interface. On the left is a navigation menu with buttons for Wizard, Status, Network, IPCam (Network Camera), Hard Disk, System, Database, Schedule Setting, and Security. The main content area is titled 'NVR IPCam (ネットワークカメラ)' and displays system and network information in a table format.

システム	
デバイス名	NVR
バージョン	2.0.1.2 (2010/03/11 19:04:15)
IPCAMドライバ	Network Camera 2.0.0.8
ネットワーク	
接続タイプ	DHCP
IPアドレス	10.1.100.13
サブネットマスク	255.255.0.0
デフォルトルーター	10.1.100.1
プライマリ DNS	10.1.1.30
セカンダリ DNS	10.1.1.11
サービス	
NTP	無効
CGNS	無効
SMTP	有効
UPnP	有効
DHCPサーバー	有効
ハードディスク	
サイズ	320 GB
使用%	07%

詳細設定ページへの移行方法:

1. メインページバナーから“詳細設定”ボタンをクリックすると、詳細設定ページが表示されます。ページ左側には設定メニューが表示されます。利用可能なのは以下の9つのメニューです。“ウィザード”、“状態”、“ネットワーク”、“IPCam(ネットワークカメラ)”、“ハードディスク”、“システム”、“データベース”、“スケジュール設定”、“セキュリティ”。
2. メニュー項目をクリックするとサブメニューに移行し、必要に応じて設定を行えます。

個々のメニューおよび関連設定は以下に説明されています。

ウィザード

このウィザードは、基本設定で初期のセットアップを素早く手軽に行うようご案内します。“詳細設定”ページに移動し、メニューの“ウィザード”を選ぶと、システム設定ページが表示されます。ご使用の NVR の“デバイス名”を設定できます。

ステップ 1 - システム設定

ステップ1 - システム設定			
システム			
デバイス名	NVR		
日付および時刻			
タイムゾーン	(GMT+09:00) 大阪、札幌、東京		
<input checked="" type="radio"/> コンピュータ時刻	日付: 2010 / 3 / 31	時刻: 12:4:56	
<input type="radio"/> マニュアル設定	日付: <input type="text"/> / <input type="text"/> / <input type="text"/>	時刻: <input type="text"/> : <input type="text"/> : <input type="text"/>	
<input type="button" value="スキップ"/> <input type="button" value="次へ"/>			
<small>*スキップボタンをクリックすると、ウィザードをスキップしますが、設定は保存されません。</small>			

NVR の日付および時刻の設定:

1. ドロップダウンリストからタイムゾーンを選択します。
2. NVR の日付および時刻は、以下の 2 つの方法で設定可能です。
 - a. NVR をコンピュータ時刻と同期させます。
 - b. 日付および時刻を空欄に入力して手動設定します。

“次へ”をクリックして、設定を続けます。

ステップ 2 - WAN設定

ステップ2 - WAN設定				
<input checked="" type="radio"/> DHCP経由でIPを取得				
<input type="radio"/> 以下のIPを使用				
IPアドレス	<input type="text" value="10"/>	<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="100"/>	<input type="text" value="13"/>
サブネットマスク	<input type="text" value="255"/>	<input type="text" value="255"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>
デフォルトルーター	<input type="text" value="10"/>	<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="100"/>	<input type="text" value="1"/>
HTTPポート				
ポート番号	<input type="text" value="80"/>			
DNS				
<input checked="" type="radio"/> DNSアドレスを自動取得				
<input type="radio"/> 以下のDNSアドレスを使用				
プライマリ DNS アドレス	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
セカンダリ DNS アドレス	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="button" value="スキップ"/> <input type="button" value="戻る"/> <input type="button" value="次へ"/>				
<small>*TCP/IP (Transmission Control Protocol) は、Internet Protocol (IP) と併用する一連のルール(プロトコル)で、インターネットを介してコンピュータ間でのメッセージ単位としてデータを送信するのに使用します。IP はデータの実際の送信を処理する一方、TCP はインターネット経由での効果的なルーティング用のメッセージ分割の個々の単位(パケットと呼ばれる)の行き先を処理します。</small>				
<small>*DNS(Domain Name System) は、各種インターネットドメイン名およびそれをIPアドレスに変換する部分のサービスです。DNSサービスは、指定されたウェブサイトへの反応および正確度を向上させます。</small>				
<small>*スキップボタンをクリックすると、ウィザードをスキップしますが、設定は保存されません。</small>				

IP 割当て方法の選択:

1. DHCP または固定 IP のいずれかを選択します。

- NVR に動的 IP を使用するなら、“DHCP 経由で IP を取得”ラジオボタンにチェックします。これで NVR には企業のネットワークにおける未使用の IP アドレスが割り当てられます。
- NVR に固定 IP を使用するなら、“以下の IP を使用”というラジオボタンをチェックし、IP アドレス、サブネットマスク、およびデフォルトルータに関する欄に記入します。

2. 必要であるなら、HTTP ポートを入力します。デフォルトポートは 80 です。

必要であれば DNS アドレスを入力:

DNS アドレスを自動取得するには、“DNS アドレスを自動取得”ラジオボタンにチェックします。NVR にホスト名を割り当てる場合、少なくとも 1 つの(プライマリ) DNS アドレスを入力する必要があります。

1. ISP によって提供された“プライマリ DNS アドレス”の IP アドレスを入力します。
2. ISP によって提供された“セカンダリ DNS アドレス”の IP アドレスを入力します。

“次へ”をクリックして、設定を続けます。

ステップ 3 - LAN設定

ステップ3 - LAN設定				
IPアドレス	192	168	10	1
サブネットマスク	255	255	255	0
ゲートウェイ	192	168	10	254
DHCP 設定				
NVR は DHCP サーバとして機能します	<input checked="" type="checkbox"/> 有効			
*クライアント IPカメラに動的 IPアドレスを割り当てることでDHCPを有効にできます。				
IP プール開始アドレス	20			
IP プール終了アドレス	250			
有効期間	2時間			
ローカルドメイン名	NVR-4000			(オプション)
<input type="button" value="スキップ"/> <input type="button" value="戻る"/> <input type="button" value="完了"/>				
<small>*DHCP(Dynamic Host Configuration Protocol)は、企業ネットワークにおいてネットワーク管理者によるInternet Protocol (IP)アドレスの集中管理および自動割り当てを可能にする技術です。 *スキップボタンをクリックすると、ウィザードをスキップしますが、設定は保存されません。</small>				

NVR を DHCP サーバとして動作させる:

1. NVR を DHCP サーバとして動作させ、接続された IP カメラに動的 IP アドレスを割り当てるには、“有効”をクリックします。
2. IP プールの開始アドレスおよび終了アドレスを入力し、IP カメラに割り当てる IP アドレスの範囲を設定します。
3. “有効期間”を入力します。
4. LAN 上のローカルドメイン名によって NVR にアクセスするには、NVR の“ローカルドメイン名”を入力します。

設定を完成させるには、“完了”をクリックします。システム再起動には 60 秒程度かかります。画面の表示に従って必要な全ての新しいソフトウェアをインストールします。

状態

NVR 状態

システム	
デバイス名	NVR
バージョン	2.0.1.2 (2010/03/11 19:04:15)
IPCAMドライバ	Network Camera 2.0.0.8
ネットワーク	
接続タイプ	DHCP
IPアドレス	10.1.100.13
サブネットマスク	255.255.0.0
デフォルトルーター	10.1.100.1
プライマリ DNS	10.1.1.30
セカンダリ DNS	10.1.1.11
サービス	
NTP	無効
DDNS	無効
SMTP	有効
UPnP	有効
DHCPサーバー	有効
ハードディスク	
サイズ	320 GB
使用%	87%

現在のNVR状態の表示

“詳細設定”ページに移動し、メニューの“状態” → “NVR”を選ぶと、現在の NVR の状態が右側に表示されます。

他のメニュー項目からこの部分に表示される設定の一部を変更できます。

IPCam (ネットワークカメラ)

チャンネル 1	
名称	Office
デバイス名	ipcam
IP アドレス:ポート	192.168.10.214:80
録画: オン 接続: オン アラーム: オン	
チャンネル 2	
名称	
デバイス名	
IP アドレス:ポート	
チャンネル 3	
名称	
デバイス名	
IP アドレス:ポート	
チャンネル 4	
名称	
デバイス名	
IP アドレス:ポート	

現在のIPカメラ状態の表示

“詳細設定”ページに移動し、メニューの“状態” → “IPCam (ネットワークカメラ)”を選ぶと、NVR に接続された IP カメラの現在の状態が表示されます。NVR は最大 4 台の IP カメラに接続した最大 4 チャンネルに対応します。リストには個々のチャンネルに接続された IP カメラの情報が表示されます。

ネットワーク

WAN

WAN メニューでは、ネットワーク接続状態および必要に応じて NVR の WAN 設定を構成できます。必要なオプションはドロップダウンリストから選択できます。

TCP/IP

TCP/IP			
<input checked="" type="radio"/> DHCP経由でIPを取得			
<input type="radio"/> 以下のIPを使用			
IPアドレス	10	1	100 13
サブネットマスク	255	255	0 0
デフォルトルーター	10	1	100 1
HTTPポート			
ポート番号	80		
DNS			
<input checked="" type="radio"/> DNSアドレスを自動取得			
<input type="radio"/> 以下のDNSアドレスを使用			
プライマリ DNS アドレス			
セカンダリ DNS アドレス			
確認			
<small>*TCP/IP (Transmission Control Protocol) は、Internet Protocol (IP) と併用する一連のルール(プロトコル)で、インターネットを介してコンピュータ間でのメッセージ単位としてデータを送信するのに使用します。IP はデータの実際の送信を処理する一方、TCP はインターネット経由での効果的なルーティング用のメッセージ分割の個々の単位(パケットと呼ばれる)の行き先を処理します。 *DNS(Domain Name System) は、各種インターネットドメイン名およびそれをIPアドレスに変換する部分のサービスです。DNSサービスは、指定されたウェブサイトへの反応および正確度を向上させます。</small>			

IP 割当て方法の選択:

1. “詳細設定”ページに移動し、メニューの“ネットワーク” → “WAN” → “TCP/IP”とクリックします。
2. DHCP または固定 IP のいずれかを選択します。
 - NVR に動的 IP を採用するなら、“DHCP 経由で IP を取得”ラジオボタンにチェックします。これで NVR には企業のネットワークにおける未使用の IP アドレスが割り当てられます。
 - NVR に固定 IP を使用するなら、“以下の IP を使用”というラジオボタンをチェックし、IP アドレス、サブネットマスク、およびデフォルトルーターに関する欄に記入します。
3. 必要であるなら、HTTP ポートを入力します。デフォルトポートは 80 です。

必要であれば DNS アドレスを入力:

“DNS アドレスを自動取得” ラジオボタンにチェックすると、DNS アドレスは自動取得されます。NVR にホスト名を割り当てる場合、少なくとも 1 つの(プライマリ) DNS アドレスを入力する必要があります。

1. ISP によって提供された“プライマリ DNS アドレス”の IP アドレスを入力します。
2. ISP によって提供された“セカンダリ DNS アドレス”の IP アドレスを入力します。

DDNS

DDNS	
NVRIはDDNSサービスを提供	<input type="checkbox"/> 有効
DDNS サーバ	members.dyndns.org
ユーザー名	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>
ホスト名	<input type="text"/>
状態	
<input type="button" value="確認"/>	

DDNS の設定方法:

1. “詳細設定”ページに移動し、メニューの“ネットワーク” → “WAN” → “DDNS”とクリックします。
2. NVR を DDNS サーバとして使用する場合は、“有効”をチェックします。
3. “DDNS サーバ”のアドレス、“ユーザー名”、“パスワード”、“ホスト名”を入力します。
4. “確認”をクリックして設定を保存します。

SMTP

SMTP				
優先度		名称	送信者アドレス	メールサーバ
1	<input checked="" type="radio"/>	Mary Lo	marylo@123.com	smtp.123.com
2	<input type="radio"/>			
3	<input type="radio"/>			
4	<input type="radio"/>			
<input type="button" value="追加"/> <input type="button" value="編集"/> <input type="button" value="削除"/>			<input type="button" value="上へ移動"/> <input type="button" value="下へ移動"/>	
<small>*SMTP (Simple Mail Transfer Protocol) は、Eメールの送受信に使用されるTCP/IP プロトコルです。ただし、これは受信側のメッセージキュー機能に依存するので、通常POP3 または IMAP プロトコルの一方を併用することで、ユーザーはサーバのメールボックスにメッセージを保存したり、サーバから定期的にダウンロードしたりできます。言い換えると、ユーザーは一般にEメール送信には SMTP、Eメール受信には POP3 または IMAP を利用したプログラムを使用します。</small>				

“詳細設定”ページに移動し、メニューの“ネットワーク” → “WAN” → “SMTP”とクリックします。このメニューでは最大 4 つのEメールアドレスが設定可能です。NVRはイベントによってトリガーされると、指定されたEメールアドレスに警告メッセージを自動送信します。(自動Eメール警告についての詳細は[イベント設定](#)をご参照ください。)

E メールアドレスの追加:

1. “詳細設定”ページに移動し、メニューの“ネットワーク” → “WAN” → “SMTP”とクリックします。
2. “追加”ボタンをクリックし、ページ内の SMTP 情報を入力します。

SMTP	
名称	Mary Lo
送信者アドレス	marylo@123.com
メールサーバ	smtp.123.com
ユーザー名	marylo
パスワード	*****
パスワード再入力	*****
<input type="button" value="確認"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

3. E メールアカウントの“名称”、“送信者アドレス”、“メールサーバ”、“ユーザー名”、“パスワード”を入力します。“パスワード再入力”でパスワードを再度入力します。
4. “確認”をクリックすると、設定が保存されます。

E メールアドレスに対する優先度の設定:

1. “詳細設定”ページに移動し、メニューの“ネットワーク” → “WAN” → “SMTP”とクリックします。
2. 複数の E メールアドレスが追加されると、送信者アドレスの前にあるラジオボタンをクリックして、“上へ移動” “下へ移動”ボタンをクリックすることで E メールアドレスの優先度を変更できます。

FTP

FTP				
優先度		名称	サーバ	ディレクトリパス
1	<input checked="" type="radio"/>	FTP	ftp.xyz.org	NVR
2	<input type="radio"/>			
3	<input type="radio"/>			
4	<input type="radio"/>			
<input type="button" value="追加"/> <input type="button" value="編集"/> <input type="button" value="削除"/>			<input type="button" value="上へ移動"/> <input type="button" value="下へ移動"/>	

このページでは、複数のFTPサーバ設定が行えます。NVRはイベントがトリガーされると、記録した画像を設定されたFTPサーバに自動送信します。(FTPサーバSへの画像の自動アップロードの詳細は、[イベント設定](#)をご参照ください。)

FTP サーバの追加:

1. “詳細設定”ページに移動し、メニューの“ネットワーク” → “WAN” → “FTP”,とクリックします。
2. “追加”ボタンをクリックし、ページ内の FTP 情報を入力します。

FTPサーバ	
接続名	FTP
サーバ	ftp.xyz.org
ユーザー名	Mary Lo
パスワード	*****
パスワード再入力	*****
サーバディレクトリ	NVR
<input type="button" value="確認"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

3. 以下の情報を入力します。

- 接続名:ご使用のFTPサーバの名称(例:FTP)を入力します。
- サーバ:FTPサーバアドレス(例:ftp.xyz.orgまたは 10.1.100.62)を入力します。
- ユーザー名:使用するユーザー名(例:Mary Lo)を入力します。
- パスワード:パスワード(例:157639)を入力します。
- パスワード再入力:パスワードを再度入力します。
- サーバディレクトリ:FTPサーバファイルを保存するディレクトリ(例:NVR)を入力します。

4. “確認”をクリックすると、設定が保存されます。

FTPサーバに対する優先度の設定:

1. “詳細設定”ページに移動し、メニューの“ネットワーク” → “WAN” → “FTP”とクリックします。
2. 複数のFTPサーバが追加されると、FTPサーバ名の前にあるラジオボタンをクリックして、“上へ移動” “下へ移動”ボタンをクリックすることでFTPサーバの優先度を変更できます。

ポートフォワーディング

PORT FORWARDING	
ネットワーク	
IP アドレス	10 . 1 . 0 . 95
サブネットマスク	255 . 255 . 0 . 0
デフォルトルーター	10 . 1 . 100 . 1
ポート番号	80
プライマリ DNS アドレス	10 . 1 . 1 . 30
セカンダリ DNS アドレス	10 . 1 . 1 . 11
<input type="checkbox"/> ポートフォワーディング設定	
ポート	80
<input type="button" value="確認"/>	

このページでは、ネットワーク データは自動的に表示され、ポートフォワーディング設定を行うことができます。必要な場合は“ポートフォワーディング設定”のチェックボックスにチェックをして ポート 番号を変更します。“確認”をクリックすると、設定が保存されます。この機能は、関連したネットワーク装置が接続されている場合のみ利用可能です。

LAN

LAN設定	
IPアドレス	192 168 10 1
サブネットマスク	255 255 255 0
ゲートウェイ	192 168 10 254
DHCP 設定	
NVR は DHCP サーバとして機能します	<input checked="" type="checkbox"/> 有効
*クライアントIPカメラに動的IPアドレスを割り当てることでDHCPを有効にできます。	
IP プール開始アドレス	192.168.10. 20
IP プール終了アドレス	192.168.10. 250
有効期間	2時間
ローカルドメイン名	NVR-4000 (オプション)
<input type="button" value="確認"/>	

*DHCP(Dynamic Host Configuration Protocol)は、企業ネットワークにおいてネットワーク管理者によるInternet Protocol (IP)アドレスの集中管理および自動割り当てを可能にする標準です。

NVR を DHCP サーバとして動作させる:

1. “詳細設定”ページに移動し、メニューの“ネットワーク” → “LAN”とクリックします。
2. NVR を DHCP サーバとして動作させ、接続された IP カメラに動的 IP アドレスを割り当てるには、“有効”をクリックします。
3. IP プールの開始アドレスおよび終了アドレスを入力し、IP カメラに割り当てる IP アドレスの範囲を設定します。
4. “有効期間”を入力します。
5. LAN 上のローカルドメイン名によって NVR にアクセスするには、NVR の“ローカルドメイン名”を入力します。

2. “新規”ボタンをクリックすると、“デバイス情報”ウィンドウが表示され、NVR は接続された IP カメラを自動検出してその“デバイス名”、“IP アドレス”、“ポート”と共に表示します。接続されたデバイス情報を更新するには、“更新” ボタンをクリックします。

デバイス情報			
UPnP 履歴 マニュアル			
	デバイス名	IP アドレス	ポート
1	ipcam	192.168.10.214	80

戻る 次へ キャンセル 更新

3. 検出されていない IP カメラを追加するには、“デバイス情報”ウィンドウで“マニュアル”ボタンをクリックすると、“デバイスの追加”ウィンドウが表示されます。



参考

IP カメラの追加方法は以下の 2 通りです。

- “UPnP” ボタンをクリックすると、接続された IP カメラが自動検出され、IP カメラの選択にはラジオボタンをクリックし、それから“次へ” ボタンをクリックして設定を続けます。
- “デバイス管理” リストにおいて“履歴” ボタンをクリックすると、これまで追加された IP カメラが表示され、IP カメラの選択にはラジオボタンをクリックし、それから“次へ” ボタンをクリックして設定を続けます。

デバイスの追加	
デバイス名	ipcam
名称	office
ユーザー名	admin
パスワード	*****
パスワード再入力	*****
IP アドレス	192 168 10 214
WEB ポート	80

戻る 次へ

4. ライブ表示スクリーンバナーの“ライブ表示”、“録画表示”、“モーション検知”ページで表示されるデバイスの“名称”を入力します。“デバイス情報”ページで表示される IP カメラの“デバイス名”、“IP アドレス”、“WEB ポート”を入力します。IP カメラのユーザー名およびパスワードを入力します。“パスワード再入力”でパスワードを再度入力します。
5. “次へ”をクリックすると、IP カメラ情報が追加され、“接続の状態”ウィンドウに今追加した IP カメラの状態が表示されます。

接続の状態	
名称	office
デバイス名	ipcam
IPアドレス	192.168.10.214:80
状態	正常
<input type="button" value="閉じる"/>	

IPカメラ情報の変更

チャンネル		名称	デバイス名 (アナログ - チャンネル)	IPアドレス : ポート	状態
1	<input checked="" type="radio"/>	office	ipcam(N)	192.168.10.214:80	接続
2	<input type="radio"/>				
3	<input type="radio"/>				
4	<input type="radio"/>				
<input type="button" value="新規"/> <input type="button" value="編集"/> <input type="button" value="削除"/> <input type="button" value="リセット"/> <input type="button" value="再起動"/>					

1. デバイス管理ウィンドウで、IP カメラの前にあるラジオボタンをクリックして IP カメラを選択します。
2. “編集”ボタンをクリックすると、IP カメラの名称が変更できます。
3. “削除”ボタンをクリックすると、IP カメラを削除できます。
4. “リセット”ボタンをクリックすると、IP カメラをリセットして工場デフォルト設定に復帰できます。
5. “再起動”ボタンをクリックすると、IP カメラを再起動できます。

ビデオ設定

office ▼	
画像詳細設定	
ビデオ形式	JPEG ▼
解像度	4CIF ▼
画質	高 ▼
画像の回転	0 ▼ 角度
カラーレベル	50 [0..100]
輝度	50 [0..100]
シャープネス	50 [0..100]
表示設定	
カメラの選択	自動 ▼ 10 ▼ ルーメン
可聴周波設定	
<input checked="" type="checkbox"/> 可聴周波開始	
源	ライン ▼
<input type="checkbox"/> マイクロフォン 開いた, 開いた電池は, ボタンを消す	
オーバーレイ設定	
<input checked="" type="checkbox"/> 日付 / 時刻を含める	
<input type="checkbox"/> 以下の文字を含める	<input type="text"/>
以下に文字/日付/時刻を添付	トップ ▼ 画像の
フレームレート	<input type="radio"/> 無制限 <input checked="" type="radio"/> 制限値 10 fps [1~30]
確認 下検分	

ビデオ表示の設定:

1. “詳細設定”ページに移動し、メニューの“IPCam(ネットワークカメラ)” → “ビデオ設定”とクリックします。
2. ドロップダウンリストからビデオ設定を変更したいカメラを選びます。
3. “画像詳細設定”セクションでは、カメラによるビデオ画像のビデオ形式、解像度、画質、画像の回転、カラーレベル、輝度、シャープネスを設定できます。
4. “表示設定”セクションでは、接続された IP カメラのレンズ操作モードが設定できます。



注意

“表示設定”機能は、接続された IP カメラに対応するレンズ機能が装備されている場合にのみ有効となります。

- ドロップダウンリストから“右”を選ぶと、接続された IP カメラの右側レンズで記録された画像が表示されます。
- ドロップダウンリストから“左”を選ぶと、接続された IP カメラの左側レンズで記録された画像が表示されます。
- “両方”を選ぶと、接続された IP カメラの両側のレンズで記録されたビデオが並べて表示されます。

- “RiL”を選ぶと、接続された IP カメラの右側レンズで記録されたビデオがフルモニタスクリーンに表示され、左側レンズで記録されたビデオは子画面に表示されます。
 - “LiR”を選ぶと、接続された IP カメラの左側レンズで記録されたビデオがフルモニタスクリーンに表示され、右側レンズで記録されたビデオは子画面に表示されます。
 - “自動”を選ぶと、接続された IP カメラは、指定された“ルーメン”レベル以上の光源のある環境で自動的にオンになります。“ルーメン”レベルは“ルーメン”ドロップダウンリストから指定します。
5. “可聴周波設定”セクションでは、オーディオ設定が調節できます。



注意

“可聴周波設定”機能は、接続された IP カメラに対応する機能が装備されている場合にのみ有効となります。

6. “オーバーレイ設定”セクションでは、ビデオ画像に日時、文字タイトルなどの文字情報を追加できます。画像を上と下のいずれに追加するかは、ドロップダウンリストからトップか底部かを選択できます。文字情報はライブ表示、スナップショット、録画ビデオに表示されます。
7. カメラのフレームレートを入力します。フレームレートは 1~30 fps の範囲です。
8. “確認”をクリックすると、設定が保存されます。
9. “下検分”をクリックすると、設定されたビデオ設定を確認できます。

記録容量の推計:

実際の記録容量は、ハードディスクの容量、画質および録画フレームレートに依存します。例として NVR ハードディスクが 320GB で、1 チャンネルを 1 日 24 時間記録するものとします。画質を通常(画像サイズは約 48 KB)、録画フレームレートを 10 fps に設定した場合、おおよそ 7.72 日の記録が可能です。

ディスクデータ記録表(概算)

フレームレート	画質 (画像品質)	ハードディスク容量(日数)						
		250GB	320GB	500GB	750GB	1000GB	1250GB	1500GB
10 fps (frames per second)	高 (96KB)	3.02	3.86	6.03	9.04	12.06	15.07	18.08
	通常 (48KB)	6.03	7.72	12.06	18.08	24.11	30.14	36.17
	低 (24KB)	12.06	15.44	24.12	36.16	48.22	60.28	72.34

メモ:

- 記録条件: 1 チャンネル、記録時間: 24 時間/日。
- 上記の数字は概算であり、実際の設定状況によって数値は異なります。

詳細

office

詳細設定

Skype Outを有効化

アカウント:

確認

詳細設定の設定:

1. “詳細設定”ページに移動し、メニューの“IPCam(ネットワークカメラ)” → “詳細”をクリックします。
2. ドロップダウンリストから詳細設定を変更したいカメラを選びます。
3. “Skype Out を有効化”のチェックボックスにチェックをしてから、アカウントを入力します。この機能は、関連した装置が接続されている場合のみ利用可能です。
4. “確認”をクリックすると、設定が保存されます。

ハードディスク

サイズ	320 GB
状態	正常

フォーマット

“詳細設定”ページに移動し、メニューの“ハードディスク”を選ぶと、ハードディスクの容量および状態を確認できます。

ハードディスクをフォーマットするには、“フォーマット”ボタンをクリックします。ただし、ハードディスク上のデータ全ては消去される点にご注意ください。

システム

ユーザー

ユーザーID	ユーザー名	パスワード	パスワード再入力
管理者	<input type="text" value="admin"/>	<input type="password" value="*****"/>	<input type="password" value="*****"/>
1 ユーザー ▼	<input type="text" value="user"/>	<input type="password" value="****"/>	<input type="password" value="****"/>
2 オペレータ ▼	<input type="text" value="operator"/>	<input type="password" value="*****"/>	<input type="password" value="*****"/>
3 上級ユーザ ▼	<input type="text" value="topuser"/>	<input type="password" value="*****"/>	<input type="password" value="*****"/>
4 オペレータ ▼	<input type="text"/>	<input type="password"/>	<input type="password"/>
5 オペレータ ▼	<input type="text"/>	<input type="password"/>	<input type="password"/>
6 オペレータ ▼	<input type="text"/>	<input type="password"/>	<input type="password"/>
7 オペレータ ▼	<input type="text"/>	<input type="password"/>	<input type="password"/>
8 オペレータ ▼	<input type="text"/>	<input type="password"/>	<input type="password"/>
9 オペレータ ▼	<input type="text"/>	<input type="password"/>	<input type="password"/>

“詳細設定”ページに移動し、メニューの“システム” → “ユーザー”と選ぶと、ユーザーページが表示されます。管理者アカウントはユーザー名“admin”、デフォルトパスワード“admin”で用意されています。権限のないユーザーの使用を防止するため、管理者パスワードは変更してください。

管理者は一般ユーザーをまたはオペレータを数人ユーザー、上級ユーザ追加できます。

一般ユーザーは、“ライブ表示”ページでライブビデオの表示や、オペレータ、上級ユーザは、“ライブ表示”、“録画表示”、“モーション検知”ページでカメラからのビデオ画像を見たり、“詳細設定”ページで設定を見たりする権限がありますが、設定の変更はできません。上級ユーザはカメラビューアーを制御する権限があります。管理者は、“ライブ表示”、“録画表示”、“モーション検知”ページおよび“詳細設定”ページでの全ての NVR の機能にアクセスする権限を持っています。

下表は各種ユーザーアカウントの権限が示されています。

ユーザー権限	ユーザー	オペレータ	上級ユーザ	管理者
“ライブ表示”ページの表示	○	○	○	○
“言語”の選択	○	○	○	○
カメラビューアーの制御	X	X	○	○
“録画表示”ページの表示	X	○	○	○
“モーション検知”ページの表示	X	○	○	○
“モーション検知”ページの変更	X	X	X	○
“詳細設定”ページの表示	X	○	○	○
“詳細設定”ページの変更	X	X	X	○

メンテナンス

現在のバージョン : 2.0.2.2 (2010/06/11 16:01:45)	
ファームウェアの更新	
更新するファームウェアの指定: <input type="text"/> <input type="button" value="参照..."/>	<input type="button" value="更新"/>
注意: 更新中は本体の電源を切らないでください・更新完了後、本体は再起動します・	
バックアップ設定	
ファイルバックアップ用に全てのパラメータとユーザー定義スクリプトを保存します。	<input type="button" value="バックアップ"/>
設定の復元	
保存されたバックアップファイルを使って以前の設定を復元します: <input type="text"/> <input type="button" value="参照..."/>	<input type="button" value="復元"/>
デフォルトに戻す	
全てのパラメータを元の工場設定値に戻します <input checked="" type="checkbox"/> ネットワーク設定を除外する (このチェックボックスを有効にすると、設定済みのネットワーク設定は変更されません。)	<input type="button" value="デフォルト"/>
システムの再起動	
NVRを再起動します	<input type="button" value="再起動"/>

“詳細設定”ページに移動し、メニューの“システム” → “メンテナンス”を選ぶと、メンテナンスページが表示されます。メンテナンスページでは、NVR システムのファームウェアの更新、設定のバックアップおよび復元、リセット、再起動、シャットダウンが可能です。

ファームウェアの更新

NVR ファームウェアの更新:

1. “参照”ボタンをクリックして、ダウンロードされた最新のファームウェアを見つけます。
2. “更新”ボタンをクリックすると、NVR にファームウェアがロードされ、更新作業が自動的に開始されます。
3. 更新処理が終わると、NVR システムは自動的に再起動します。

バックアップ設定

現在の設定のバックアップ:

“バックアップ”ボタンをクリックすると、NVR システムに対して行った設定全てがバックアップされます。バックアップファイルを保存するかどうかを確認するポップアップウィンドウが表示されます。バックアップファイルの保存先フォルダは指定できます。

設定の復元

以前の設定の復元:

保存されたバックアップファイルをロードすることで、NVRを以前の状態に復元できます。(システムのバックアップ設定の詳細は、[バックアップ設定](#)セクションをご参照ください。)

1. “参照”ボタンをクリックして、保存したバックアップファイルを見つけます。
2. “復元”ボタンをクリックすると、復元処理が自動的に開始されます。
3. 復元処理が完了すると、システムは自動的に再起動します。

デフォルトに戻す

“デフォルト”ボタンをクリックすると、NVRをデフォルトの工場設定に戻します。“ネットワーク設定を除外する”オプションにチェックされている場合、NVRをリセットしてもLAN およびTCP/IPの両方のページはデフォルト設定に変更されません。

システムの再起動

“再起動”ボタンをクリックすると、NVR が再起動します。

ログ

時間	情報
2010/03/25 13:11:57	admin : Login
2010/03/25 12:49:37	admin : Logout
2010/03/25 12:43:57	admin : Login
2010/03/25 12:43:52	admin : Logout
2010/03/25 12:43:00	admin : Login
2010/03/25 12:42:35	admin : Logout
2010/03/25 12:42:35	admin : Login
2010/03/25 12:42:35	admin : Logout
2010/03/25 12:41:26	admin : Login
2010/03/25 12:41:23	admin : Logout
2010/03/25 12:41:23	admin : Login
2010/03/25 12:41:23	admin : Logout
2010/03/25 12:35:52	admin : Login
2010/03/25 12:24:34	admin : Logout
2010/03/25 12:05:49	admin : Login
2010/03/25 12:05:44	admin : Logout

全て削除 ページ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 >

“詳細設定”ページへ移動し、メニューの“システム” → “ログ”を選ぶと、ログページが表示されます。ログページには NVR システムの設定や変更の記録が保存されています。

システム設定

デバイス名	NVR
UPnP	
NVRはUPnPサービスとして機能します	<input checked="" type="checkbox"/> 有効
タイムゾーンの設定	
タイムゾーン	(GMT+09:00) 大阪、札幌、東京
<input type="checkbox"/> 夏時間の自動調整をします。	
確認	

“詳細設定”ページに移動し、メニューの“システム” → “システム設定”を選ぶと、システム設定ページが表示されます。ご使用の NVR の“デバイス名”を設定できます。

UPnP の有効化:

NVR を UPnP サーバとして動作させる場合は、“有効”をクリックします。これで“マイネットワーク”から NVR へのアクセスが可能となります。

NVR のタイムゾーンの設定:

1. ドロップダウンリストからタイムゾーンを選択します。
2. 必要に応じて“夏時間の自動調整をします”オプションをチェックし。

“確認”をクリックすると、設定が保存されます。

日付および時刻

システム時刻	2010/03/25 12:32:0		
タイムゾーン	(GMT+09:00) 大阪・札幌・東京		
時刻の同期方法			
<input checked="" type="radio"/> NTP 時間			
	<input checked="" type="radio"/> NTP サーバ	time.stdtime.gov.tw	
	<input type="radio"/> NTP サーバ	<input type="text"/> (ホスト名または IP アドレス)	
<input type="radio"/> コンピュータ時刻	日付: 2010 / 3 / 24	時刻: 11:35:39	
<input type="radio"/> マニュアル設定	日付: <input type="text"/> / <input type="text"/> / <input type="text"/>	時刻: <input type="text"/> : <input type="text"/> : <input type="text"/>	
<input type="button" value="確認"/>			

“詳細設定”ページに移動し、メニューの“システム” → “日付および時刻”を選ぶと、日付および時刻のページが表示されます。ここで NVR の日付と時刻が設定できます。時刻設定すると、接続されたネットワークカメラが NVR 時刻と自動的に同期され、4 チャンネルインタフェースおよび録画ビデオに表示されます。

NVR の日付および時刻の設定:

1. NVR の日付および時刻は、以下の 3 つの方法で設定可能です。
 - a. NVR の日付および時刻を NTP(ネットワーク時刻プロトコル)時間と同期させます。使用する NTP サーバを選択してください。
 - b. NVR をコンピュータ時刻と同期させます。
 - c. 日付および時刻を空欄に入力して手動設定します。
2. “確認”ボタンをクリックすると、設定が保存されます。

データベース

管理

チャンネル1	2010	年	1	月	1	日から	2010	年	3	月	24	日	〇	アラーム	通常	検索
Office	2010-1-21	:	00:00	~	2010-1-21	:	03:00									
Office	2010-1-21	:	03:00	~	2010-1-21	:	1:00									
Office	2010-1-21	:	1:00	~	2010-1-21	:	1:30:00									
Office	2010-1-21	:	1:30:00	~	2010-1-21	:	2:00									
Office	2010-1-21	:	2:00	~	2010-1-21	:	2:30:00									
Office	2010-1-21	:	2:30:00	~	2010-1-21	:	3:00									
Office	2010-1-21	:	3:00	~	2010-1-21	:	3:30:00									
Office	2010-1-21	:	3:30:00	~	2010-1-21	:	4:00									
Office	2010-1-21	:	4:00	~	2010-1-21	:	4:30:00									
Office	2010-1-21	:	4:30:00	~	2010-1-21	:	5:00									
Office	2010-1-21	:	5:00	~	2010-1-21	:	5:30:00									
Office	2010-1-21	:	5:30:00	~	2010-1-21	:	6:00									
Office	2010-1-21	:	6:00	~	2010-1-21	:	6:30:00									
Office	2010-1-21	:	6:30:00	~	2010-1-21	:	7:00									
Office	2010-1-21	:	7:00	~	2010-1-21	:	7:30:00									
Office	2010-1-21	:	7:30:00	~	2010-1-21	:	8:00									

全部削除 ページ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 >

“詳細設定”ページに移動し、メニューの“データベース” → “管理”を選ぶと、管理ページが表示されます。

管理記録の表示:

リストには一定時間の特定チャンネルに行われた管理ログが表示されます。

1. ドロップダウンリストからチャンネルを選びます。
2. ドロップダウンリストから“年/月/日から年/月/日”の形式で期間を設定します。
3. “アラーム”または“通常”ラジオボタンにチェックを入れて必要な記録を表示します。“検索”ボタンをクリックすると、下図のように指定期間内に行われた管理のログが表示されます。

データ管理

指定された時間帯によってデータを保存します。

データの保存時間 日 (10から90)

利用可能なディスク容量によってデータを取得します。

最大利用可能ハードディスクドライブ容量 GB (5から50)

*あなたの記録された監視データを保ちまてないことハードドライブスペースの換日または量の数を入れなさい。
*注 この機能はでき事の起動後の録音のための力に利用できる。自動録音はハードディスクが完全なら、それ自身を重複する。

“詳細設定”ページに移動し、メニューの“データベース” → “データ管理”とクリックします。イベントがトリガーされた後のアラーム画像を保存する方法を指定できます。監視データ記録を保持する日数或いはハードディスク容量を入力します。

メモ: この機能はイベントトリガー レコーディングでのみ利用可能です。自動レコーディングはハードディスクが満杯になると、自身を書き換えます。

データ管理の設定方法:

1. “指定された時間帯によってデータを保存します”をクリックすると、アラーム画像を10-90日間保存できます。
2. “利用可能なディスク容量によってデータを取得します”, をクリックし、最大使用ディスク容量を5~50 GBの範囲で指定します。アラーム画像の増加に伴い、使用可能なディスク容量が設定値に近づくと、既存の画像が消去されていきます。
3. “確認”をクリックすると、設定が保存されます。

スケジュール設定

記録スケジュール

office		時間表 (00:00 - 24:00)
スケジュール	アクティブ	
No 1	<input checked="" type="checkbox"/>	開始時刻: 08 h 30 m - 終了時刻: 17 h 30 m <input checked="" type="checkbox"/> 月 <input checked="" type="checkbox"/> 火 <input checked="" type="checkbox"/> 水 <input checked="" type="checkbox"/> 木 <input checked="" type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 日
No 2	<input type="checkbox"/>	開始時刻: 0 h 0 m - 終了時刻: 24 h 0 m <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 日
No 3	<input type="checkbox"/>	開始時刻: 0 h 0 m - 終了時刻: 24 h 0 m <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 日
No 4	<input type="checkbox"/>	開始時刻: 0 h 0 m - 終了時刻: 24 h 0 m <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 日
No 5	<input type="checkbox"/>	開始時刻: 0 h 0 m - 終了時刻: 24 h 0 m <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 日
No 6	<input type="checkbox"/>	開始時刻: 0 h 0 m - 終了時刻: 24 h 0 m <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 日

“詳細設定”ページに移動し、メニューの“スケジュール設定” → “記録スケジュール”を選ぶと、録画スケジュール設定ページが表示されます。

各カメラに対する録画スケジュールのプリセット:

1. ドロップダウンリストからカメラを選択します。
2. NVR の一日の録画の“開始時刻”および“終了時刻”を選択します。曜日を選択します。例えば毎日午後6時から12時までの録画を設定します。
3. プリセット記録スケジュール設定を選択して“アクティブ”をクリックすると、記録スケジュールが有効になります。
4. “No 1”から“No 6”まで最大6組が設定可能です。
5. “確認”ボタンをクリックすると、カメラへの設定が保存されます。



セキュリティの観点であれば、記録は1日24時間、1週7日間に設定できます。

イベントスケジュール

office ▼			
スケジュール	アクティブ	時間表 (00:00 - 24:00)	
No 1	<input checked="" type="checkbox"/>	開始時刻: 08 h 30 m - 終了時刻: 17 h 30 m <input checked="" type="checkbox"/> 月 <input checked="" type="checkbox"/> 火 <input checked="" type="checkbox"/> 水 <input checked="" type="checkbox"/> 木 <input checked="" type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 日	
No 2	<input type="checkbox"/>	開始時刻: 0 h 0 m - 終了時刻: 24 h 0 m <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 日	
No 3	<input type="checkbox"/>	開始時刻: 0 h 0 m - 終了時刻: 24 h 0 m <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 日	
No 4	<input type="checkbox"/>	開始時刻: 0 h 0 m - 終了時刻: 24 h 0 m <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 日	
No 5	<input type="checkbox"/>	開始時刻: 0 h 0 m - 終了時刻: 24 h 0 m <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 日	
No 6	<input type="checkbox"/>	開始時刻: 0 h 0 m - 終了時刻: 24 h 0 m <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 日	

“詳細設定”ページに移動し、メニューの“スケジュール設定” → “イベントスケジュール”を選択すると、イベントスケジュール設定ページが表示されます。

各カメラに対するイベントスケジュールのプリセット:

1. ドロップダウンリストからカメラを選択します。
2. NVR の一日のイベントの“開始時刻”および“終了時刻”を選択します。曜日を選択します。例えば毎日午後 6 時から 12 時までのイベントを設定します。
3. プリセット記録スケジュール設定を選択して“アクティブ”をクリックすると、記録スケジュールが有効になります。
4. “No 1”から“No 6”まで最大 6 組が設定可能です。
5. “確認”ボタンをクリックすると、カメラへの設定が保存されます。



セキュリティの観点であれば、記録は 1 日 24 時間、1 週 7 日間に設定できます。

セキュリティ

イベント設定

イベント設定メニューでは、IP カメラが反応するイベントおよび IP カメラがトリガー(起動)する出力反応を設定できます。

イベントの追加

イベント設定の追加	
<input checked="" type="checkbox"/> 有効	
名称	<input type="text"/>
優先度	低 <input type="button" value="v"/>
イベント	
<input type="radio"/> モーション検知	
場所	<input type="button" value="v"/> モーション検知時 <input type="button" value="v"/> 開始 <input type="button" value="v"/>
<input checked="" type="radio"/> 入力ポート	
場所	<input type="button" value="v"/> 1 <input type="button" value="v"/> 入力時 <input type="button" value="v"/> 有効 <input type="button" value="v"/>
<input type="radio"/> 音検知感度	
音量しきい値	5 <input type="button" value="v"/>
<input type="radio"/> ショック検知感度	
感度	15 <input type="button" value="v"/>
トリガー時	
<input checked="" type="checkbox"/> 出力ポートの有効化	
	<input type="button" value="v"/> 1 <input type="button" value="v"/>
<input checked="" type="radio"/> イベント中継続して有効	
<input type="radio"/> 継続して有効	5 秒 <input type="button" value="v"/>
<input checked="" type="checkbox"/> Eメール通知の送信	
件名	<input type="text"/>
送信先	<input type="text"/> <input type="button" value="追加"/>
	<input type="text"/> <input type="button" value="削除"/>
<input checked="" type="checkbox"/> FTPサーバへ画像を送信	
ファイル接頭名	NVR-
アップロード先	3 秒
指定画像頻度:	
<input checked="" type="radio"/> 最大可能値	
<input type="radio"/> 毎秒1フレーム	
<input checked="" type="checkbox"/> 自動録画	
以下に制限	30 [10-99] 秒
<input type="button" value="保存"/>	<input type="button" value="キャンセル"/>

1. “詳細設定”ページに移動し、メニューの“セキュリティ” → “イベント設定”とクリックすると、イベント設定ウィンドウが表示されます。
2. “追加”ボタンをクリックすると、“イベント設定の追加”ページが表示されます。
3. “有効”をクリックすると、イベント設定が有効になります。
4. イベント設定に名前を付け、ドロップダウンリストからイベントの“優先度”を選択します。
5. モーション検知、入力ポート、音検知感度またはショック検知感度のラジオボタンをクリックして反応する“イベント”を選択します。



この機能は、接続された IP カメラに対応する機能が装備されている場合にのみ有効となります。

注意

いる場合にのみ有効となります。

- “モーション検知”イベントでは、カメラ用のモーション検知設定を行う必要があります。(詳細は[モーション検知](#)をご参照ください。)モーション検知ウィンドウをドロップダウンリストから選び、モーション検知イベントを“開始”、“停止”、“開始-停止”に設定します。
 - “入力ポート”イベントでは、カメラの入力ポートに外部センサや装置を接続する必要があります。入力イベントをドロップダウンリストから選び、“有効”、“無効”、“変更”に設定します。
 - “音検知感度”イベントでは、音量しきい値を調節する必要があります。この機能は、関連した装置が接続されている場合のみ利用可能です。
 - “ショック検知感度”イベントでは、感度を調節する必要があります。この機能は、関連した装置が接続されている場合のみ利用可能です。
6. 出力ポートの有効化オプションにチェックすることにより、出力ポートを有効にできます。イベントがトリガーされると、出力ポートが IP カメラから外部センサや装置への警告信号送信を有効にします。(外部入出力インタフェースの詳細はカメラのマニュアルをご参照ください。)

出力ポートを有効にする期間を選択します。ポートはイベント発生中ずっと有効にしたり、トリガー後一定時間だけ有効にしたりできます。

7. イベントがトリガーされてから通知 E メールを指定した E メールアドレスに送信したいときは、“E メール通知の送信”オプションにチェックします。
- a. Eメールの“件名”を入力します。
 - b. “送信先”の空欄に通知を送信したい送信先Eメールアドレスを入力し、“追加”ボタンをクリックすると、アドレスがメーリングリストに追加されます。送信者のEメールアドレスはSMTPメニューで自動メール通知を有効にすると自動設定されます。(詳細は[SMTP](#)セクションをご参照ください。)
8. イベントがトリガーされた時、記録した画像を設定されたFTPサーバ に送信するには、“FTPサーバへ画像を送信”オプションを選びます。この機能を有効にするには、FTPリスト内にFTPサーバをプリセットする必要があります。(詳細な情報は、[FTP](#)のセクションをご参照ください。)
- a. ファイル接頭名: 記録画像ファイルの先頭語(例: NVR-)を入力します。
 - b. アップロード秒数: デフォルト値は 3 秒です。例えば、この欄で 3 秒を指定すると、NVR は記録画像を指定された FTP サーバに 3 秒間アップロードします。
 - c. 指定画像頻度:
 - (i) 最大可能値: イベントがトリガーされた時、NVRがFTPサーバにアップロードする画像フレーム数は、“ビデオ設定”ページの“フレームレート”設定で指定します。(詳細な情報は、[ビデオ設定](#) をご参照ください。) NVRは最大 15 フレームの画像をアップロードできます。

例:

NVR が記録画像をアップロードする時間を 3 秒間に設定し、“ビデオ設定”ページの“フレームレート”を 15 fps に設定し、“最大可能値”オ

プッシュをクリックします。イベントがトリガーされると、NVR は 45 フレーム分の記録画像を、FTP サーバに 3 秒間アップロードします。

- (ii) 毎秒 1 フレーム: このオプションでは、NVR は指定された FTP サーバに指定された時間の間毎秒 1 フレームの画像をアップロードします。

例:

が記録画像をアップロードする時間を 3 秒間に設定し、“毎秒 1 フレーム”オプションをクリックします。イベントがトリガーされると、NVR は記録画像を毎秒 1 フレーム FTP サーバにアップロードします。3 秒後には合計 3 フレームの画像が FTP サーバにアップロードされます。

- 9. イベントが発生したとき録画を行うには“自動録画”にチェックします。録画時間は 10~99 秒の範囲で入力します。

イベントの編集または削除

イベント設定ウィンドウでは、既存のイベントを選択して“編集”ボタンをクリックしてイベントを編集したり、“削除”ボタンをクリックして削除したりできます。

イベントリスト			
office ▼			
	名称	イベント	トリガー時
1	Office	Input Port	*Auto Record*
2			
3			
4			

追加 編集 削除

アラーム通知

管理者へのEメール通知を有効にします。

デバイス切断時。

FTPサーバーの空き領域がない場合。

件名:

送信先: 追加

nvr@123.com

削除

確認

“詳細設定”ページに移動し、メニューの“セキュリティ” → “アラーム通知”を選ぶと、アラーム通知ページが表示されます。NVR と IP カメラ間での接続に障害が生じた時に、または 利用可能な FTP サーバが一杯になった時に通知する管理者を設定できます。

- 1. デバイスの接続に障害が生じたり、利用可能な FTP サーバが一杯になったりした時に E メール通知を管理者に送信したい場合は、オプションの前にあるチェックボックスにチェックを入れます。

2. Eメールの“件名”を入力します。
3. “送信先”の空欄に通知を送信したい送信先 E メールアドレスを入力し、“追加”ボタンをクリックすると、アドレスがメーリングリストに追加されます。追加された E メールアドレスを削除するには、E メールアドレスを選び、“削除”をクリックします。
4. “確認”ボタンをクリックすると、カメラへの設定が保存されます。

ログ

“詳細設定”ページに移動し、メニューの“セキュリティ” → “ログ”を選ぶと、アラームページが表示されます。イベント設定メニューで有効となる設定を行うと、アラームリストにトリガーの原因となったイベントの記録が保存されます。

時間	情報
2010/03/25 12:43:44	office:Untitled #0:testevent1
2010/03/25 12:43:38	office:Untitled #0:testevent1
2010/03/25 12:43:32	office:Untitled #0:testevent1
2010/03/25 12:43:26	office:Untitled #0:testevent1
2010/03/25 12:43:22	office:Untitled #0:testevent1
2010/03/25 12:43:15	office:Untitled #0:testevent1
2010/03/25 12:42:56	office:Untitled #0:testevent1
2010/03/25 12:42:55	office:Untitled #0:testevent1
2010/03/25 12:42:51	office:Untitled #0:testevent1
2010/03/25 12:30:18	office:Untitled #0:testevent1
2010/03/25 12:30:10	office:Untitled #0:testevent1
2010/03/25 12:22:40	office:Untitled #0:testevent1
2010/03/25 12:22:23	office:Untitled #0:testevent1
2010/03/25 12:18:47	office:Untitled #0:testevent1
2010/03/25 12:17:24	office:Untitled #0:testevent1
2010/03/25 12:16:02	office:Untitled #0:testevent1

ページ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 >|

第V章 テクニカルガイド

この章ではNVRの使用に際して役立つ多くの技術情報が扱われており、当ネットワーク製品に精通できます。ネットワークに関する詳細は、当ガイドの[付録A:用語解説](#)に記載の定義や説明をご参照ください。

LEDインジケータ⁷

NVR のフロントにある LED インジケータは、下記のように NVR の状態を表示します。

LED	状態	表示
電源	オン	NVR の電源はオンです。
	オフ	NVR の電源オフです。
STAT	オン	システムは利用可能です。
	オフ	システムは利用不可です。
HDD	オフ	NVR ハードディスクへのデータ書き込みは行われていません。
	点滅	NVR ハードディスクにデータ書き込み中です。
WAN	オフ	WAN ケーブルが正しく接続されていません。
	オン	WAN ケーブルは正しく接続されていますが、NVR がアクセスしていません。
	点滅	WAN ケーブルが正しく接続され、NVR がアクセスしています。
LAN	オフ	LAN ケーブルが正しく接続されていません。
	オン	LAN ケーブルは正しく接続されていますが、NVR がアクセスしていません。
	点滅	LAN ケーブルが正しく接続され、NVR がアクセスしています。

サーチツール

サーチツールは、企業ネットワークに接続された IP カメラおよび NVR を検出するアプリケーションです。

⁷ 当機能はお買い上げの NVR モデルによっては利用できない場合があります。

247 NVR

IP Get:STATIC
Version:1.0.4.2

ADSL / DSL 日本語

アカウント PPOEAccount

パスワード *****

更新 終了

Mac アドレス 00158e300220

名称 NVR

IP 10.1.4.83

Submask 255.255.0.0

Gateway 10.1.4.155

Http port 80

PPPOE
 DHCP
 STATIC

確認

状態 OK

サーチツールアプリケーションは、企業またはコミュニティのネットワークに接続された全ての NVR を検出します。NVR リストがウィンドウの白いペーンに表示されます。特定の NVR への権限を有するユーザーであれば、その NVR を選択してモニタの必要に応じた設定が行えます。

1. “名称”セクションで選択された NVR に名前を付けます。
2. “STATIC”にチェックした場合は、正しい IP アドレスを入力します。“DHCP”にチェックした場合は、ステップ 5 に進みます。



参考

NVRは、IPアドレス以外のPCでのIP設定と同じ構成に設定する必要があります。ご使用のPC用に正しいサブネットマスクおよびゲートウェイを取得するには、“[IP設定情報](#)”セクションをご参照ください。

3. サブマスクオプションでは、ご使用のネットワークのサブネットマスクを入力します。
4. ご使用のネットワークのゲートウェイを入力します。
5. Http ポートオプションでは、“80”と入力します。
6. “確認”ボタンをクリックすると、設定が適用されます。
7. “更新”ボタンをクリックすると、このウィンドウの白いペーンに表示されているリストが更新されます。

IP設定情報

下記に示された方法でご使用の PC に関する IP 設定情報が取得できます。

1. “スタート” > “プログラム(P)” > “アクセサリ” > “コマンド プロンプト”とクリックしてゆくと、コマンドプロンプトウィンドウが表示されます。
2. “C:\>”に続いて“ipconfig”と入力します。
3. IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイといった NVR の IP 設定をメモします。

```
コマンド プロンプト
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.


D:\Documents and Settings\User1>ipconfig

Windows IP Configuration

Ethernet adapter ローカル エリア接続:

    Connection-specific DNS Suffix . :
    IP Address. . . . . : 10.1.80.88
    Subnet Mask . . . . . : 255.255.0.0
    Default Gateway . . . . . : 10.1.38.38

D:\Documents and Settings\User1>
```

 **参考** NVR をコミュニティのネットワークに接続するとき、PC の IP 設定が NVR 用に IP アドレスを割り当ててるのに参考となります。

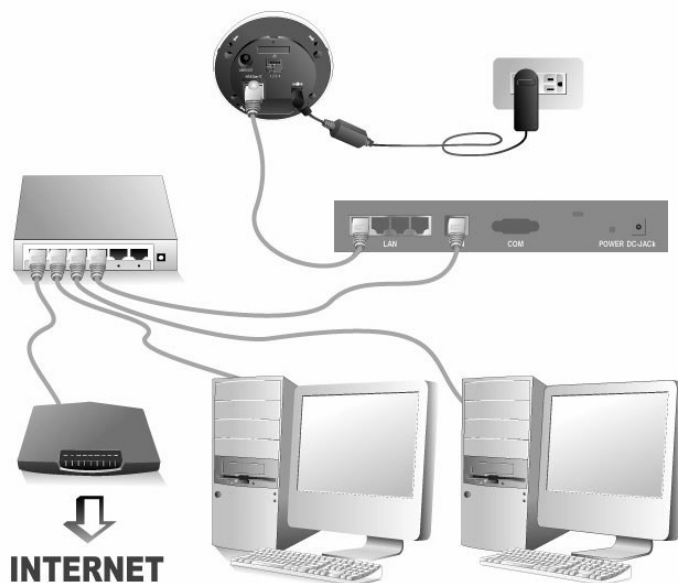
NVRを浮動IPアドレス経由で使用します

企業のネットワークによっては、動的 IP アドレスが提供される場合があります。これは、ネットワーク装置がネットワークに接続するたび、異なる IP アドレスが割り当てられるという意味です。

そのようなネットワーク上に NVR を導入する場合、接続の前に NVR の設定が必要となります。

以下に示される手順にしたがって操作します。

1. NVR をイーサネットスイッチングハブ経由でネットワークに接続します。



- インストール CD を CD-ROM ドライブに入れ、“Plustek ネットワーク装置検出ツール”をダブルクリックしてサーチツールアプリケーションを起動させます。開いたウィンドウに、ネットワークに接続された NVR が表示されます。

- “STATIC”オプションを選択した場合は、サーチツールウィンドウにサブネットマスクおよびゲートウェイを入力し、PC の IP アドレスの最後の数字を更新して新たな IP アドレスを NVR に割り当てます。Http ポートオプションでは、“80”と入力し、“実行”ボタンをクリックすると、変更が適用されます。



ご使用のPCのIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを取得するには、“[IP設定情報](#)”セクションをご参照ください。

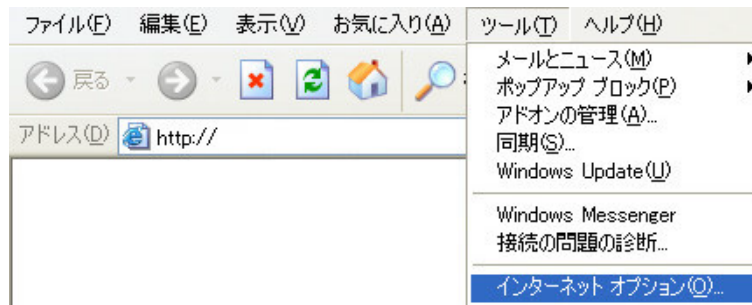
- サーチツールウィンドウ内の“更新”ボタンをクリックすると、左ペーンの情報が更新されます。NVR をダブルクリックしてログインします。
- 上記設定完了後は、IE のアドレスバーにホスト名を入力するだけでログインが可能になります。

プロキシサーバ

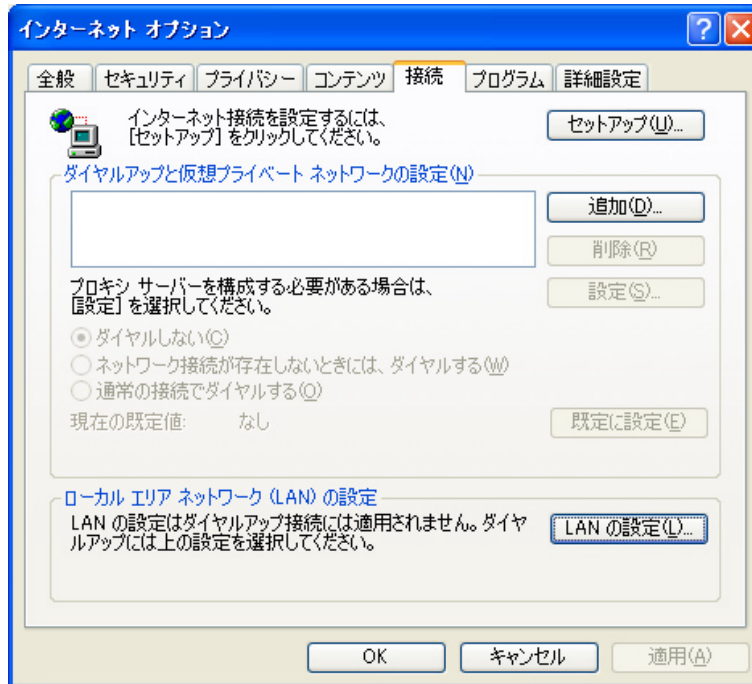
プロキシサーバは、一般に企業環境でのネットワーク上のセキュリティを保つインターネットに直接アクセスするのに使用されます。NVR がそのようなネットワークに接続されると、プロキシサーバは NVR へのアクセスをブロックする可能性があります。この場合はネットワーク管理者または ISP に企業環境でのプロキシサーバを使用しない方法についてご相談ください。

以下の手順でプロキシサーバの使用を回避できます。

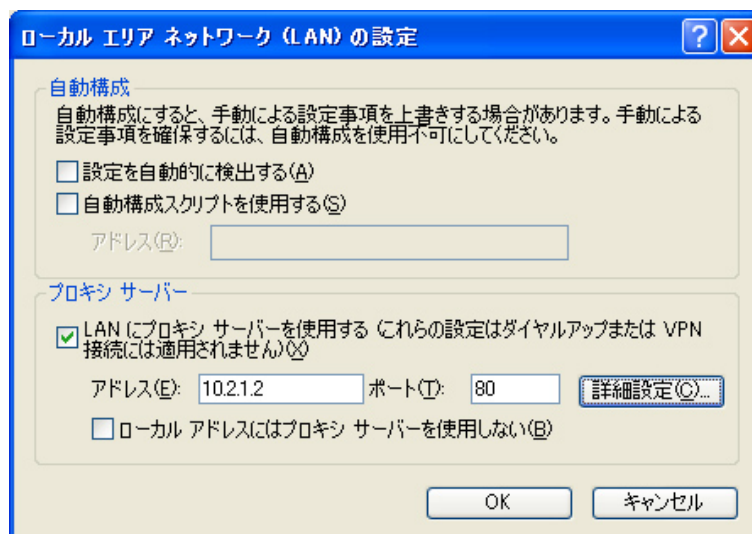
- Internet Explorer を起動させ、“ツール”をクリックし、ドロップダウンメニューから“インターネットオプション”を選びます。



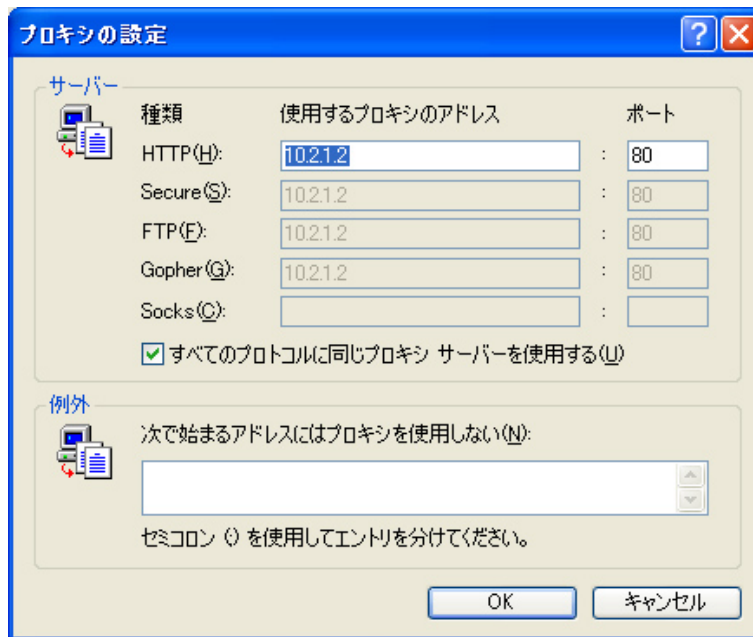
2. 接続タブ内の“LAN の設定”ボタンをクリックします。



3. “LAN にプロキシサーバを使用する”オプションのチェックを外し、ウィンドウの“OK”ボタンをクリックします。または LAN の設定ウィンドウの“詳細設定...”ボタンをクリックしてからステップ a およびステップ b に進みます。



- a. このページで、特定の IP アドレスを入力します。
- b. プロキシの設定ウィンドウの“OK”をクリックして設定を確定します。



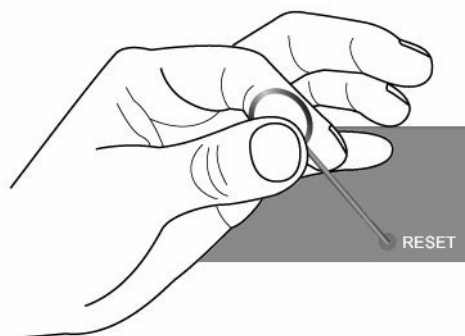
ご使用の IP アドレスについてはネットワーク管理者または ISP にお問い合わせください。

NVRのリセット⁸

NVR のリセット機能により、NVR を工場出荷デフォルト設定に戻せます。

NVR をリセットするには、NVR をネットワークに接続した状態で下記の手順に従います。

1. NVR の側面にあるリセットホールにリセットピンを挿します。
2. ピンでリセットボタンを 5 秒間押し続けます。



3. 全ての設定が工場出荷デフォルト設定に戻ります。



リセット後は、NVR に対して行った設定全てが消去されます。リセットの前に必ず設定の [バックアップ設定](#) を行ってください。

⁸ 当機能はお買い上げの NVR モデルによっては利用できない場合があります。

付録A:用語解説

下記の定義をご覧になると、ネットワーク環境をより理解でき、ネットワーク装置使用の際の問題に対処する助けとなるでしょう。この章での知識が NVR のセットアップおよび使用で妨げとなることはありません。

これら定義のより詳細な内容はネットワークまたはネットワーク装置関連の書籍をご参照ください。

ADSL

ADSL (非対称デジタル加入者線)は、家庭や企業への既存の電話回線を介して広帯域幅でデジタル情報を伝送する技術です。通常のダイヤルアップ電話サービスと異なり、ADSL では“オンラインのままの”接続が提供されます。

ActiveX コントロール

ActiveX はコンポーネントプログラムオブジェクトで、コンピュータ単体またはネットワーク上のコンピュータでのさまざまなアプリケーションプログラムにおいて再利用可能です。ActiveX コントロールの開発は、Microsoft の全般的な一連の ActiveX 技術の一部であり、コンポーネントオブジェクトモデル(COM)の中心です。ウェブサイトの閲覧に Internet Explorer を使用すると、ActiveX コントロールが画像の正常な表示を担当します。

DHCP

DHCP (ダイナミック ホスト コンフィギュレーション プロトコル)は、企業ネットワークにおいてインターネットプロトコル(IP)アドレスを自動的に割り当て、ネットワーク管理者が手中管理できるようにする通信プロトコルです。

DNS

DNS (ドメインネームシステム)は、種々のインターネットドメイン名を検索し、これをインターネットプロトコルアドレスに変換するサービスです。DNS サービスは特定のウェブサイトの反応速度および正確性を向上させます。

HTTP

HTTP (ハイパーテキスト転送プロトコル)は、ワールドワイドウェブ(WWW)で幅広く使用されている標準プロトコルで、WWW で転送されるファイル全て(テキスト、画像、サウンド、ビデオ、その他マルチメディアファイル)はこのプロトコルに従っています。ウェブのユーザーがウェブブラウザを起動させると、非直接に HTTP を利用しています。

FTP

ファイル転送プロトコル(FTP)は、標準的なインターネットのプロトコルで、インターネット上のコンピュータ間でのファイルを簡単に遣り取りできます。FTP はコンピュータ間でのファイル(形式には*.txt, *.exe, *.pdf, *.doc, *.mp3, *.zip, *.rar, その他が含まれる)のダウンロードやアップロードに一般に使用されます。アップロードまたはダウンロード時には一方のコンピュータは FTP サーバ、他方はクライアント端末とみなされます。

ゲートウェイ

ゲートウェイは、別のネットワークへの入り口としての役を果たすネットワークポイントです。企業ネットワークでは、コンピュータサーバがゲートウェイノード、プロキシサーバ、ファイアウォールサーバとして作動します。

IP アドレス

IP アドレスは、インターネット経由で送られるパケットの送信側または受信側を判別する 32 ビットの数字です。IP アドレスを構成する 2 つの部分: インターネット上の特定のネットワーク判別子およびネットワーク上の特定の装置(サーバやワークステーションなど)の判別子です。

インターネットプロトコル

インターネットプロトコル(IP)は、データを一方のコンピュータから他方へと送る際のプロトコルすなわち手順です。データの送受信(例えば、E メール通知やウェブページ)時にメッセージはパケットと呼ばれる小区分に分けられます。各パケットには送信側のインターネットアドレスと受信側のアドレスが含まれています。これらがインターネットプロトコルによって配信されます。

IMAP

IMAP (インターネット メッセージ アクセス プロトコル)は、ローカルサーバから E メールにアクセスするための標準的なプロトコルです。IMAP は、メール処理中、サーバへの継続したアクセスを要求します。IMAP により、ユーザーはサーバ上にメールを保存し、サーバ上のフォルダに整理することが可能となります。IMAP はリモートサーバと見なすことができます。

MAC アドレス

ローカルエリアネットワーク(LAN)またはその他ネットワークにおいて、MAC (メディアアクセスコントロール)アドレスは、コンピュータについた唯一のハードウェア番号です。(イーサネット LAN 上では、イーサネットアドレスと同一になります。)

LAN

ローカルエリアネットワーク(LAN)は共通の通信回線またはワイヤレスリンクを共有する一群のコンピュータおよび関連装置であり、典型的なものとして単一のプロセッサやサーバのリソースを小さな物理的領域(例えば、オフィスビル内)で共有する状態を指します。

JPEG

JPEG (ジェイペグと発音)は、インターネット上で表示されるカラー画像に一般に使用される形式です。JPEG は、画像の重要ではない情報をカットすることでファイルサイズを小さくしています。JPEG は画像のカラー情報を全て保存しており、さまざまなレベルの圧縮をサポートします。

ネットワーク

IT において、ネットワークとは通信経路によって相互にリンクされた一連のポイントやノードを指します。ネットワークは他のネットワークと接続したり、自身にサブネットワークを含んだりできます。

NTP

NTP (ネットワークタイムプロトコル)は、ネットワーク上でコンピュータのクロックを連動させるように設計されたプロトコルです。

POP3

POP3 はメールがインターネット・サーバによって受信され保存されることを目的としたクライアント/サーバ式プロトコルです。POP を“保存して転送する”サービスと見なすことができます。POP と IMAP はメールの受信に対処し、SMTP はインターネットを介して E メールを送信するためのプロトコルです。

ポート番号

プログラミングでは、ポート(名詞)は、“論理上の接続位置”で明確にインターネットのプロトコルである TCP/IP を使用します。このプロトコルはクライアントプログラムがネットワークでコンピュータの上の特定のサーバプログラムを指定する方法です。HTTP サービスにおいて、ポート 80 はデフォルトと定義されます。そして、これはユニフォーム リソース ロケーター(URL)で指定される必要はありません。

PPPOE

PPPOE (ポイントトゥー ポイント オーバー イーサネット)は、一般的な顧客端末を通してイーサネットローカルエリアネットワーク上の複数のコンピュータユーザがリモートサイトにアクセスするための仕様で、その仕様はモデムや同様のデバイスを対象とした電話会社の用語です。オフィス全体にいるユーザが、一般的なデジタル加入者回線(DSL)、ケーブル・モデム、またはワイヤレス接続経路でインターネットを共有するのに PPPOE を使用できます。PPPOE は電話での接続に一般的に使用されるポイントトゥー ポイントプロトコル(PPP)をイーサネットプロトコルと結合して、ローカルエリアネットワーク上の複数ユーザをサポートします。PPP プロトコル情報はイーサネットフレームの中にカプセル化されます。

プロキシサーバ

プロキシサーバは、外のネットワークと企業ネットワークを切り離すゲートウェイサーバ関連またはその一部、外部の侵入から企業ネットワークを保護するファイアウォールサーバです。ユーザーにとって、プロキシサーバは目に見えません。

SMTP

SMTP (シンプルメール転送プロトコル)は、メール送受信に使用される TCP/IP プロトコルです。ユーザーは、それで、しかしながら、受信側でのメッセージのキュー機能が制限されるので、通常、他の 2 プロトコルである POP3 または IMAP の 1 つと共に使用され、サーバメールボックスの中にメッセージを保存して、サーバからそれらを定期的にダウンロードできる仕様になっています。言い換えれば、ユーザーは、E メール送信には SMTP を使用するプログラム、E メール受信には POP3 か IMAP のいずれかを通常使用します。

サブネットマスク

パケットが唯一のネットワーク番号を伴って、企業のゲートウェイか接続ポイントにいったん到着すると、サブネット番号を使用することで、企業内部のゲートウェイの中でのルーティングが可能です。サブネットマスクはルータに、2 つの IP アドレスが同じサブネットに属するかどうかを判断可能にします。

TCP/IP

TCP (伝送制御プロトコル)は、インターネット上でメッセージユニットの形をとるデータをコンピュータ間で送るため、インターネットプロトコル(IP)と共に使用される一連の規則(プロトコル)です。IP はデータの実際の配信を処理しますが、TCP はメッセージがインターネット経路で効率的ルーティングのため分割される個々の単位のデータ(パケットと呼ばれる)の追跡を処理します。

WEP

WEP は有線等価プライバシーの短縮形です。それは 802.11b 規格で定義されたワイヤレスローカルエリアネットワーク(WLAN)用のセキュリティプロトコルです。WLAN はセキュアな物理構造が LAN より弱く、改ざんによる被害が生じ易くなりますが、WEP は一方のポイントから他方のポイントまでのワイヤレス電波上のデータを暗号化することによって、セキュリティを実現しています。

付録B:仕様⁹

NVR 4000

インタフェース	10 / 100 Mbps イーサネット 4 LAN / 1 WAN
IP カメラ数	4 x via LAN
解像度	VGA, 最大 2 MegaPixel
フレームレート(fps)	最大 60fps
プロトコル	TCP / IP, HTTP, UPnP, SNTP, DHCP Server / Fixed IP, DHCP Client / TFTP, CLI, SMTP, FTP Client, DDNS
ハードディスク	1 X 3.5" IDE HDD
メモリ	8MB フラッシュ / 64MB DRAM
圧縮形式	MJPEG
電源	12V / 5A
消費電力	14.4W (max.)
アラーム	E-Mail, Browser pop up warning, Push Service (オプション)
サイズ	300mm (L) x 152mm (W) x 44mm (H)
重量	1.95 KG/ 4.31 lbs (ハードディスクドライブを含む)
動作環境	温度: - 20°C ~ + 40°C 湿度: 20% ~ 80% R.H.
認証規格	CE, FCC
ソフトウェア	MJPEG での録画、タイマー録画、システムセキュリティ、デュアルモード(録画及び再生)、IP カメラ検索ツール、バックアップ、モーション検知、言語選択、アラーム FTP 機能、パーマネントアラーム録画、最大 4 IP カメラの録画形式、60fps で VGA: 640x480 dpi, 120fps で CIF: 320x240 dpi, 120fps で QCIF(QQVGA) 160x120 dpi
モデル	Axis, Panasonic, Mobotix, Sony, Pelco, および Vivotek IP カメラと互換性あり

⁹ ハードウェア仕様は予告なしに変更される場合があります。

NVR 4200

インタフェース	10 / 100 Mbps イーサネット 4 LAN / 1 WAN
IP カメラ数	4 x via LAN
解像度	VGA, 最大 2 MegaPixel
フレームレート(fps)	最大 60fps
プロトコル	TCP / IP, HTTP, UPnP, SNTP, DHCP Server / Fixed IP, DHCP Client / TFTP, CLI, SMTP, FTP Client, DDNS
ハードディスク	1 X 3.5" SATA HDD
メモリ	8MB フラッシュ / 64MB DRAM
圧縮形式	MJPEG, MPEG4, H.264
電源	12V / 5A
消費電力	14.4W (max.)
アラーム	E-Mail, Browser pop up warning, Push Service (オプション)
サイズ	300mm (L) x 152mm (W) x 44mm (H)
重量	1.60 KG/ 3.54 lbs (ハードディスクドライブを含む)
動作環境	温度: - 20°C ~ + 40°C 湿度: 20% ~ 80% R.H.
認証規格	CE, FCC
ソフトウェア	MJPEG、MPEG4 または H.264 での録画、タイマー録画、システムセキュリティ、デュアルモード(録画及び再生)、IP カメラ検索ツール、バックアップ、モーション検知、言語選択、アラーム FTP 機能、パーマネントアラーム録画、最大 4 IP カメラの録画形式、60fps で VGA: 640x480 dpi, 120fps で CIF: 320x240 dpi, 120fps で QCIF(QQVGA) 160x120 dpi
モデル	Axis, Panasonic, Mobotix, Sony, Pelco, および Vivotek IP カメラと互換性あり

NVR 4300

インタフェース	Dual Giga LAN 4 LAN / 1 WAN
IP カメラ数	8 x via 4 LAN, Switch
解像度	VGA, 最大 2 MegaPixel
フレームレート(fps)	最大 120fps
プロトコル	TCP / IP, HTTP, UPnP, SNTP, DHCP Server / Fixed IP, DHCP Client / TFTP, CLI, SMTP, FTP Client, DDNS
ハードディスク	1 X 3.5" SATA HDD
メモリ	8MB フラッシュ / 64MB DRAM
圧縮形式	MJPEG, MPEG4, H.264
電源	12V / 5A
消費電力	14.4W (max.)
アラーム	E-Mail, Browser pop up warning, Push Service (オプション)
サイズ	320mm (L) x 152mm (W) x 44mm (H)
重量	1.74 KG/ 3.84 lbs (ハードディスクドライブを含む)
動作環境	温度: - 20°C ~ + 40°C 湿度: 20% ~ 80% R.H.
認証規格	CE, FCC
ソフトウェア	MJPEG、MPEG4 または H.264 での録画、タイマー録画、システムセキュリティ、デュアルモード(録画及び再生)、IP カメラ検索ツール、バックアップ、モーション検知、言語選択、アラーム FTP 機能、パーマネントアラーム録画、最大 4 IP カメラの録画形式、60fps で VGA: 640x480 dpi, 120fps で CIF: 320x240 dpi, 120fps で QCIF(QQVGA) 160x120 dpi
モデル	Axis, Panasonic, Mobotix, Sony, Pelco, および Vivotek IP カメラと互換性あり

NVR Slim240

インタフェース	10 / 100 Mbps イーサネット 4 LAN / 1 WAN
IP カメラ数	4 x via LAN
解像度	VGA, 最大 2 MegaPixel
フレームレート(fps)	最大 60fps
プロトコル	TCP / IP, HTTP, UPnP, SNTP, DHCP Server / Fixed IP, DHCP Client / TFTP, CLI, SMTP, FTP Client, DDNS
ハードディスク	1 X 2.5" SATA HDD
メモリ	8MB フラッシュ / 64MB DRAM
圧縮形式	MJPEG, MPEG4, H.264
電源	5V / 3A
消費電力	8W~10W (max.)
アラーム	E-Mail, Browser pop up warning, Push Service (オプション)
サイズ	152mm (L) x 125mm (W) x 45mm (H)
重量	785 g / 1.73 lbs (ハードディスクドライブを含む)
動作環境	温度: - 30°C ~ + 50°C 湿度: 20% ~ 80% R.H.
認証規格	CE, FCC
ソフトウェア	MJPEG、MPEG4 または H.264 での録画、タイマー録画、システムセキュリティ、デュアルモード(録画及び再生)、IP カメラ検索ツール、バックアップ、モーション検知、言語選択、アラーム FTP 機能、パーマネントアラーム録画、最大 4 IP カメラの録画形式、60fps で VGA: 640x480 dpi, 120fps で CIF: 320x240 dpi, 120fps で QCIF(QQVGA) 160x120 dpi
モデル	Axis, Panasonic, Mobotix, Sony, Pelco, および Vivotek IP カメラと互換性あり

NVR 4200V

インタフェース	10 / 100 Mbps イーサネット 4 LAN / 1 WAN
IP カメラ数	4 x via LAN
解像度	VGA, 最大 2 MegaPixel
フレームレート(fps)	最大 60fps
プロトコル	TCP / IP, HTTP, UPnP, SNTP, DHCP Server / Fixed IP, DHCP Client / TETP, CLI, SMTP, FTP Client, DDNS
ハードディスク	1 X 3.5" SATA HDD
メモリ	8MB フラッシュ / 64MB DRAM
圧縮形式	MJPEG, MPEG4, H.264
電源	12V / 5A (NP 240 -24V パワーユニット) (NP 120 -12V パワーユニット)
消費電力	14.4W (max.)
アラーム	E-Mail, Browser pop up warning, Push Service (オプション)
サイズ	200mm (L) x 304mm (W) x 88mm (H)
重量	4.15 KG/ 9.14 lbs (ハードディスクドライブを含む)
動作環境	温度: - 20°C~ + 50°C(NVR ユニット) - 40°C~ + 70°C(電源コントローラユニット) 湿度: 20% ~ 80% R.H.
認証規格	E-mark (E4), ISO 16750-3, IEC 60571, EN 50155, CE, および FCC 加速テスト-動作モード: 1G (m/S2) 加速テスト-非動作モード: 5G
ソフトウェア	MJPEG、MPEG4 または H.264 での録画、タイマー録画、システムセキュリティ、デュアルモード(録画及び再生)、IP カメラ検索ツール、バックアップ、モーション検知、言語選択、アラーム FTP 機能、パーマネントアラーム録画、最大 4 IP カメラの録画形式、60fps で VGA: 640x480 dpi, 120fps で CIF: 320x240 dpi, 120fps で QCIF(QQVGA) 160x120 dpi
モデル	Axis, Panasonic, Mobotix, Sony, Pelco, および Vivotek IP カメラと互換性あり

付録C: 顧客サービスおよび保証

お買い上げの NVR に関して問題に直面した場合、当ガイドに含まれたインストール手順および操作の提案を再度ご確認ください。

さらにサポートが必要であれば、当ガイドの最終ページに示されている当社顧客サポート電話番号に電話をしてください。月曜日から金曜日、以下に示される勤務時間中、当社代表のスタッフが喜んでサポートいたします。

ヨーロッパ	午前 9 時から午後 5 時 30 分(CET)
他の国および領域	午前 9 時から午後 6 時(台湾時間)

迅速な対応が得られるよう、電話の前に以下のデータをご用意ください。

- NVR の名称およびモデル番号
- NVR シリアル番号(NVR の底部に記載)
- 問題の詳述
- ご使用のコンピュータメーカーおよび型番
- CPU (Pentium4 など)のクロック
- ご使用のオペレーティングシステムおよび BIOS (必要時)
- ソフトウェアパッケージの名称、ソフトウェアのバージョンかリリース番号およびメーカー
- 他にインストールされている USB デバイス

限定保証書

限定保証書は、ユーザーが転売ではなく、認可された販売業者から直接購入された場合にのみ適用されます。

メーカー保証は、すべての部品と工賃を対象としますが、購入の際の受領書なしでは無効となります。保証サービスを得るには、指定販売店か販売業者へのご連絡または当社ウェブサイトをご覧になって利用可能なサービス情報を確認するか、更なる支援を E メールでお求めになれます。

当製品を別のユーザーに渡す場合、次のユーザーにとって、保証サービスは残りの保証期間に利用可能ですので、次のユーザーへ購入証明書と保証書をお渡しください。

当社は、保証書に記載される期間、当装置が良い状態で当説明書に記載される機能を有することを保証します。購入証明書が提示される場合、交換部品の保証期間は記載の残りの期間となります。

保証サービスのために当製品を届ける前に、ユーザーは全てのプログラム、データ、およびリムーバブルストレージメディアを削除する必要があります。ガイドとソフトウェアなしで提供された状態で、ガイドとソフトウェアなしで製品が交換されます。

問題が事故、災害、破壊、誤用、乱用、不適当な環境、プログラムの変更、当製品のため機械的またはベンダーによらない変更から生じた場合、製品の持ち込みによる交換は、保証の対象とはなりません。

当製品が付加的装置である場合、それが設計された装置の機能であるときにだけ当保証書が適用されます。

当保証書に関して何かご質問がございましたら、お買い上げ時の承認された小売業者またはメーカーにご連絡ください。

当限定保証は、商品性、特定目的に対する適合性のいかなる暗黙の保証であれそれら全てを含め、またそれらに限らず、他のいかなる保証および条件に対しても、明示的、暗黙的を問わず一切責任を負わないものとします。ただし、法律によっては黙示的な保証の除外を容認しません。これらの法律が適用されるなら、すべての明示されたまたは暗黙の保証は保証期間に制限されます。その期間後には他のいかなる保証も適用されません。

いくつかの機能は、暗黙の保証が持続する期間に関する制限を容認しないので、上記制限が適用されない場合もあります。

当社は下記のいずれにも一切責任を負いません。

1. 第三者による、損失または損害賠償請求。
2. 録画またはデータの消失や損害。
3. 当社がその可能性を示したものを含めた、一連の経済的な損失(利益や貯蓄の損失を含む)、偶発的損失。

いくつかの機能は付帯的または必然的な損害賠償の除外や制限を容認しないので、上記制限や除外が適用されない場合もあります。

当保証書はユーザーに特定の法的権利を提供し、またその他権利を有することが管轄機関によって認められる場合もあります。

FCC無線周波数の声明

当装置は Class A 製品です。国内環境では、この製品は無線電波に干渉を起こす可能性があります。その場合はユーザーが対応処置を講ずる必要があります。

当装置は電磁エネルギーの生成、使用および放射を行なっていますので、指示通りにインストールおよび使用をしない場合、無線通信に対する電波障害の恐れがあります。ただし、これは正しくインストールした場合での電波障害が皆無であることを保証するものではありません。本装置によるラジオやテレビ放送の受信障害(装置の電源を on や off にして確認)が生じた場合、下記にある一つまたは複数の手順により、問題の解決を試みて下さい。

- 受信アンテナの方向を変えるか、位置を変える。
- 装置と無線受信装置の距離を離す。
- 受信機が接続しているコンセントとは別のコンセントに装置を接続する。
- 当装置に適用される適切な高周波放出限界への準拠を確実にするため、装置と共に付属のシールド付き相互接続ケーブルとシールド付き電源コードをご使用ください。
- 干渉が続く場合は、購入先またはラジオ・テレビに詳しい技術者にご相談ください。

- メーカーや正規サービスセンターによって明白に承認されていない変更や改造を行うと、当装置を操作するユーザーの権利がなくなります。

本装置は FCC 規定の第 15 項に適合しています。操作は以下の 2 つの条件を前提とします。(1) 本装置が有害な電波妨害を引き起こさないこと。(2) この装置は不適切な操作に起因する電波妨害を含む如何なる電波妨害も受け入れなければならない。

Plustekへのご連絡

ヨーロッパ: Plustek Technology GmbH
An der Strusbek 60-62
22926 Ahrensburg
Germany

電話: +49-4102-8913-0
Fax: +49-4102-8913-500/508
Eメール: support@plustek.de
ウェブサイト: www.plustek.de

北米: Plustek Technology Inc.
17517 Fabrica Way, Suite B
Cerritos, CA 90703
U.S.A.

電話: +1 -714-670-7713
Fax: +1 -714-670-7756
Eメール: supportusa@plustek.com

ヨーロッパ・北米以外
の世界各地: Plustek Inc.
13F-1, No.3 (Building F), Yuan Qu Street
115 Nankang, Taipei
Taiwan

電話: +886-2-2655 7866
Fax: +886-2-2655 7833
ウェブサイト: www.plustek.com

カスタマサービスの詳細は、当社ウェブサイト

www.plustek.com

をご参照ください。